

市民アンケート調査結果

安芸市都市計画マスタープラン策定
のためのアンケート調査

【単純集計＋年齢別・地域別クロス集計】

平成31年2月20日

高知県安芸市

安芸市都市計画マスタープラン策定のためのアンケート調査
【単純集計＋年齢別・地域別クロス集計】

目 次

1. 調査概要.....	1
2. 調査結果.....	2
2.1 あなたご自身のことについて（属性）	3
2.1.1 性別.....	3
2.1.2 年齢.....	3
2.1.3 職業.....	4
2.1.4 家族構成.....	4
2.1.5 居住地域.....	5
2.1.6 居住歴	6
2.2 お住まいの地域について（定住意向）	6
2.2.1 定住意向.....	6
2.2.2 居住継続の理由	8
2.2.3 転出意向.....	8
2.2.4 地域の暮らしの満足度	9
2.3 日常生活の動向について.....	28
2.3.1 買い物場所	28
2.3.2 家族・友人との会合や飲食場所	30
2.3.3 通院場所.....	31
2.3.4 余暇を過ごす場所	33
2.4 重点まちづくり分野について.....	34
2.4.1 重点的に進めるべき分野.....	34
2.5 都市施設の整備に関する事項について	36
2.5.1 道路・交通環境.....	36
2.5.2 公園・緑地	38
2.5.3 河川・水路	40
2.6 まちづくり・土地利用分野に関する事項について	42
2.6.1 地域の活性化	42
2.6.2 森林や農地の保全・活用.....	44
2.6.3 歴史・文化・景観まちづくり	45
2.6.4 企業誘致や雇用の場の創出	48

2.6.5 安芸中インターチェンジ（仮称）周辺のまちづくり	50
2.7 防災・減災まちづくりについて	52
2.7.1 防災・減災まちづくりの重要な施策	52
2.8 まちの将来像について	54
2.8.1 まちの将来像	54
2.9 まちづくりの進め方・参加意向について	56
2.9.1 まちづくりの進め方	56
2.9.2 まちづくりへの参加意向	58
2.10 自由意見	60

1. 調査概要

安芸市都市計画マスタープランの改定にあたり、市民のまちづくりに対するニーズやご意見を把握し、計画づくりの参考とすることを目的に実施しました。

【調査概要】

①調査主体

- ・安芸市 建設課 自動車道推進室

②調査対象

- ・安芸市民 2,000 人（20 歳代～70 歳代の男女）
- ・抽出方法：住民基本台帳をもとに無作為抽出
※ただし、現状の地区別人口規模等を踏まえたバランスでの抽出

③調査方法

- ・郵送配布・郵送回収（無記名）

④調査時期

- ・平成 30 年 11 月初旬発送→11 月末返信〆切（3 週間程度）
- ※策定委員会で実施方針や調査概要を諮った上で実施

⑤調査項目

- 問 1：回答者属性（1-1.性別、1-2.年齢、1-3.職業、1-4.家族構成、1-5.居住地区、1-6.居住歴）
- 問 2：居住地域での暮らしについて（2-1～3.継続居住意向、2-4.暮らしに関する項目別の満足度）
- 問 3：日常動向（3-1.買物場所、会合・飲食場所、通院場所、余暇を過ごす場所）
- 問 4：重点まちづくり分野の重視事項
- 問 5：都市施設別の重視事項（5-1.道路・交通整備、5-2.公園・緑地整備、5-3.河川・水路整備）
- 問 6：まちづくり・土地利用分野別の重視事項（6-1.地域の活性化、6-2.森林や農地等の保全、6-3.歴史・文化・景観まちづくり、6-4.企業誘致、6-5. I C 周辺まちづくり）
- 問 7：防災・減災まちづくりの重視事項
- 問 8：まちの将来像
- 問 9：まちづくりの進め方・参加意向（9-1.まちづくりの進め方、9-2.まちづくり参加意向）
- 問 10：自由意見

⑥回収状況

- ・回収結果：755 通（回収率 37.8%）

2. 調査結果

概要

■定住意向

- ・約76%の方が定住意向を示しています。理由は「家や土地があるから」約42%、「地域や人に愛着があるから」が約15%を占めます。
- ・「ずっと安芸市で住み続けたい」の割合は年齢が高いほど多くなっています。

■転出意向

- ・理由は「余暇・趣味が楽しみにくい」約20%、「日常生活が不便だから」が約16%です。

■暮らしの満足度（各40%以上）

- ・満足：「まちなみ・周辺環境」「通勤・通学の利便性」「日常の買い物」「医療・福祉関連施設の利用しやすさ」「公民館・集会場の利用しやすさ」「犯罪の安全性」「地域コミュニティ」
- ・不満：「公共交通（鉄道・バス）の利用しやすさ」「スポーツ・レクリエーション施設」「地震・水害の安全性」
- ・暮らし全般にわたって、概ね中山間部で不満の割合が高くなっています。
- ・地震や水害に対する安全性については、5割強の割合が不満としています。地域別では、山間部、河川沿川地域に不満があります。

■日常生活動向

- ・買い物：1位「安芸市中心市街地」（約69%）が突出
- ・会合・飲食：1位「安芸市中心市街地」（約46%）
- ・通院：1位「安芸市中心市街地」（約69%）と突出
- ・余暇：1位「安芸市中心市街地」（約28%）、2位「市外（高知市）」（約28%）、3位「近所（地区内）」（約20%）といずれも低い
- ・若年層ほど市外での買い物、飲食、遊びの割合が高く、高齢者層ほど市内での活動の割合が高くなっています。

■重点的にまちづくりを進めるべき分野

- 1位「道路の整備」（約36%）
- 2位「中心市街地の活性化・商業振興」（約32%）
- 3位「防災・減災まちづくり」（約15%） 以上で8割強
- ・地域別では、市街地部で「中心市街地の活性化・商業振興」の占める割合が高くなっています。

■まちの将来像

- 1位「子どもから高齢者までが安心して暮らせるまち」（約25%）
- 2位「災害に強い安全なまち」（約14%）
- 3位「自然豊かな環境に恵まれたまち」（約11%）

■まちづくりへの参加意向

- ・進め方：1位「地域住民と行政がお互いに協働しながらまちづくりを進める」（約54%）が大半を占め、協働の姿勢が多い
- ・参加意向：1位「自分から進んではやらないが、協力を求められれば参加する」（約58%）、2位「自分は参加しないが、行政や地元の熱心な人にまかせたい」（約24%）で8割強を占める

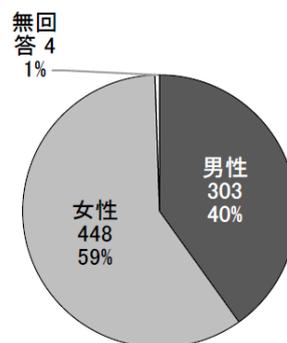
2.1 あなたご自身のことについて（属性）

2.1.1 性別

回答者の性別は、男性約 40%、女性約 59%で、女性がやや多くなっています。

問1-1 性別をおうかがいします。（1つに○）

		回答数	割合
1	男性	303	40.1
2	女性	448	59.3
	無回答	4	0.5
	計	755	100.0

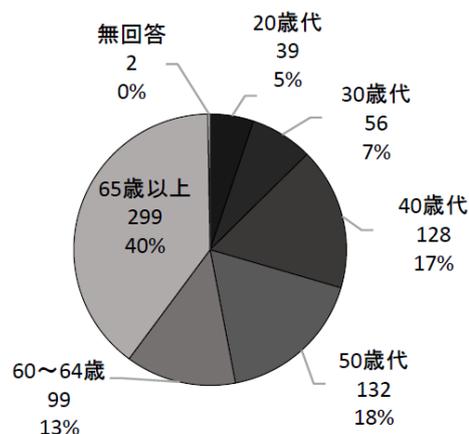


2.1.2 年齢

回答者の年齢は、60歳以上が約 53%を占めています。

問1-2 年齢層をおうかがいします。（1つに○）

		回答数	割合
1	20歳代	39	5.2
2	30歳代	56	7.4
3	40歳代	128	17.0
4	50歳代	132	17.5
5	60～64歳	99	13.1
6	65歳以上	299	39.6
	無回答	2	0.3
	計	755	100.0

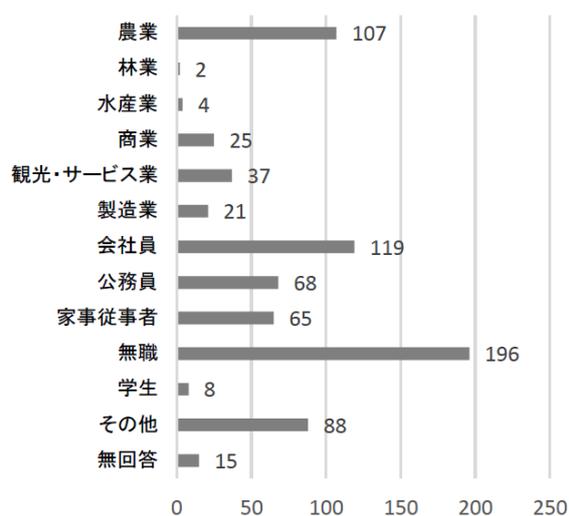


2.1.3 職業

回答者の職業は、「無職・定年退職」が26%で最も多く、次いで「会社員」が約16%、「農業」が約14%を占めています。

問1-3 ご職業についておうかがいします。(1つに○)

		回答数	割合
1	農業	107	14.2
2	林業	2	0.3
3	水産業	4	0.5
4	商業	25	3.3
5	観光・サービス業	37	4.9
6	製造業	21	2.8
7	会社員	119	15.8
8	公務員	68	9.0
9	家事従事者	65	8.6
10	無職	196	26.0
11	学生	8	1.1
12	その他	88	11.7
	無回答	15	2.0
	計	755	100.0

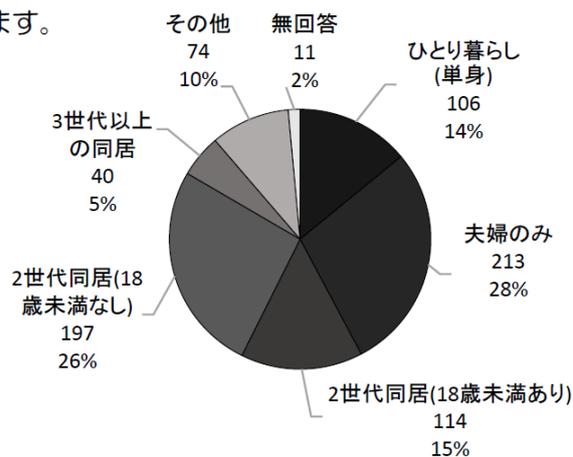


2.1.4 家族構成

回答者の家族構成は、「夫婦のみ」「2世代同居(18歳未満なし)」がそれぞれ約3割弱であり、次いで「2世代同居(18歳未満あり)」「ひとり暮らし(単身)」となっています。

問1-4 現在の家族構成についておうかがいします。(1つに○)

		回答数	割合
1	ひとり暮らし(単身)	106	14.0
2	夫婦のみ	213	28.2
3	2世代同居(18歳未満あり)	114	15.1
4	2世代同居(18歳未満なし)	197	26.1
5	3世代以上の同居	40	5.3
6	その他	74	9.8
	無回答	11	1.5
	計	755	100.0

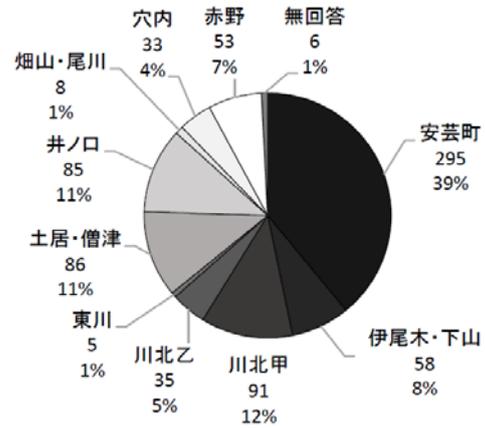


2.1.5 居住地域

回答者の居住地域は、「安芸市」の割合が最も多く、次いで「川北甲」「土居・僧津」「井ノ口」の割合が多くなっています。

問1-5 お住まいの地区についておうかがいします。
(1つに○)

	回答数	割合
1 安芸町	295	39.1
2 伊尾木・下山	58	7.7
3 川北甲	91	12.1
4 川北乙	35	4.6
5 東川	5	0.7
6 土居・僧津	86	11.4
7 井ノ口	85	11.3
8 畑山・尾川	8	1.1
9 穴内	33	4.4
10 赤野	53	7.0
無回答	6	0.8
計	755	100.0

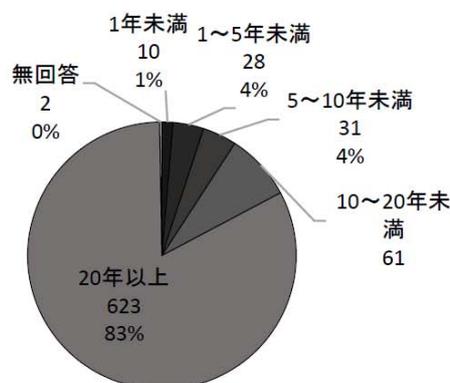


2.1.6 居住歴

回答者の居住歴は、「20年以上」が約83%を占めています。

問1-6 安芸市での居住歴についておうかがいします。
(1つに○)

	回答数	割合
1 1年未満	10	1.3
2 1～5年未満	28	3.7
3 5～10年未満	31	4.1
4 10～20年未満	61	8.1
5 20年以上	623	82.5
無回答	2	0.3
計	755	100.0



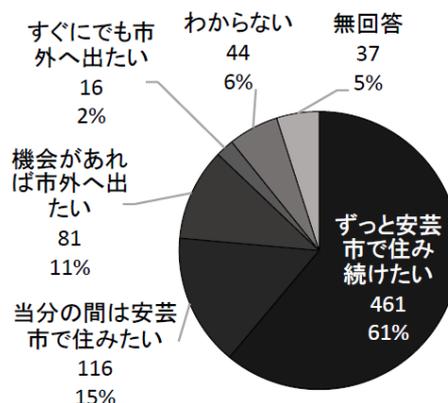
2.2 お住まいの地域について（定住意向）

2.2.1 定住意向

「ずっと安芸市で住み続けたい」「当分の間は安芸市で住みたい」は約76%を占め、「機会があれば市外へ出たい」「すぐにでも市外へ出たい」が約13%を占めています。

問2-1 安芸市での居住についてどのようにお考えですか。（1つに○）

	回答数	割合
1 ずっと安芸市で住み続けたい	461	61.1
2 当分の間は安芸市で住みたい	116	15.4
3 機会があれば市外へ出たい	81	10.7
4 すぐにでも市外へ出たい	16	2.1
5 わからない	44	5.8
無回答	37	4.9
計	755	100.0



【年齢別・地域別】

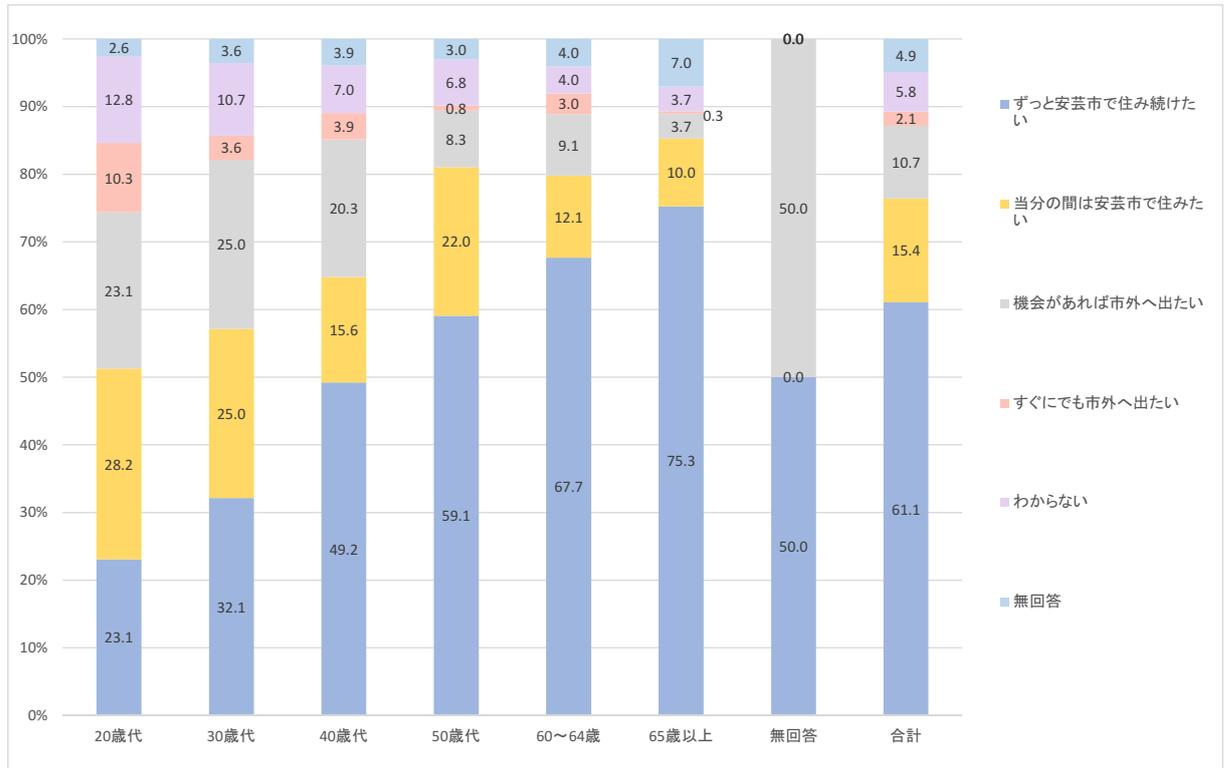
○年齢別

年齢別に見ると、「ずっと安芸市で住み続けたい」の割合は年齢が高いほど多くなっています。一方、「機会があれば市外へ出たい」「すぐにでも市外へ出たい」という方は、50歳代以下が多くなっています。

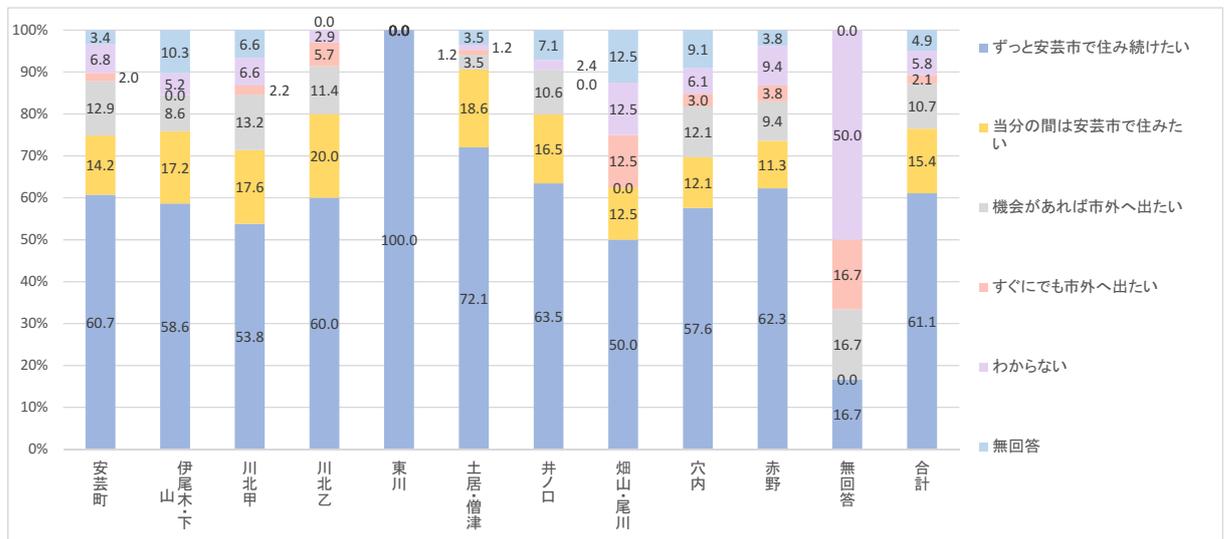
○地域別

地域別に見ると、「ずっと安芸市で住み続けたい」の割合は畑山・尾川地域が比較的低くなっています。

○年齢別



○地域別

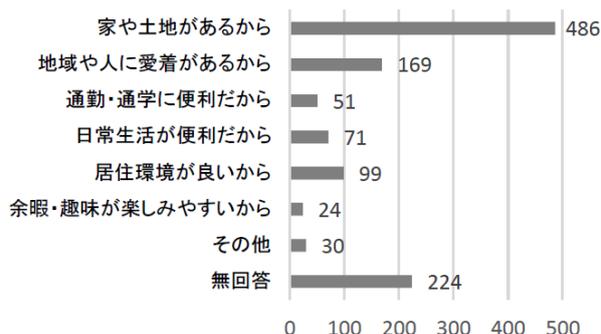


2.2.2 居住継続の理由

居住継続の理由は「家や土地があるから」が約42%、次いで「地域や人に愛着があるから」が約15%を占めます。

問2-2 問2-1で「1.」または「2.」を選択された方におうかがいします。
居住継続の理由についてお聞かせください。（主な理由2つに○）

	回答数	割合
1 家や土地があるから	486	42.1
2 地域や人に愛着があるから	169	14.6
3 通勤・通学に便利だから	51	4.4
4 日常生活が便利だから	71	6.2
5 居住環境が良いから	99	8.6
6 余暇・趣味が楽しみやすいから	24	2.1
7 その他	30	2.6
無回答	224	19.4
計	1154	100.0

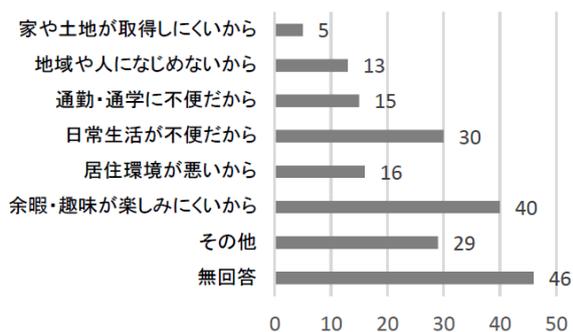


2.2.3 転出意向

転出意向の理由は「余暇・趣味が楽しみにくい」が約21%、次いで「日常生活が不便だから」が約16%を占めます。

問2-3 問2-1で「3.」または「4.」を選択された方におうかがいします。
転出意向の理由についてお聞かせください。（主な理由2つに○）

	回答数	割合
1 家や土地が取得しにくいから	5	2.6
2 地域や人になじめないから	13	6.7
3 通勤・通学に不便だから	15	7.7
4 日常生活が不便だから	30	15.5
5 居住環境が悪いから	16	8.2
6 余暇・趣味が楽しみにくいから	40	20.6
7 その他	29	14.9
無回答	46	23.7
計	194	100.0



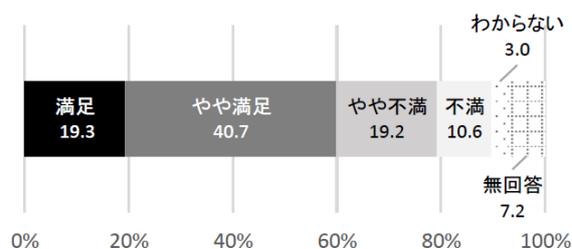
2.2.4 地域の暮らしの満足度

(1) まちなみ・周辺環境

まちなみ・周辺環境の満足度は「満足」「やや満足」が約 60%、「やや不満」「不満」が約 30%となっています。

問2-4-1.まちなみ・周辺環境

	回答数	割合
1 満足	146	19.3
2 やや満足	307	40.7
3 やや不満	145	19.2
4 不満	80	10.6
5 わからない	23	3.0
無回答	54	7.2
計	755	100.0



【年齢別・地域別】

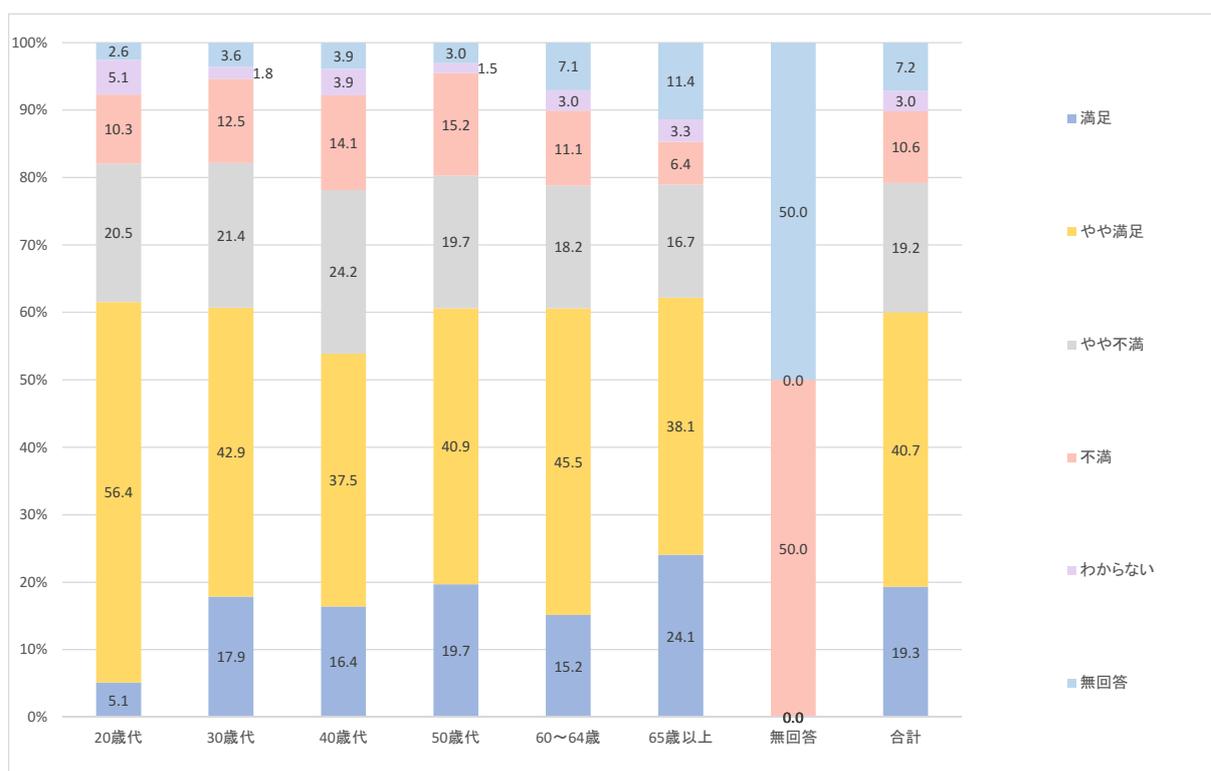
○年齢別

年齢別に見ると、「満足」「やや満足」は、40歳代の割合がやや低くなっています。

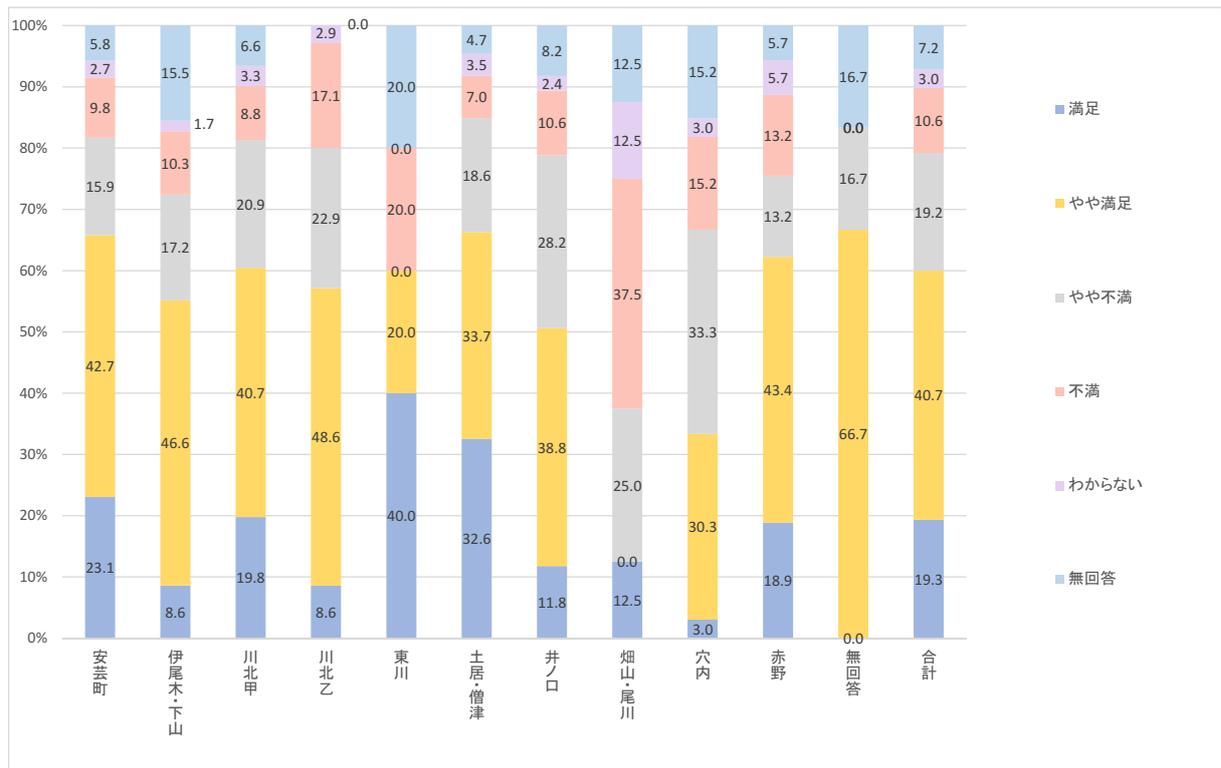
○地域別

地域別に見ると、安芸町、土居・僧津地域がやや高く、穴内、井ノ口地域が比較的低くなっています。

○年齢別



○地域別

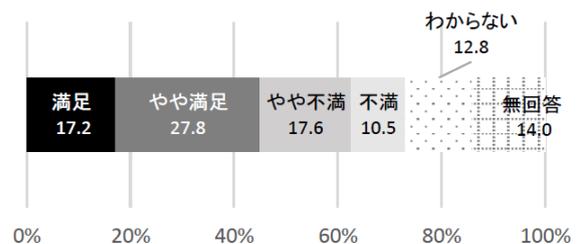


(2) 通勤・通学の利便性

通勤通学の利便性は「満足」「やや満足」が約45%、「やや不満」「不満」が約28%となっています。

問2-4-2.通勤・通学の利便性

	回答数	割合
1 満足	130	17.2
2 やや満足	210	27.8
3 やや不満	133	17.6
4 不満	79	10.5
5 わからない	97	12.8
無回答	106	14.0
計	755	100.0



【年齢別・地域別】

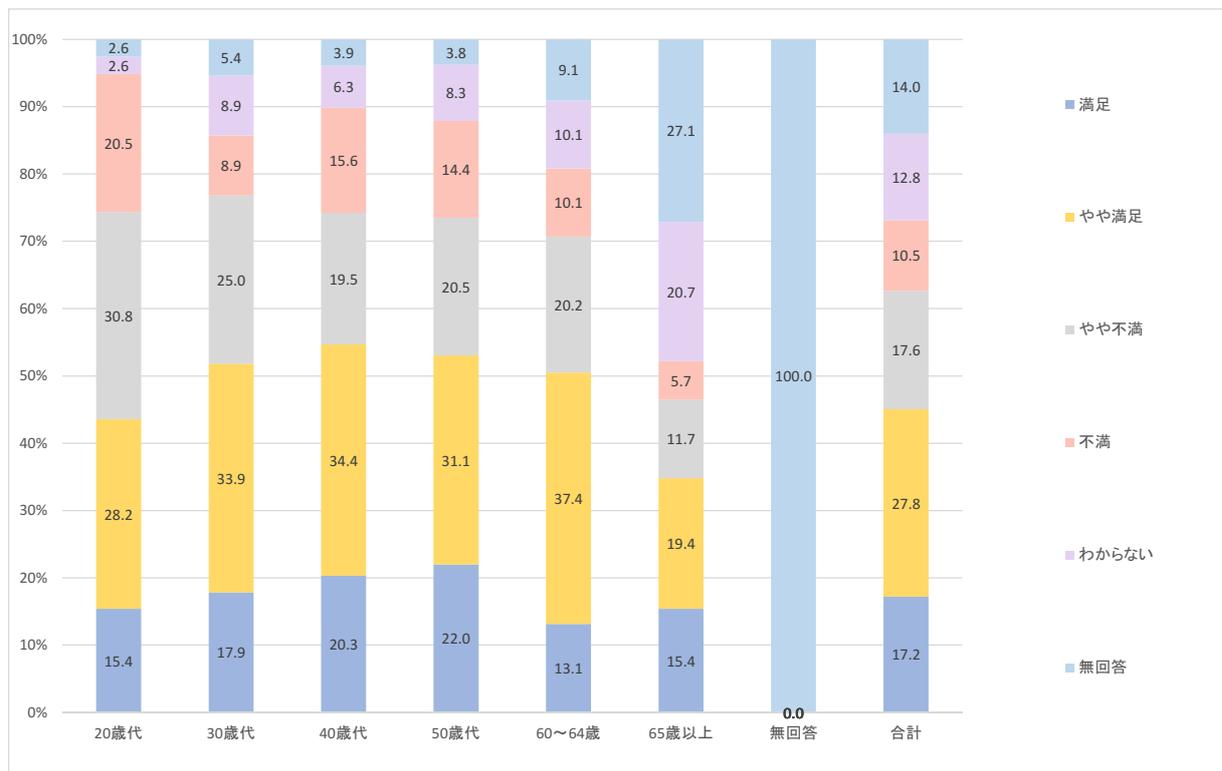
○年齢別

年齢別に見ると、「満足」「やや満足」は、20歳代の割合がやや低いものの、それ以外の生産年齢人口世代は比較的高くなっています。

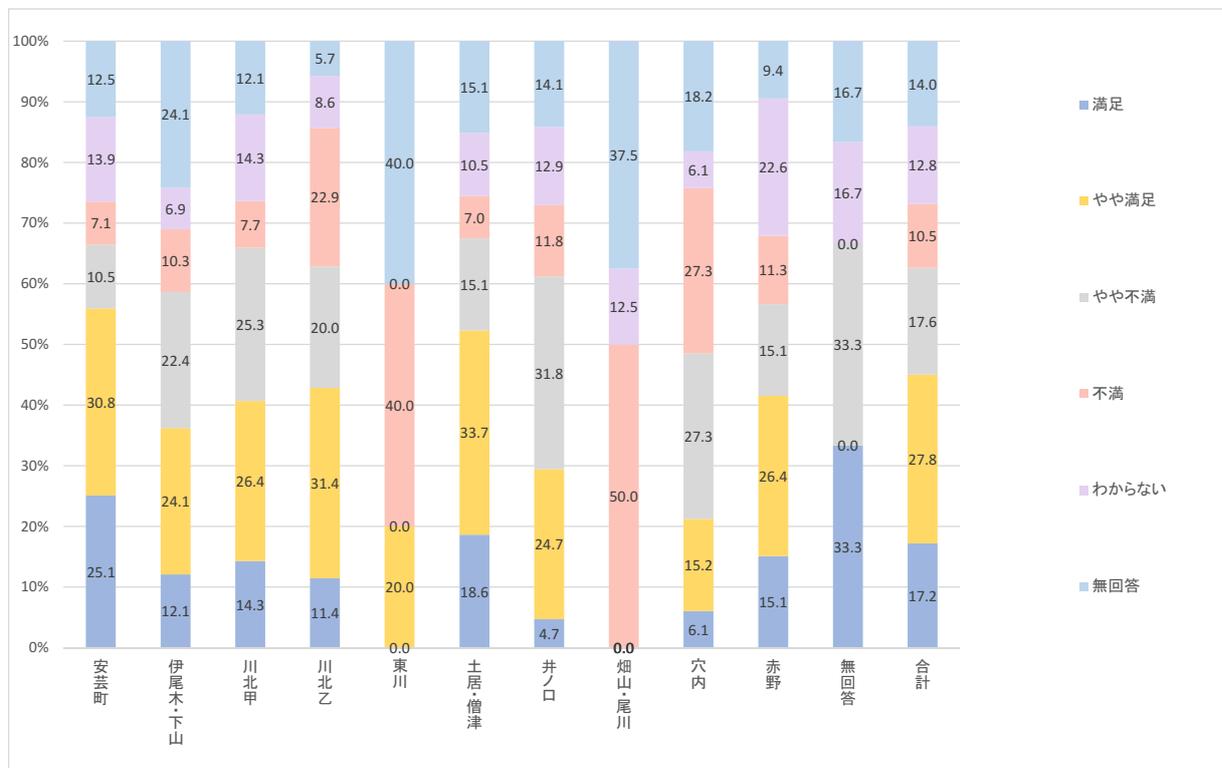
○地域別

地域別に見ると、安芸町、土居・僧津地域はやや高いが、それ以外の地域は比較的低く、特に畑山・尾川、東川地域が低くなっています。

○年齢別



○地域別

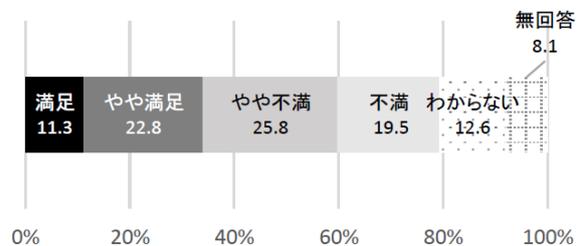


(3) 公共交通（鉄道・バス）の利用しやすさ

公共交通（鉄道・バス）の利用しやすさは「満足」「やや満足」が約 34%、「やや不満」「不満」が約 45%となっており、やや不満が多くなっています。

問2-4-3.公共交通(鉄道、バス)の利用しやすさ

		回答数	割合
1	満足	85	11.3
2	やや満足	172	22.8
3	やや不満	195	25.8
4	不満	147	19.5
5	わからない	95	12.6
	無回答	61	8.1
	計	755	100.0



【年齢別・地域別】

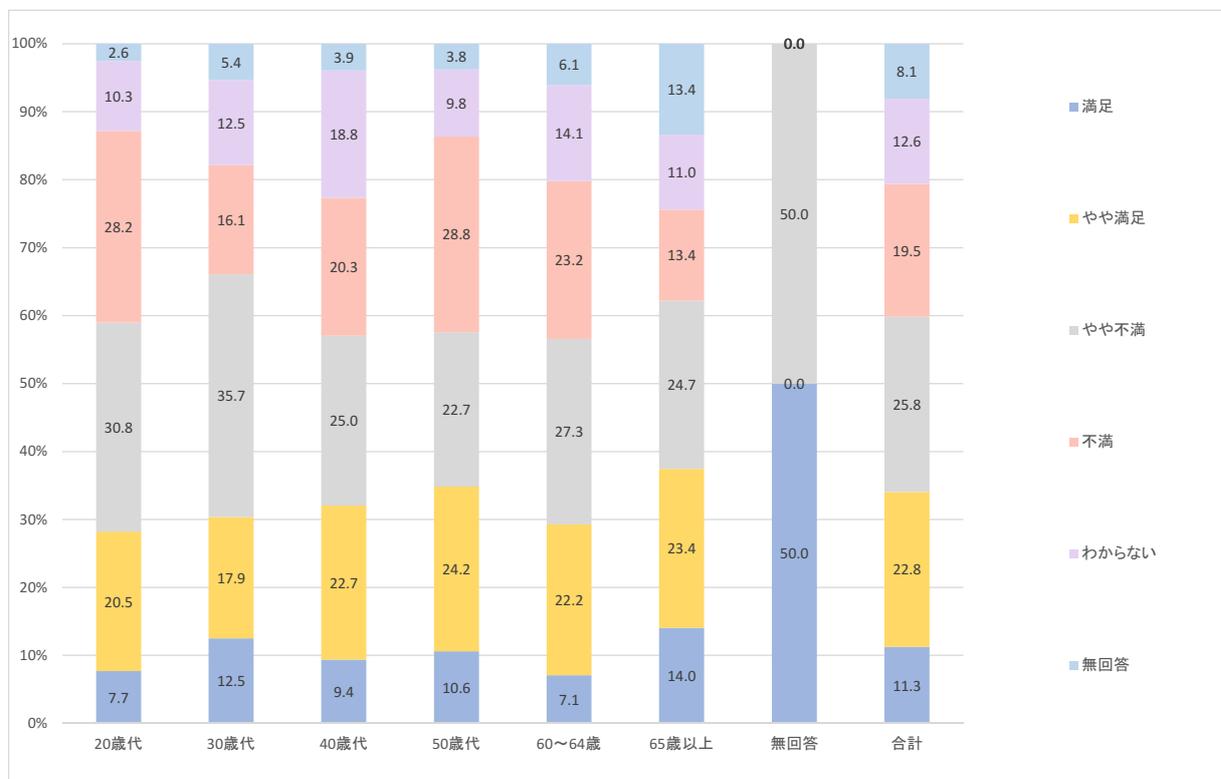
○年齢別

年齢別に見ると、全世代的に「満足」「やや満足」の割合がやや低くなっています。

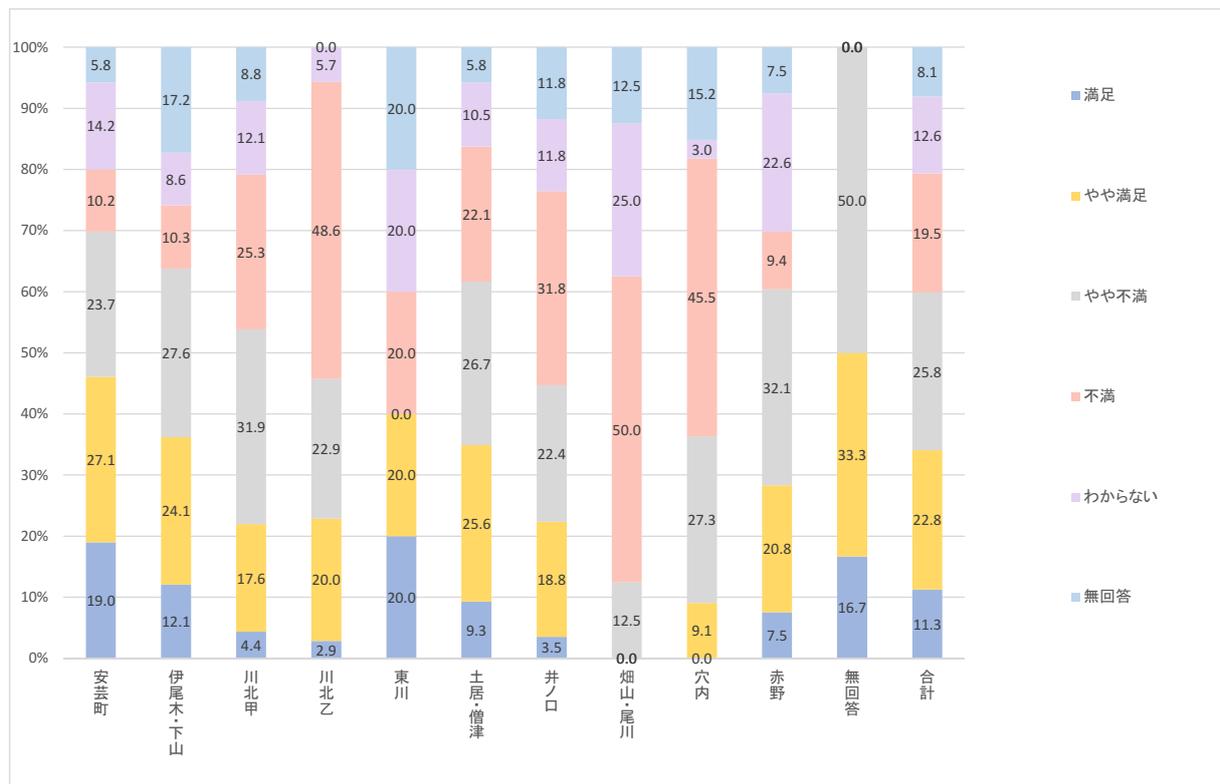
○地域別

地域別に見ると、安芸町、東川、土居・僧津地域はやや高い。一方、畑山・尾川地域の「満足」「やや満足」の割合は0%となっています。

○年齢別



○地域別

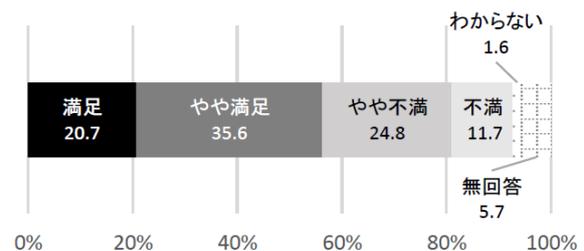


(4) 日常の買い物の利便性

日常の買い物の利便性は「満足」「やや満足」が約56%、「やや不満」「不満」が37%となっています。

問2-4-4.日常の買物の利便性

	回答数	割合
1 満足	156	20.7
2 やや満足	269	35.6
3 やや不満	187	24.8
4 不満	88	11.7
5 わからない	12	1.6
無回答	43	5.7
計	755	100.0



【年齢別・地域別】

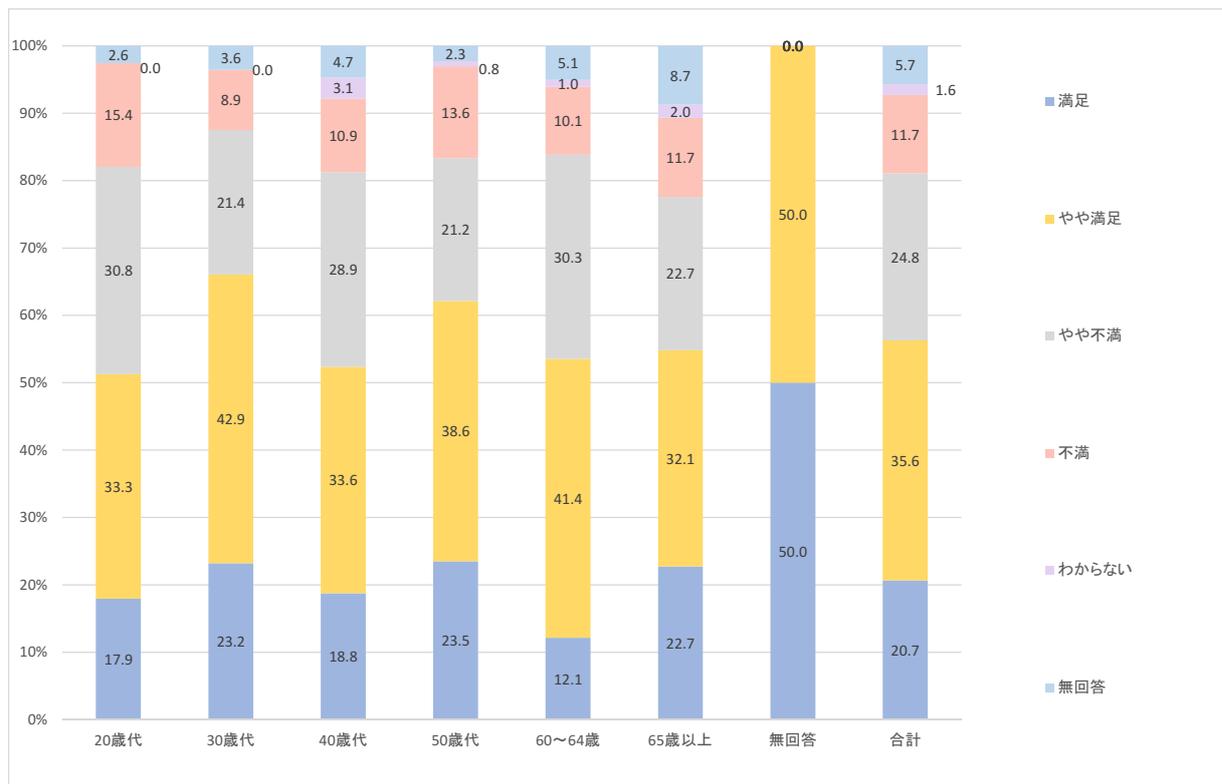
○年齢別

年齢別に見ると、「満足」「やや満足」は、30歳代、50歳代の割合が比較的高い。

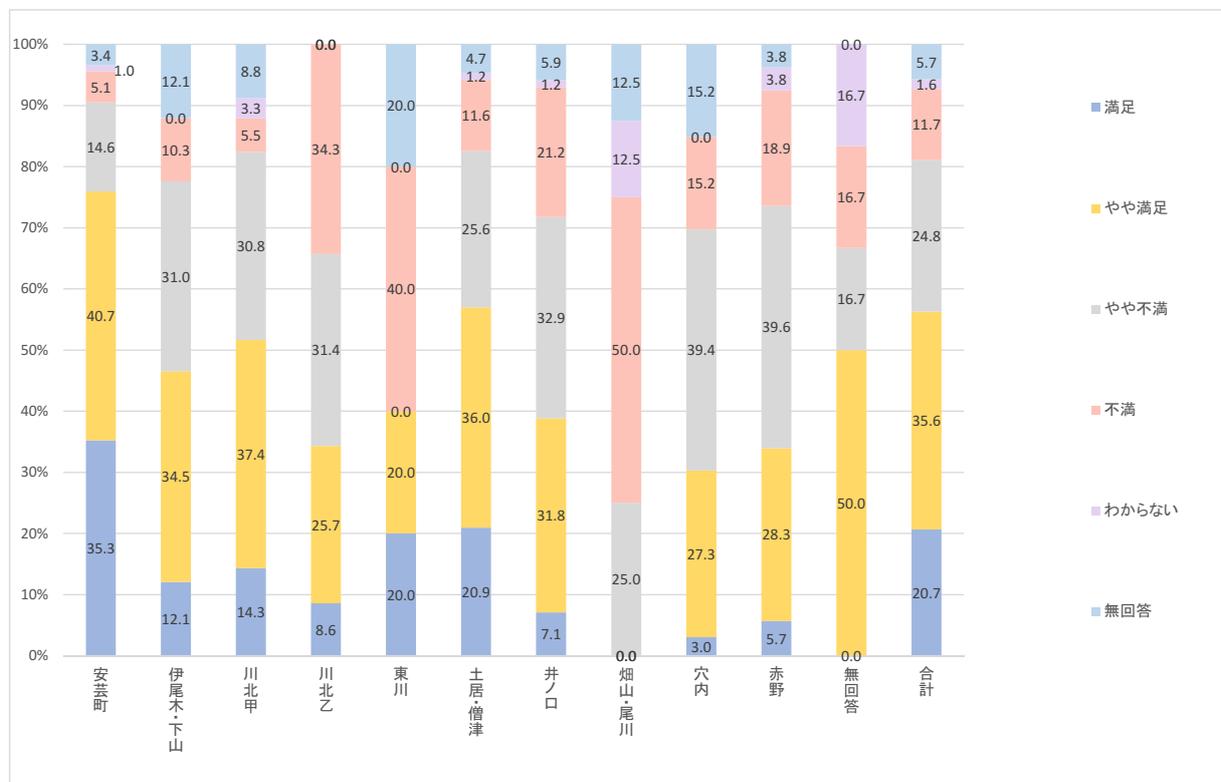
○地域別

地域別に見ると、安芸町、土居・僧津地域が比較的高い。一方、畑山・尾川地域の「満足」「やや満足」の割合は0%となっています。

○年齢別



○地域別

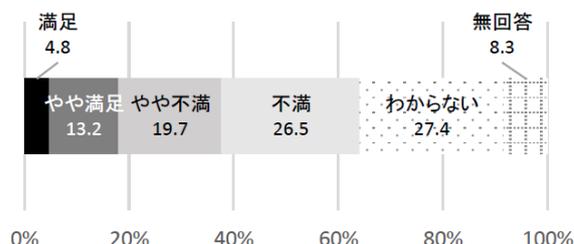


(5) スポーツ・レクリエーション施設の利用しやすさ

スポーツ・レクリエーション施設の利用しやすさは「満足」「やや満足」が約18%、「やや不満」「不満」が約46%となっており、やや不満が多くなっています。

問2-4-5.スポーツ・レクリエーション施設の利用しやすさ

	回答数	割合
1 満足	36	4.8
2 やや満足	100	13.2
3 やや不満	149	19.7
4 不満	200	26.5
5 わからない	207	27.4
無回答	63	8.3
計	755	100.0



【年齢別・地域別】

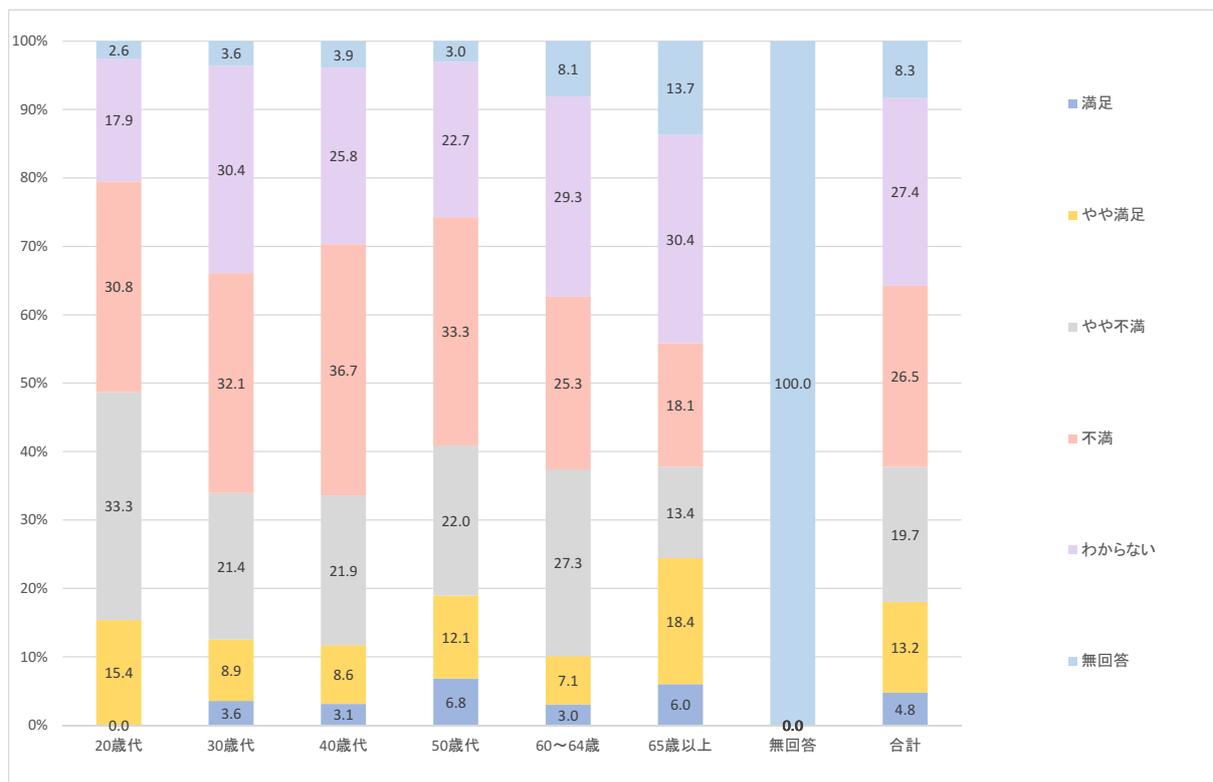
○年齢別

年齢別に見ると、「満足」「やや満足」は、60歳代の割合が比較的高いが、全体的に低くなっています。

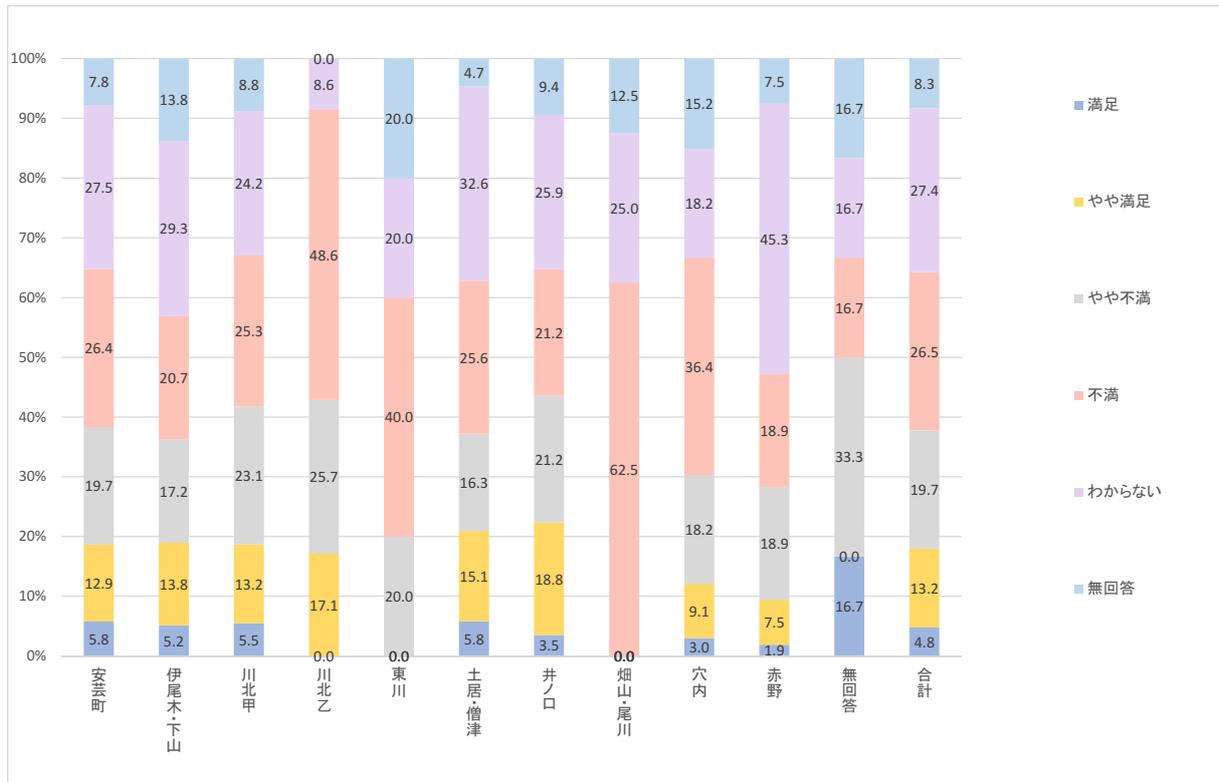
○地域別

地域別に見ると、東川、穴内、赤野地域の満足度が比較的低い一方で、川北乙、東川、畑山・尾川地域の「不満」「やや不満」が高くなっています。

○年齢別



○地域別

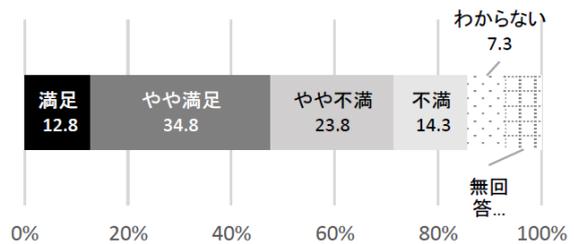


(6) 医療・福祉関連施設の利用しやすさ

医療・福祉関連施設の利用しやすさは「満足」「やや満足」が約 48%、「やや不満」「不満」が約 38%となっています。

問2-4-6.医療・福祉関連施設の利用しやすさ

	回答数	割合
1 満足	97	12.8
2 やや満足	263	34.8
3 やや不満	180	23.8
4 不満	108	14.3
5 わからない	55	7.3
無回答	52	6.9
計	755	100.0



【年齢別・地域別】

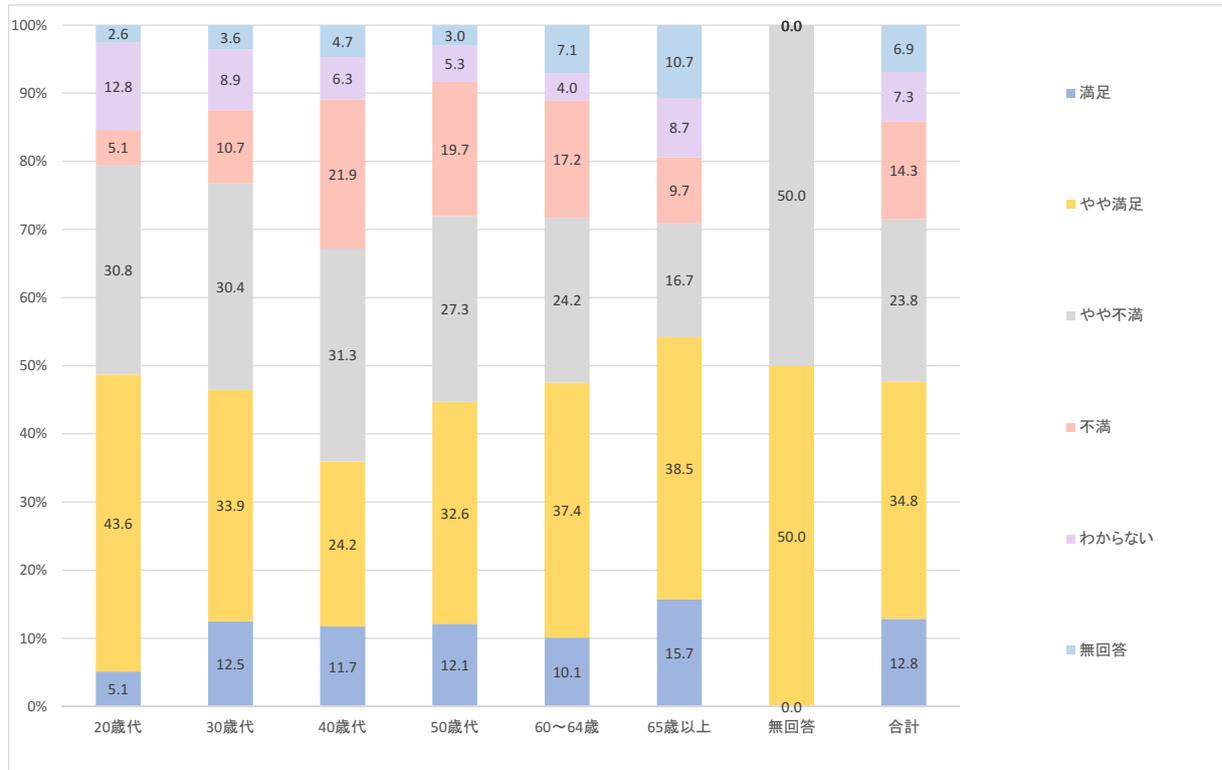
○年齢別

年齢別に見ると、「満足」「やや満足」は、65歳代以上が最も高く、次いで、20歳代、30歳代の割合が比較的高くなっています。

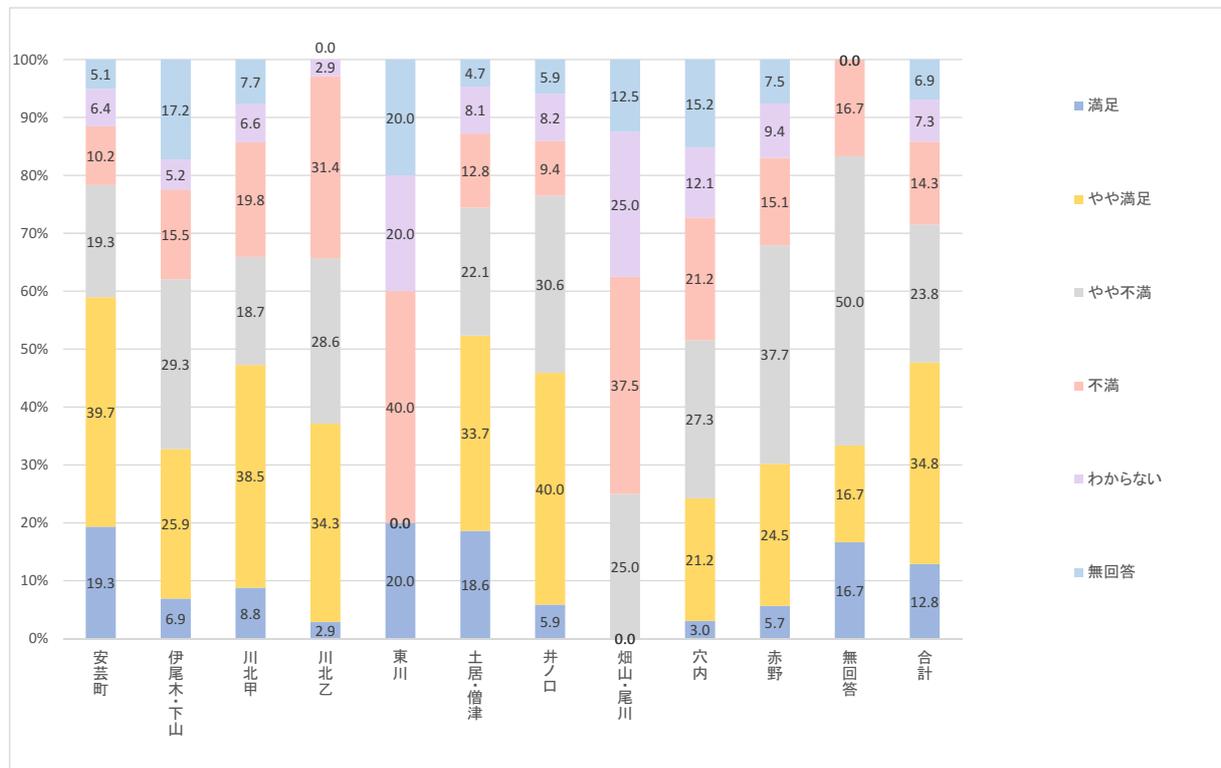
○地域別

地域別に見ると、畑山・尾川の満足度が低い。また、東川、穴内、赤野地域の満足度も比較的低くなっています。

○年齢別



○地域別

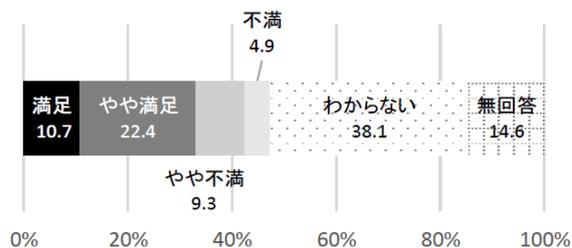


(7) 保育園や幼稚園などの利用しやすさ

保育園や幼稚園などの利用しやすさは「満足」「やや満足」が約 33%、「やや不満」「不満」が約 14%となっています。

問2-4-7.保育園や幼稚園などの利用しやすさ

	回答数	割合
1 満足	81	10.7
2 やや満足	169	22.4
3 やや不満	70	9.3
4 不満	37	4.9
5 わからない	288	38.1
無回答	110	14.6
計	755	100.0



【年齢別・地域別】

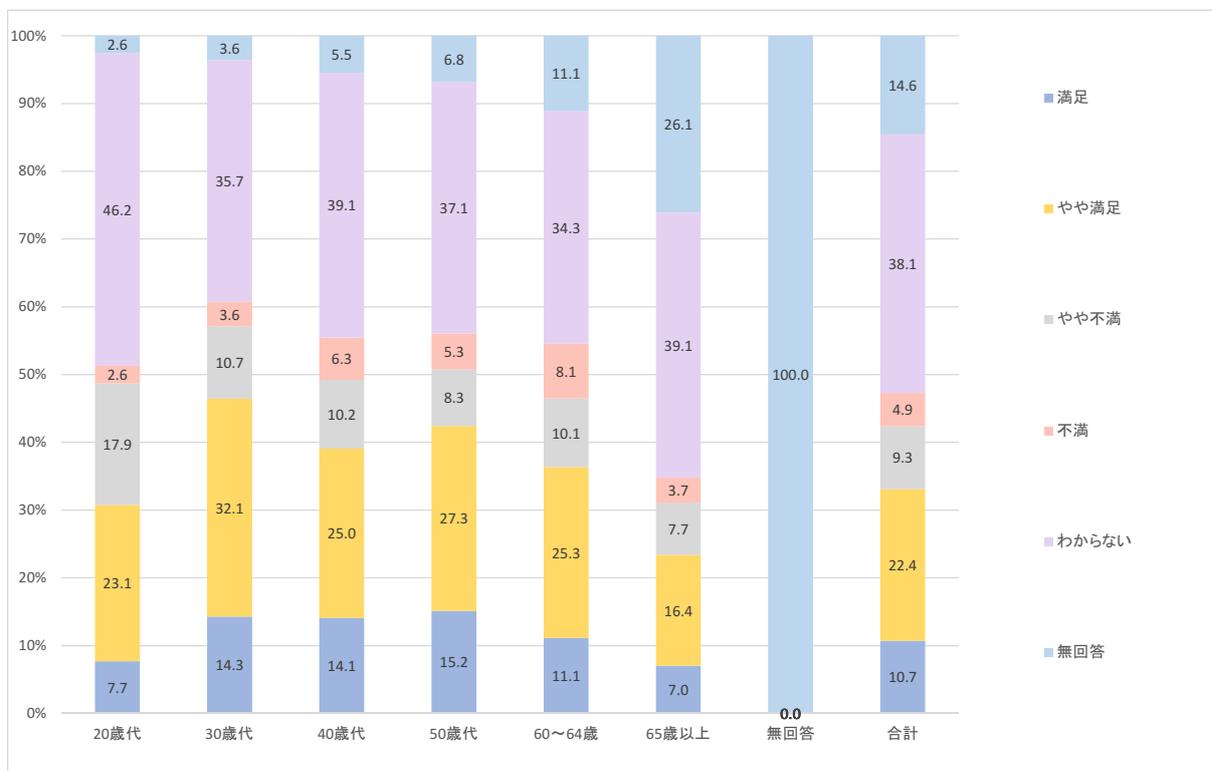
○年齢別

年齢別に見ると、「満足」「やや満足」は、30歳代の子育て世代は比較的高いが、20歳代及び65歳以上が比較的低くなっています。

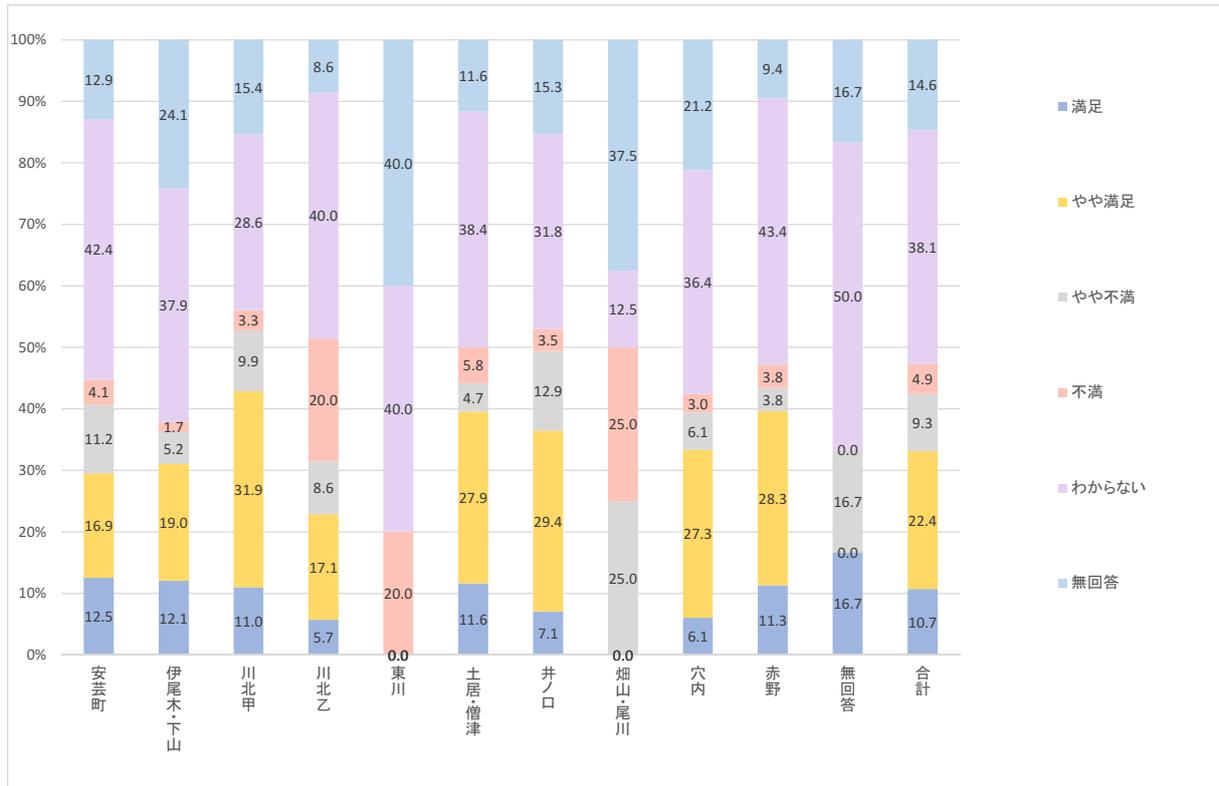
○地域別

地域別に見ると、東川、畑山・尾川地域の満足度が低くなっています。

○年齢別



○地域別

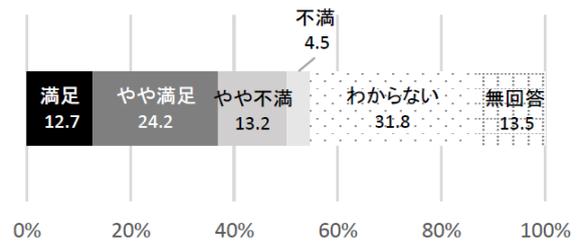


(8) 教育施設（小・中学校等）の通いやすさ

教育施設（小・中学校等）の通いやすさは「満足」「やや満足」が約 37%、「やや不満」「不満」が約 18%となっています。

問2-4-8.教育施設(小・中学校等)の通いやすさ

	回答数	割合
1 満足	96	12.7
2 やや満足	183	24.2
3 やや不満	100	13.2
4 不満	34	4.5
5 わからない	240	31.8
無回答	102	13.5
計	755	100.0



【年齢別・地域別】

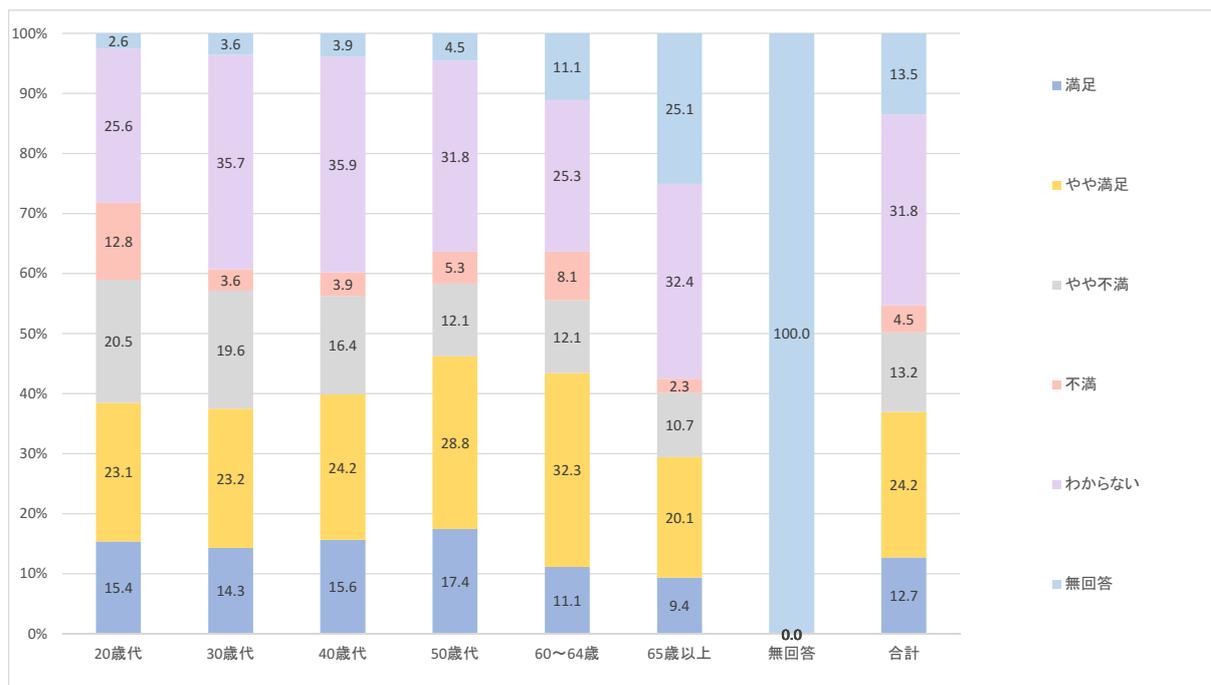
○年齢別

年齢別に見ると、65歳以上を除き、概ね「満足」「やや満足」の割合が高くなっています。

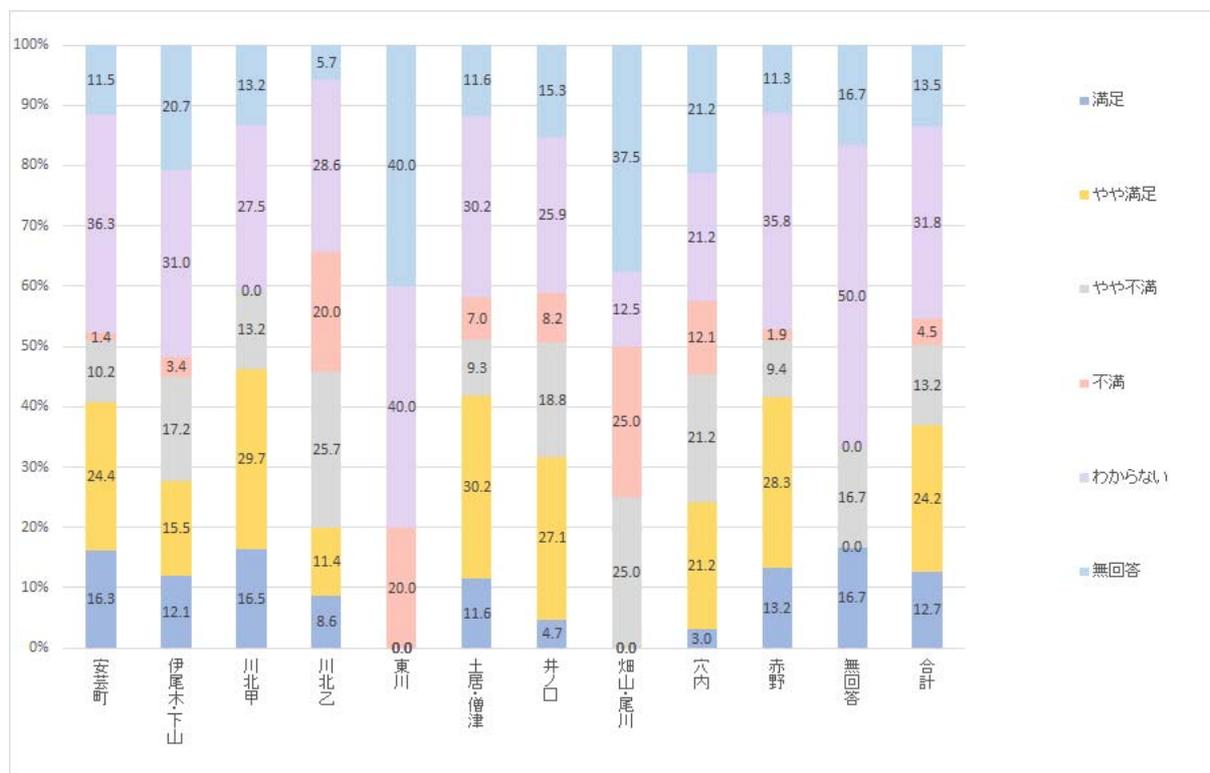
○地域別

地域別に見ると、東川、畑山・尾川地域の満足度が低くなっています。

○年齢別



○地域別

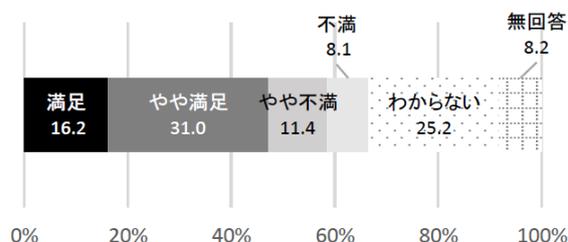


⑨ 公民館や集会所等の利用しやすさ

公民館や集会所等の利用しやすさは「満足」「やや満足」が約 47%、「やや不満」「不満」が約 20%となっています。

問2-4-9.公民館や集会所等の利用しやすさ

	回答数	割合
1 満足	122	16.2
2 やや満足	234	31.0
3 やや不満	86	11.4
4 不満	61	8.1
5 わからない	190	25.2
無回答	62	8.2
計	755	100.0



【年齢別・地域別】

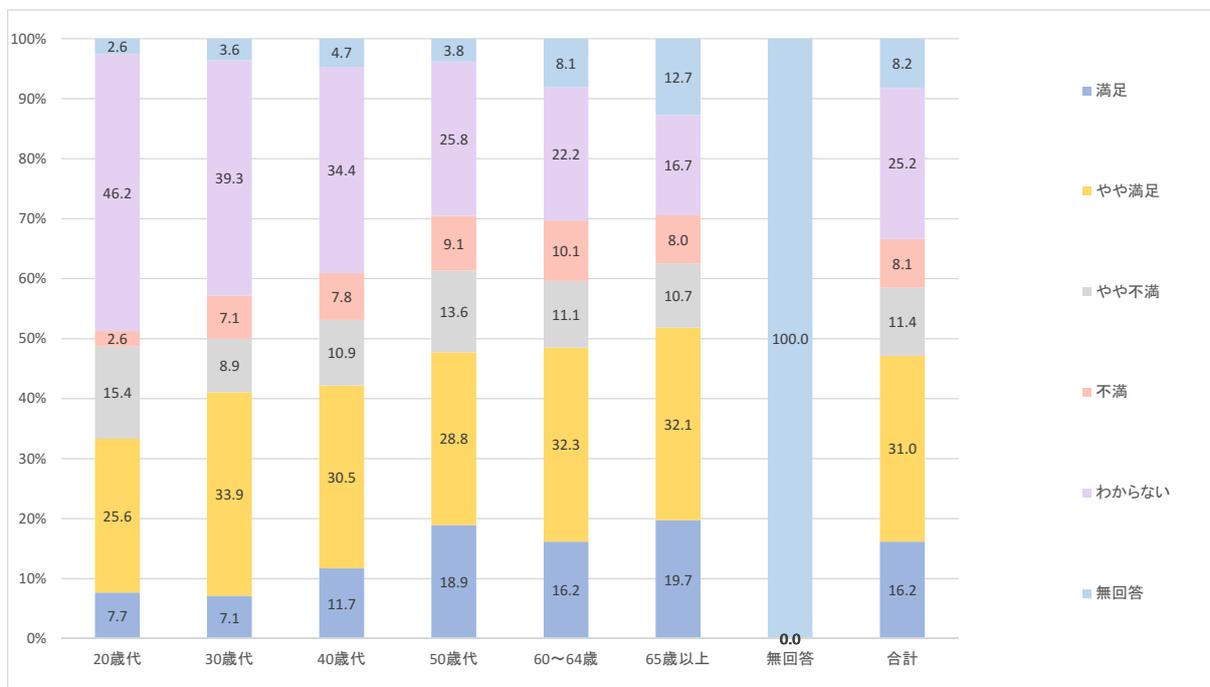
○年齢別

年齢別に見ると、年齢が高いほど「満足」「やや満足」の割合が高くなっています。

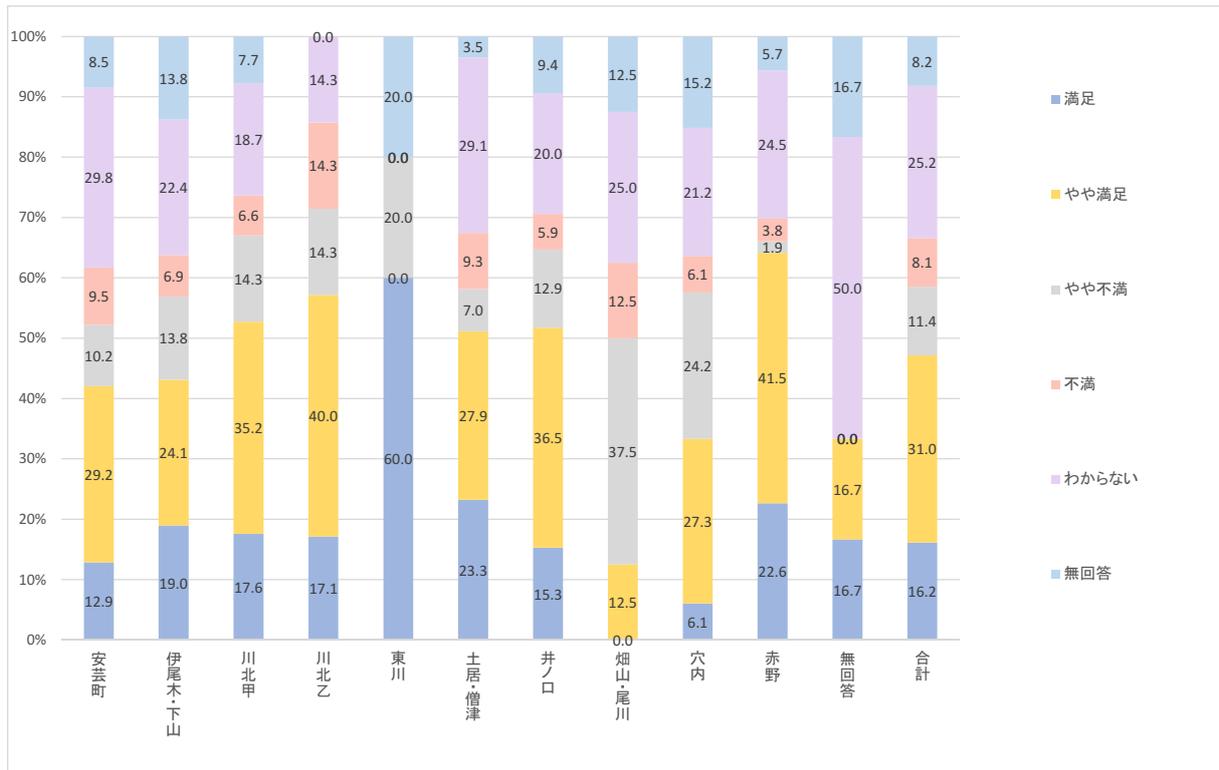
○地域別

地域別に見ると、畑山・尾川、穴内地域の満足度が特に低くなっています。

○年齢別



○地域別

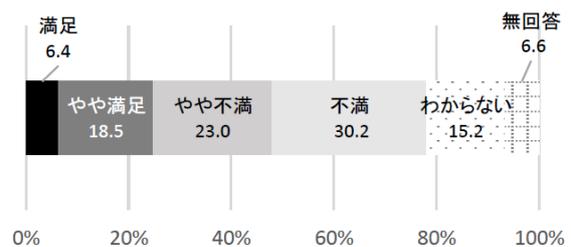


(10) 地震や水害に対する安全性

地震や水害に対する安全性に対する満足度は「満足」「やや満足」が約 24%、「やや不満」「不満」が約 53%となっており、やや不満が多くなっています。

問2-4-10.地震や水害に対する安全性

	回答数	割合
1 満足	48	6.4
2 やや満足	140	18.5
3 やや不満	174	23.0
4 不満	228	30.2
5 わからない	115	15.2
無回答	50	6.6
計	755	100.0



【年齢別・地域別】

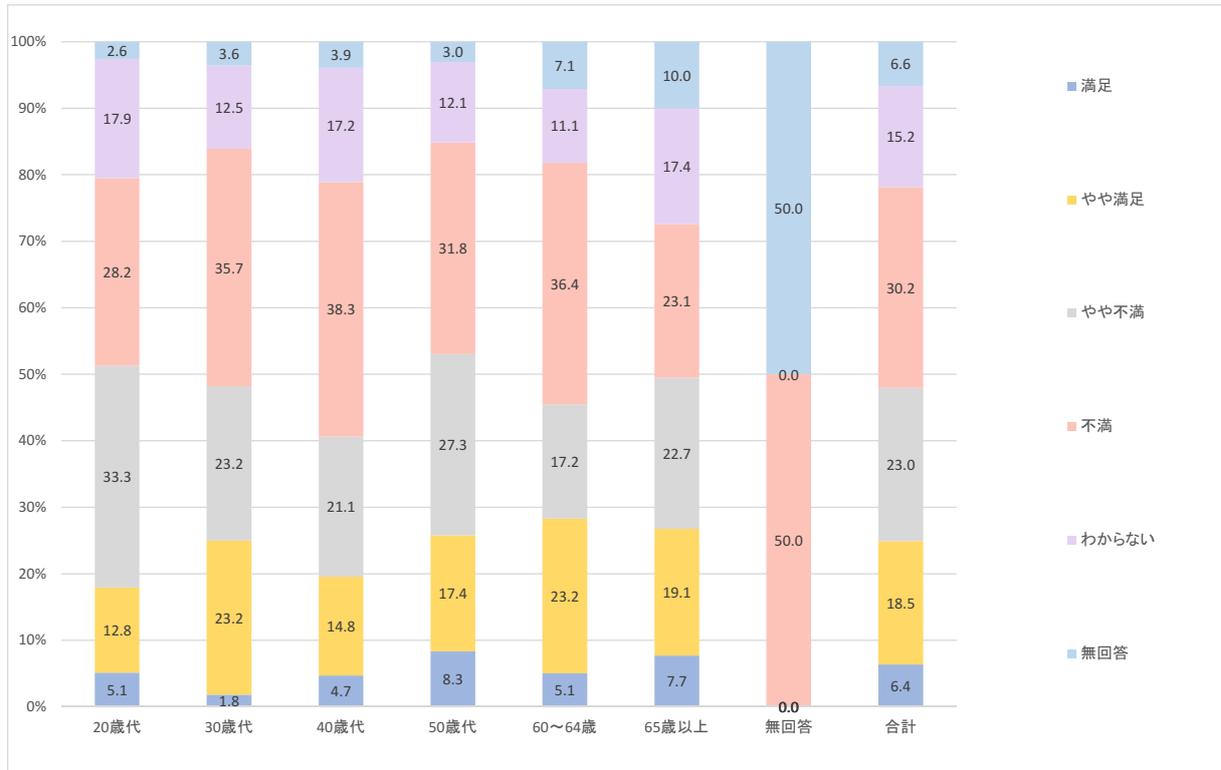
○年齢別

年齢別に見ると、20歳代と40歳代の「満足」「やや満足」の割合がやや低くなっています。

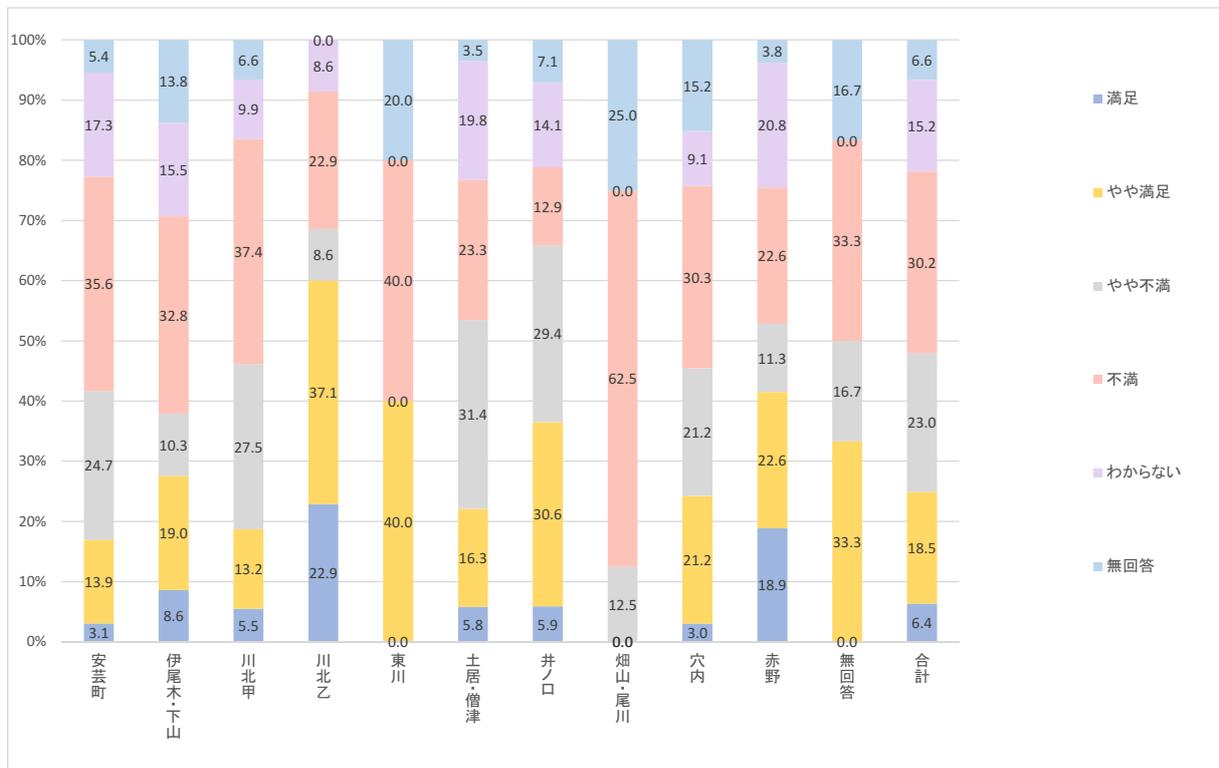
○地域別

地域別に見ると、安芸町、川北甲地域の「満足」「やや満足」の割合が比較的低くなっています。特に、畑山・尾川地域の割合は低くなっています。

○年齢別



○地域別

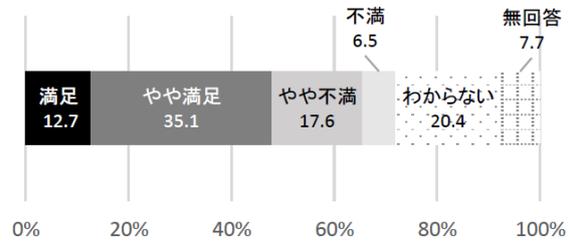


(11) 犯罪に対する安全性

犯罪に対する安全性は「満足」「やや満足」が約48%、「やや不満」「不満」が約24%となっています。

問2-4-11.犯罪に対する安全性

	回答数	割合
1 満足	96	12.7
2 やや満足	265	35.1
3 やや不満	133	17.6
4 不満	49	6.5
5 わからない	154	20.4
無回答	58	7.7
計	755	100.0



【年齢別・地域別】

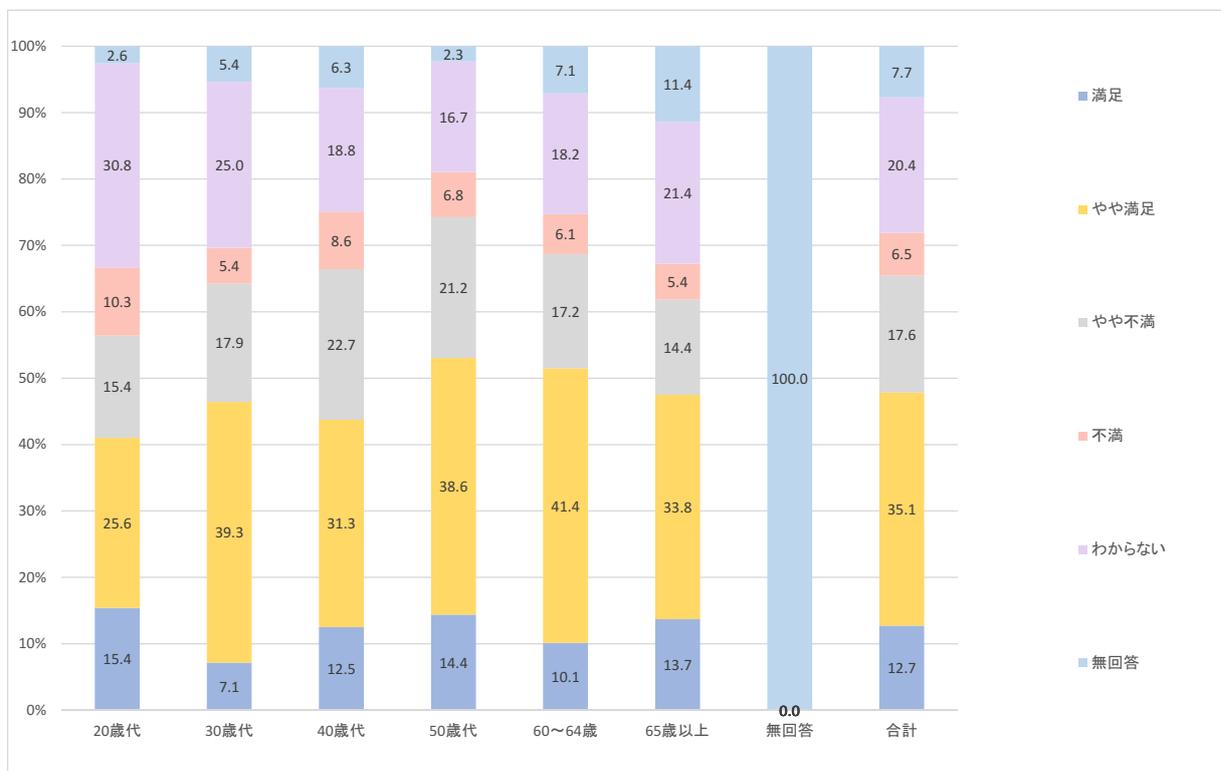
○年齢別

年齢別に見ると、20歳代と40歳代の「満足」「やや満足」の割合がやや低くなっています。

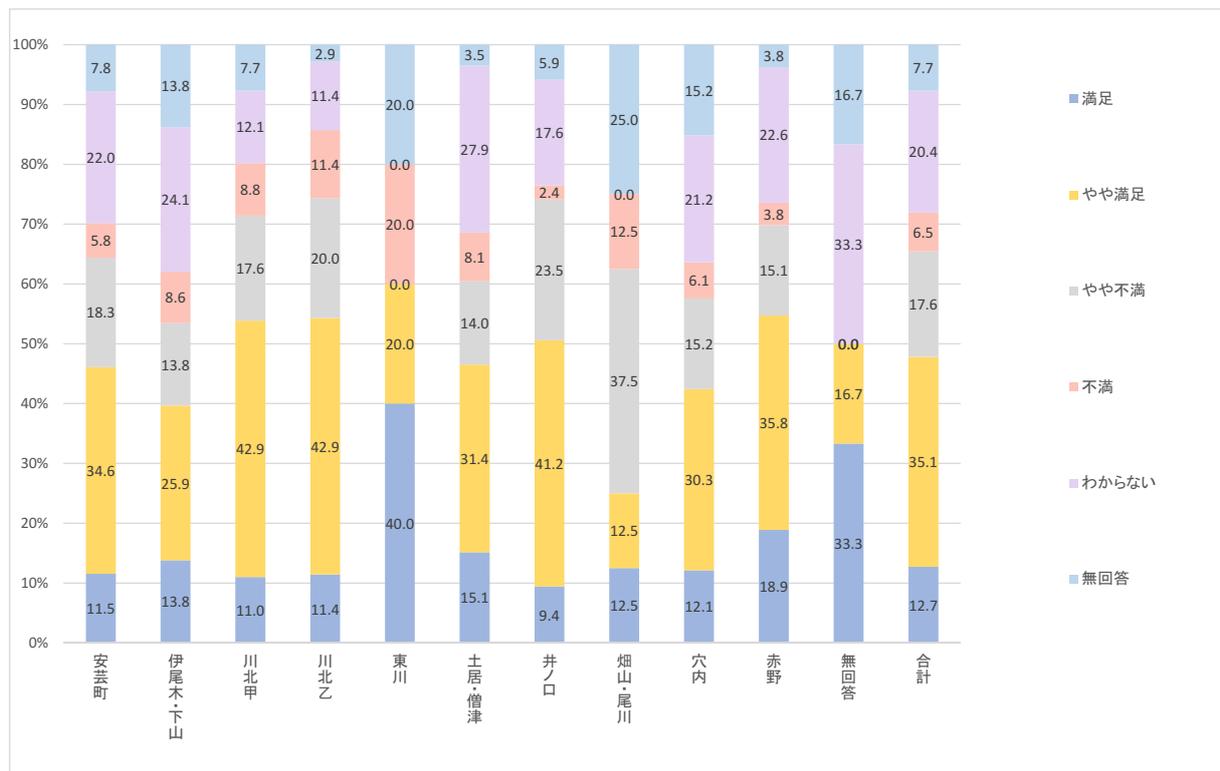
○地域別

地域別に見ると、畑山・尾川地域の「満足」「やや満足」の割合が比較的低くなっています。

○年齢別



○地域別

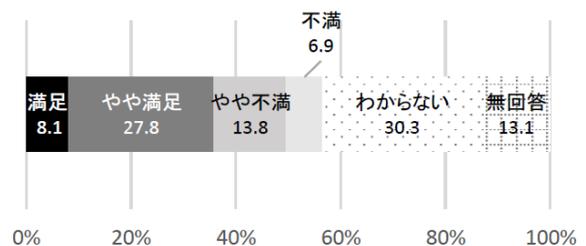


(12) 子育て環境

子育て環境に対する満足度は「満足」「やや満足」が約 36%、「やや不満」「不満」が約 21% となっています。

問2-4-12.子育て環境

	回答数	割合
1 満足	61	8.1
2 やや満足	210	27.8
3 やや不満	104	13.8
4 不満	52	6.9
5 わからない	229	30.3
無回答	99	13.1
計	755	100.0



【年齢別・地域別】

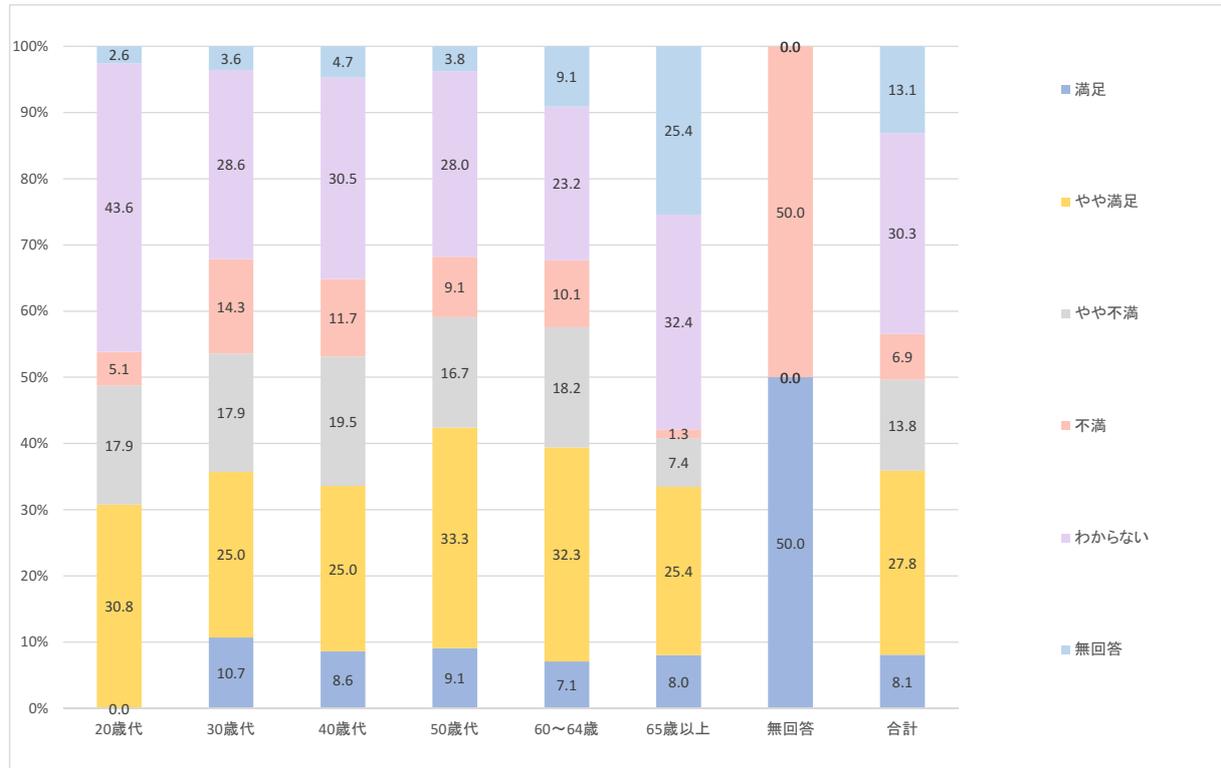
○年齢別

年齢別に見ると、50歳代と60～64歳代の「満足」「やや満足」の割合がやや高くなっています。

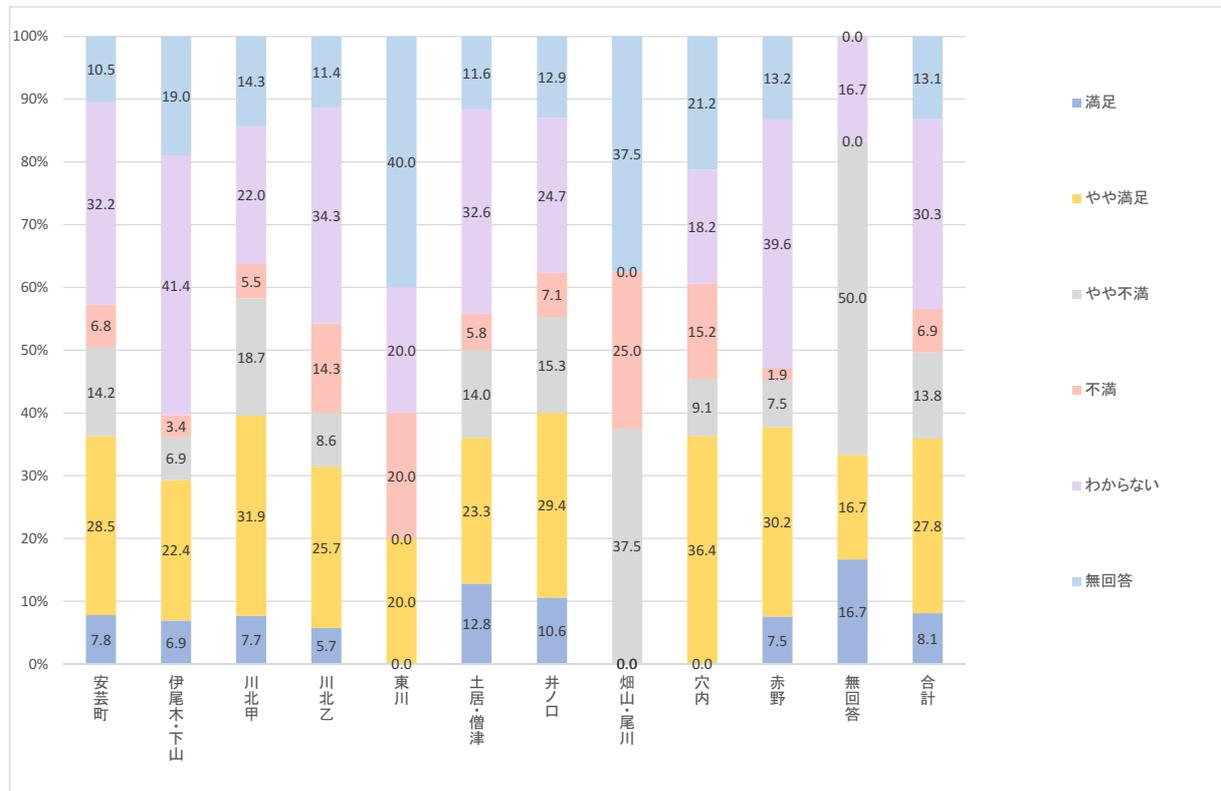
○地域別

地域別に見ると、畑山・尾川地域の「満足」「やや満足」の割合が低くなっています。また、東川地域も比較的 low くなっています。

○年齢別



○地域別

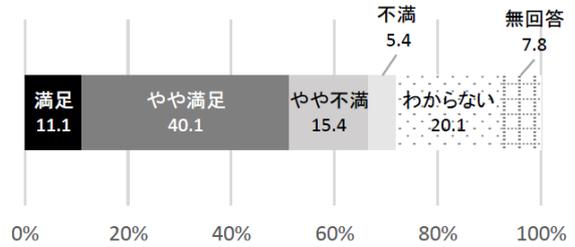


(13) 地域とのつながり（コミュニティ）

地域とのつながり（コミュニティ）は「満足」「やや満足」が約51%、「やや不満」「不満」が約21%となっています。

問2-4-13.地域とのつながり（コミュニティ）

	回答数	割合
1 満足	84	11.1
2 やや満足	303	40.1
3 やや不満	116	15.4
4 不満	41	5.4
5 わからない	152	20.1
無回答	59	7.8
計	755	100.0



【年齢別・地域別】

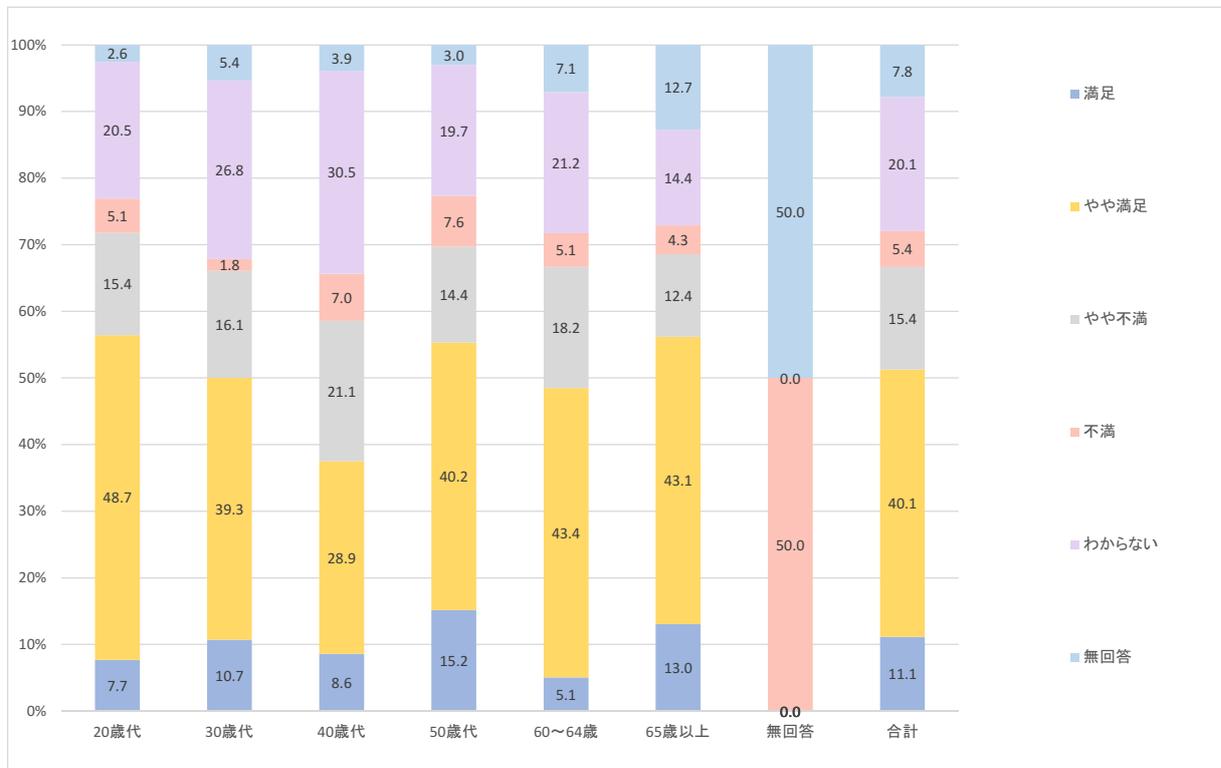
○年齢別

年齢別に見ると、40歳代の「満足」「やや満足」の割合がやや低くなっています。

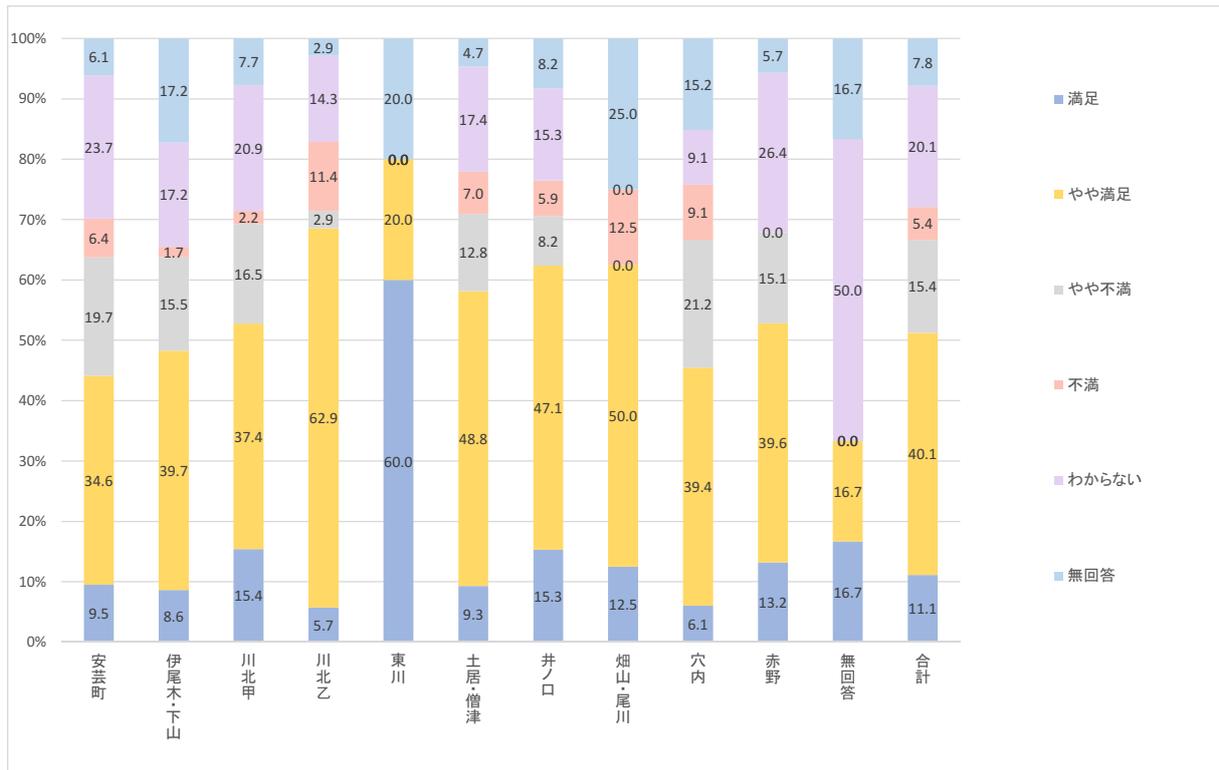
○地域別

地域別に見ると、穴内地域の「満足」「やや満足」の割合が比較的低くなっています。

○年齢別



○地域別



2.3 日常生活の動向について

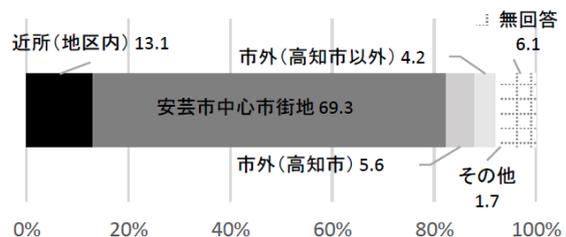
問3 日常生活における各行動で、最も頻度が多い場所を教えてください。(それぞれ1つに○)

2.3.1 買い物場所

買い物場所は1位「安芸市中心市街地」(約69%)が突出しています。次いで2位「近所(地区内)」(約13%)、3位「無回答」(約6%)となっています。

問3-1. 買い物場所

順位	場所	回答数	割合
1	近所(地区内)	99	13.1
2	安芸市中心市街地	523	69.3
3	市外(高知市)	42	5.6
4	市外(高知市以外)	32	4.2
5	その他	13	1.7
	無回答	46	6.1
	計	755	100.0



【年齢別・地域別】

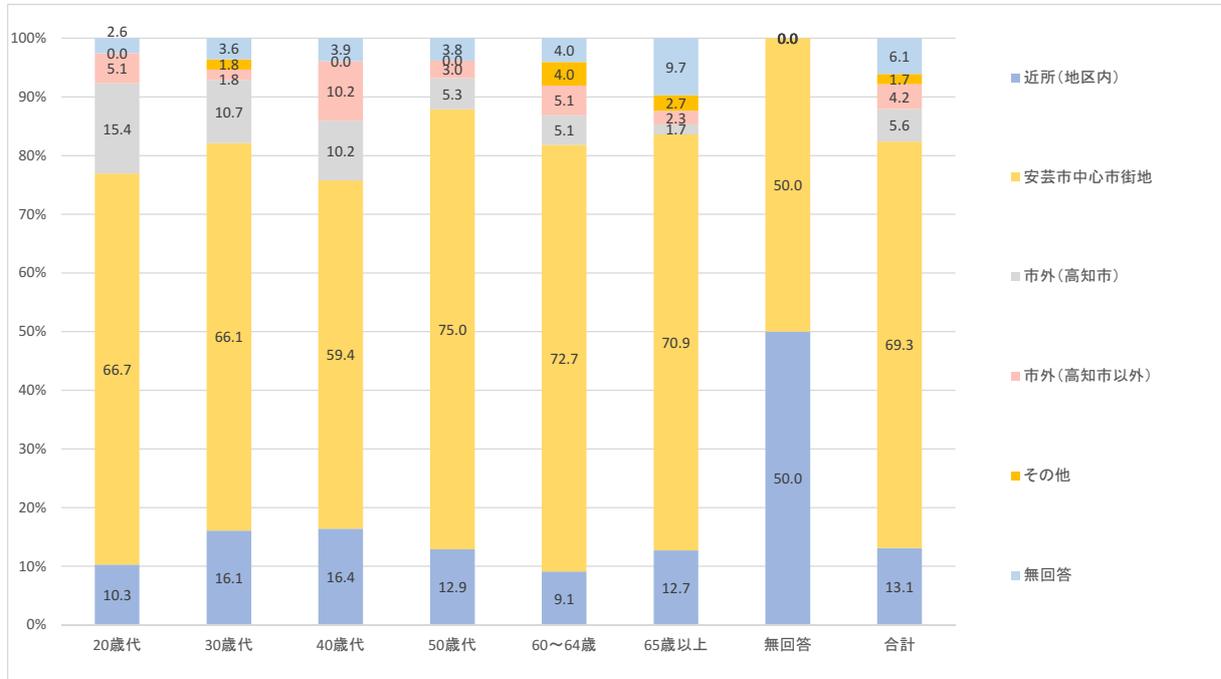
○年齢別

年齢別に見ると、全ての年代で、安芸市中心市街地の割合が最も高く、次いで近所(地区内)となっています。なお、市外(高知市)は20歳代の割合が高く、市外(高知市以外)は40歳代の割合が比較的高くなっています。

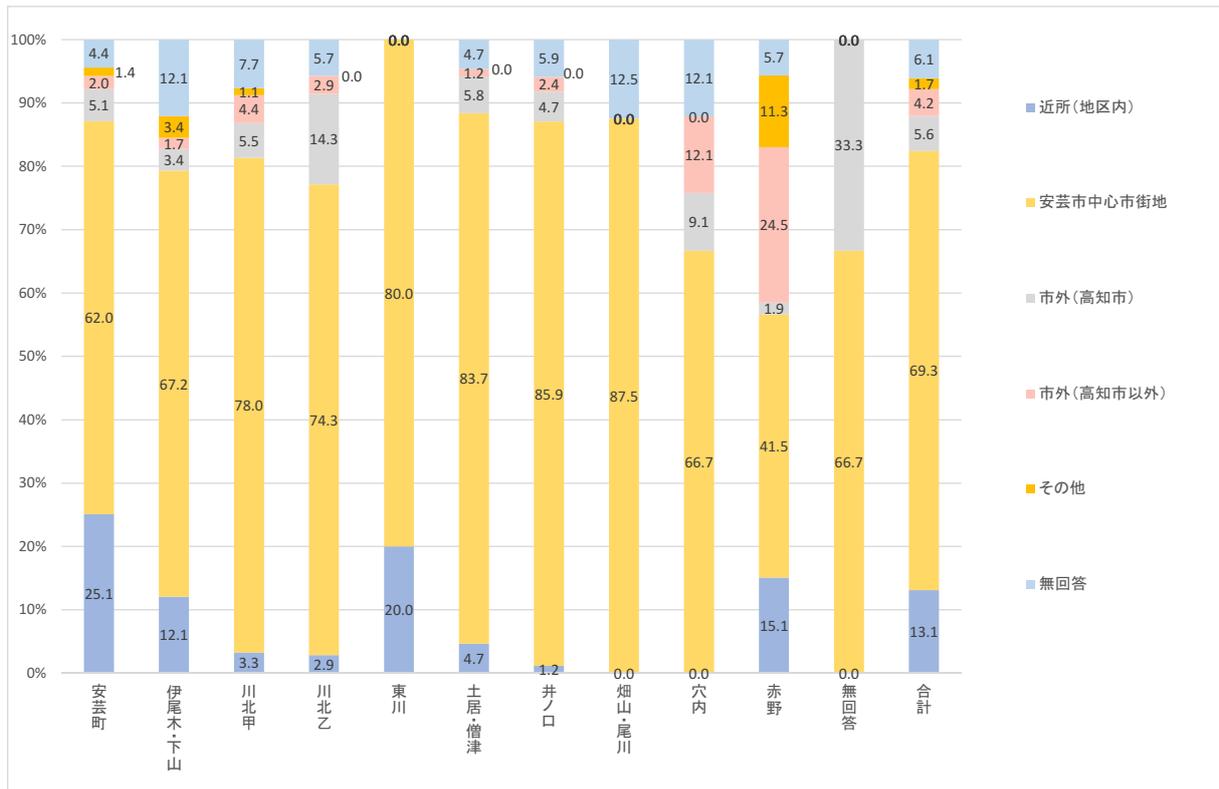
○地域別

地域別に見ると、全ての地域で、安芸市中心市街地の割合が最も高くなっています。なお、赤野地域は、市外（高知市以外）の割合が比較的高くなっています。

○年齢別



○地域別

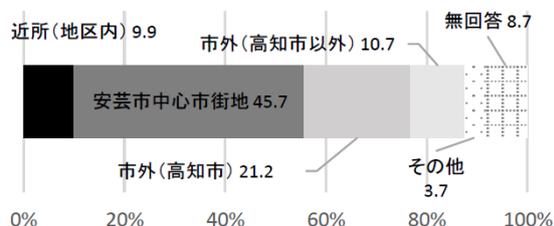


2.3.2 家族・友人との会合や飲食場所

家族・友人との会合や飲食場所は 1 位「安芸市中心市街地」（約 46%）、2 位「市外（高知市）」（約 21%）、3 位「市外（高知市以外）」（約 11%）となっています。

問3-2.家族・友人との会合や飲食場所

		回答数	割合
1	近所（地区内）	75	9.9
2	安芸市中心市街地	345	45.7
3	市外（高知市）	160	21.2
4	市外（高知市以外）	81	10.7
5	その他	28	3.7
	無回答	66	8.7
	計	755	100.0



【年齢別・地域別】

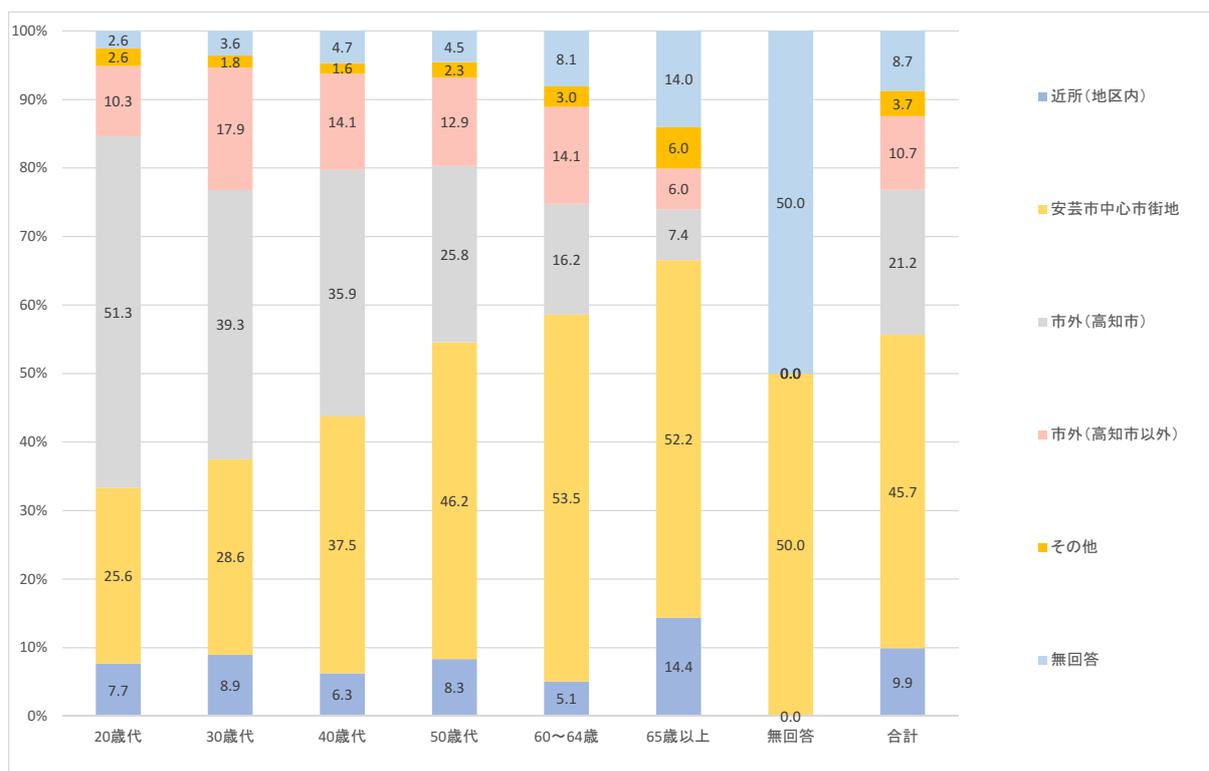
○年齢別

年齢別に見ると、高齢になるほど安芸市中心市街地の割合が高くなっています。20 歳代、30 歳代は、市外（高知市）の割合が高くなっています。

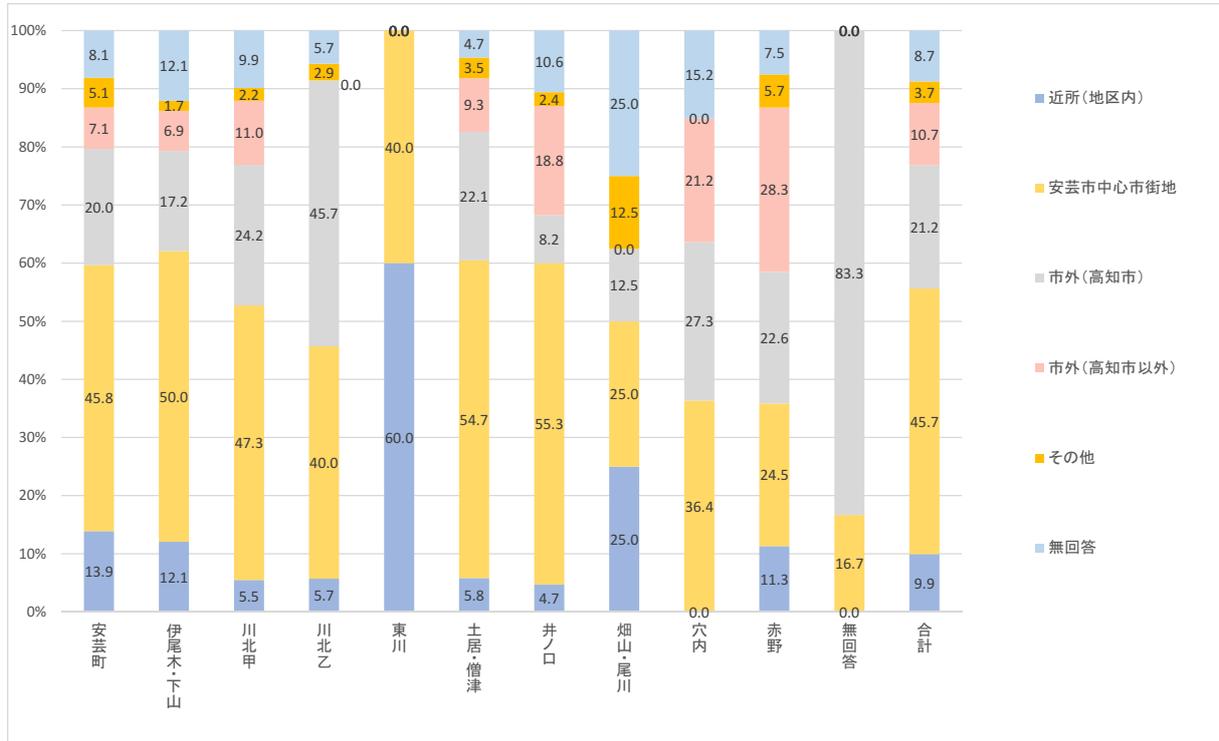
○地域別

地域別に見ると、全ての地域で安芸市中心市街地の割合が最も高くなっています。なお、市外（高知市）の割合は川北乙、市外（高知市以外）の割合は、赤野地域が最も高くなっています。

○年齢別



○地域別

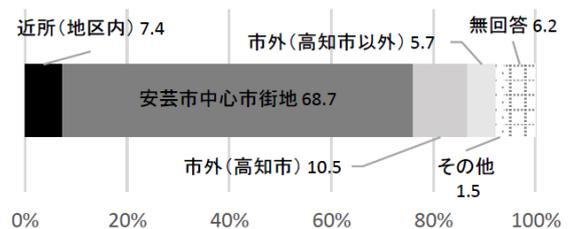


2.3.3 通院場所

通院場所は 1 位「安芸市中心市街地」(約 69%) と突出しています。次いで、2 位「市外(高知市)」(約 11%)、3 位「近所(地区内)」(約 7%) となっています。

問3-3.通院場所

順位	通院場所	回答数	割合
1	近所(地区内)	56	7.4
2	安芸市中心市街地	519	68.7
3	市外(高知市)	79	10.5
4	市外(高知市以外)	43	5.7
5	その他	11	1.5
	無回答	47	6.2
	計	755	100.0



【年齢別・地域別】

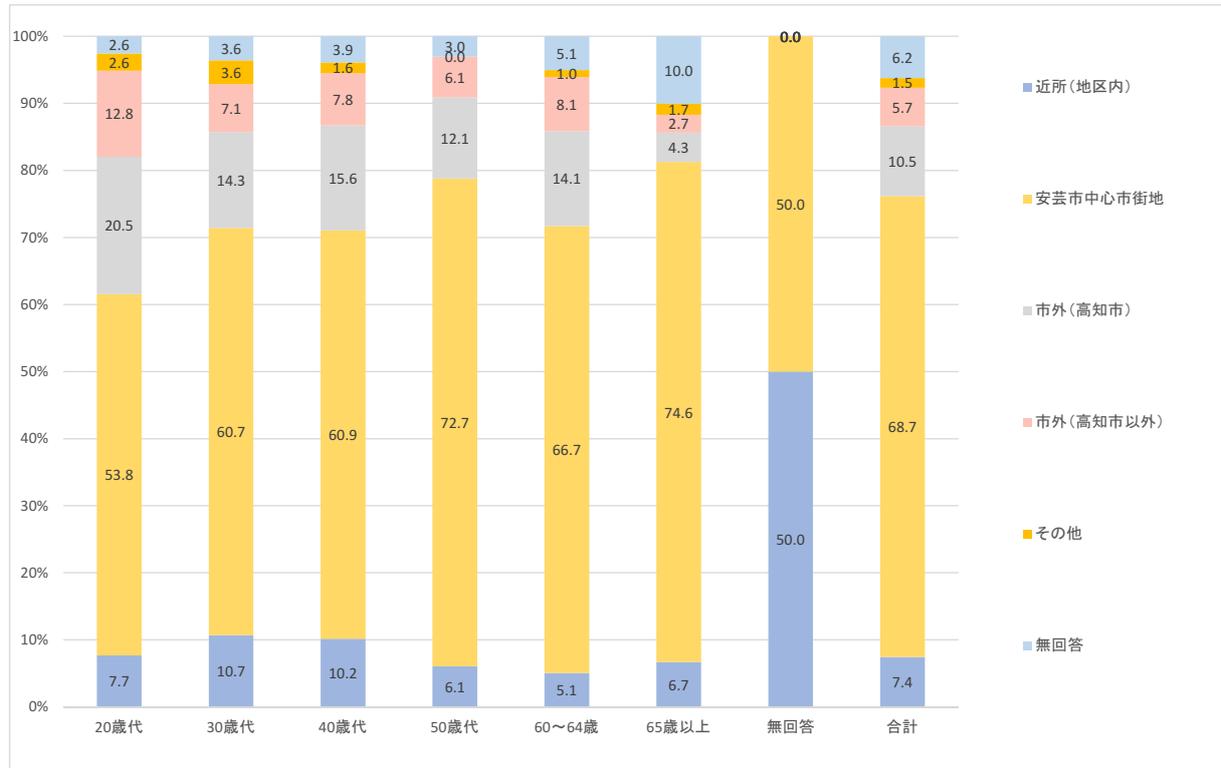
○年齢別

年齢別に見ると、50 歳以上は比較的安芸市中心市街地の割合が高くなっています。20 歳代は、市外(高知市、高知市以外)の割合が比較的高くなっています。

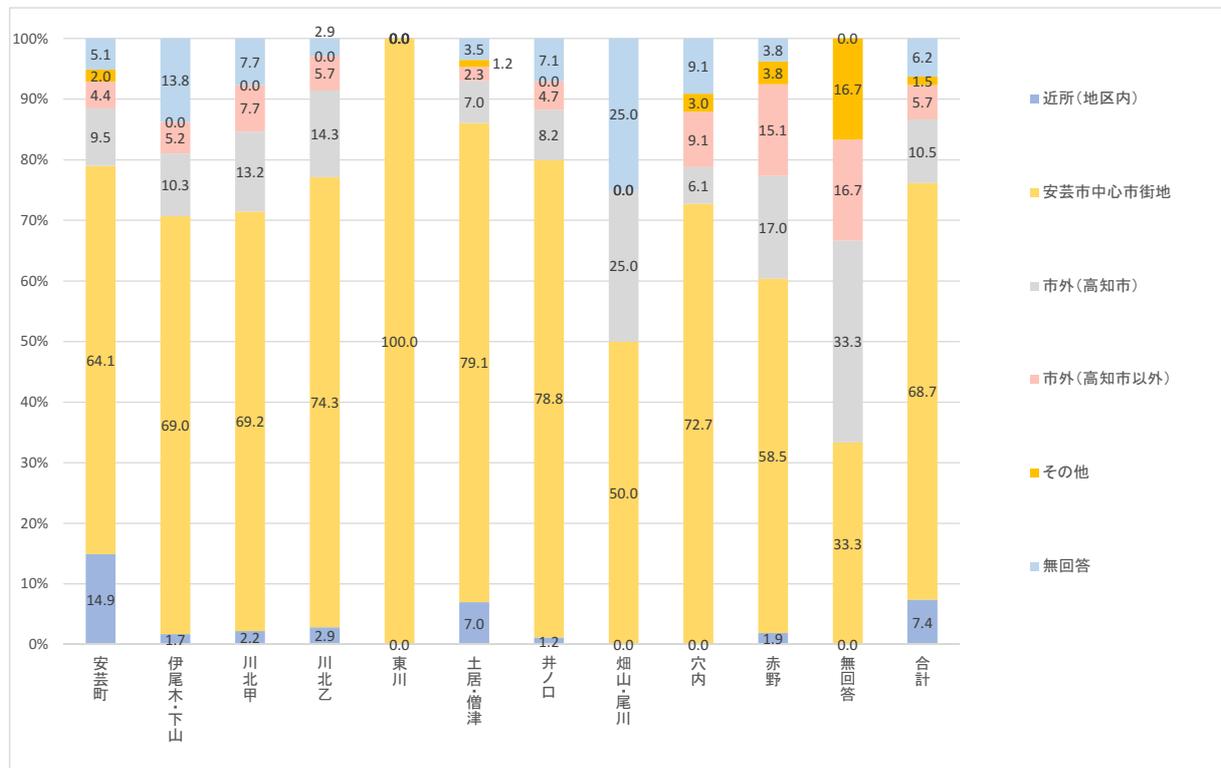
○地域別

地域別に見ると、安芸市中心市街地以外では、畑山・尾川地域が市外(高知市)、安芸町が近所(地区内)の割合が比較的高くなっています。

○年齢別



○地域別

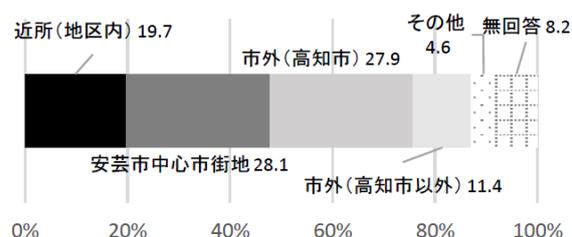


2.3.4 余暇を過ごす場所

余暇を過ごす場所は 1 位「安芸市中心市街地」(約 28%)、2 位「市外(高知市)」(約 28%) が拮抗しており、3 位「近所(地区内)」(約 20%) となっています。

問3-4.余暇を過ごす場所

		回答数	割合
1	近所(地区内)	149	19.7
2	安芸市中心市街地	212	28.1
3	市外(高知市)	211	27.9
4	市外(高知市以外)	86	11.4
5	その他	35	4.6
	無回答	62	8.2
	計	755	100.0



【年齢別・地域別】

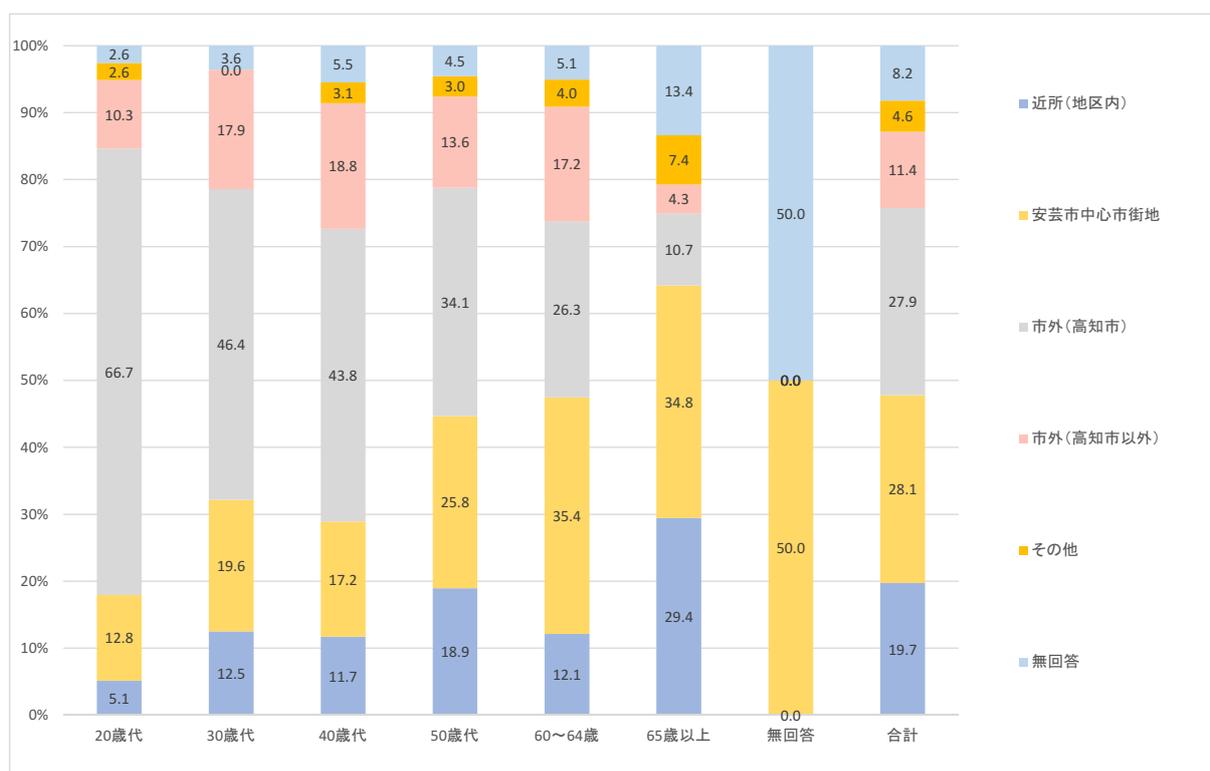
○年齢別

年齢別に見ると、若い世代は市外(高知市、高知市以外)、高齢世代は安芸市中心市街地、近所(地区内)の割合が高くなっています。特に20歳代は8割弱が安芸市以外となっています。

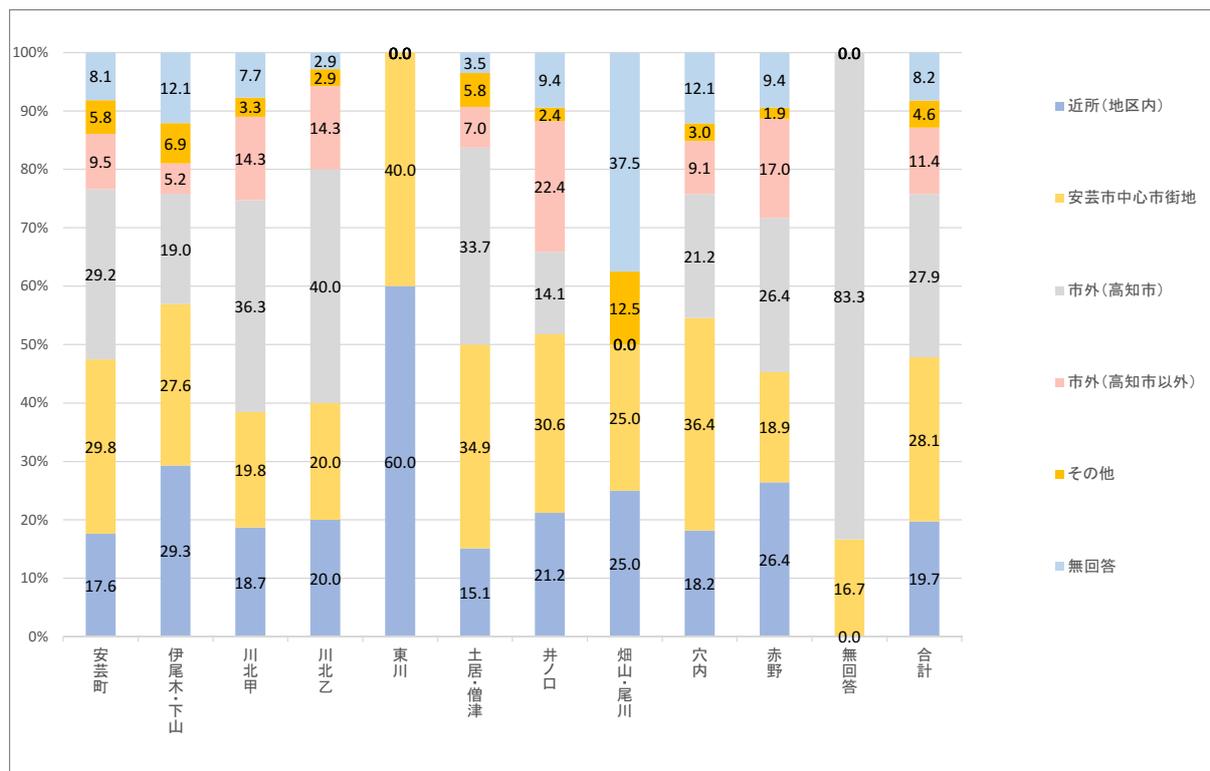
○地域別

地域別に見ると、東川地域は、安芸市中心市街地、近所(地区内)の割合が高く、川北甲・乙地域は、市外(高知市、高知市以外)の割合が比較的高くなっています。

○年齢別



○地域別



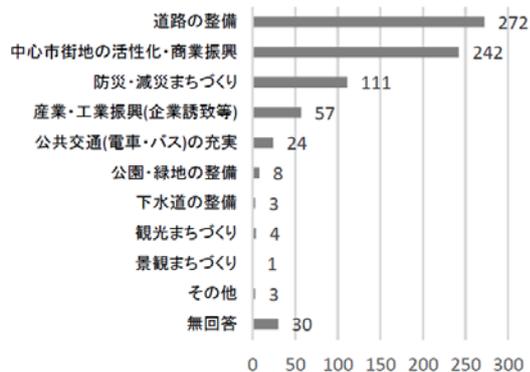
2.4 重点まちづくり分野について

2.4.1 重点的に進めるべき分野

重点的にまちづくりを進めるべき分野は1位「道路の整備」(約36%)、2位「中心市街地の活性化・商業振興」(約32%)、3位「防災・減災まちづくり」(約15%)となっており、これらで8割強を占めています。

問4 安芸市が重点的に進めるべきと思われる、まちづくり分野についてお答えください。
(特に重要だと思うもの2つに○)

順位	分野	回答数	割合
1	道路の整備	272	36.0
2	中心市街地の活性化・商業振興	242	32.1
3	防災・減災まちづくり	111	14.7
4	産業・工業振興(企業誘致等)	57	7.5
5	公共交通(電車・バス)の充実	24	3.2
6	公園・緑地の整備	8	1.1
7	下水道の整備	3	0.4
8	観光まちづくり	4	0.5
9	景観まちづくり	1	0.1
10	その他	3	0.4
	無回答	30	4.0
	計	755	100.0



【年齢別・地域別】

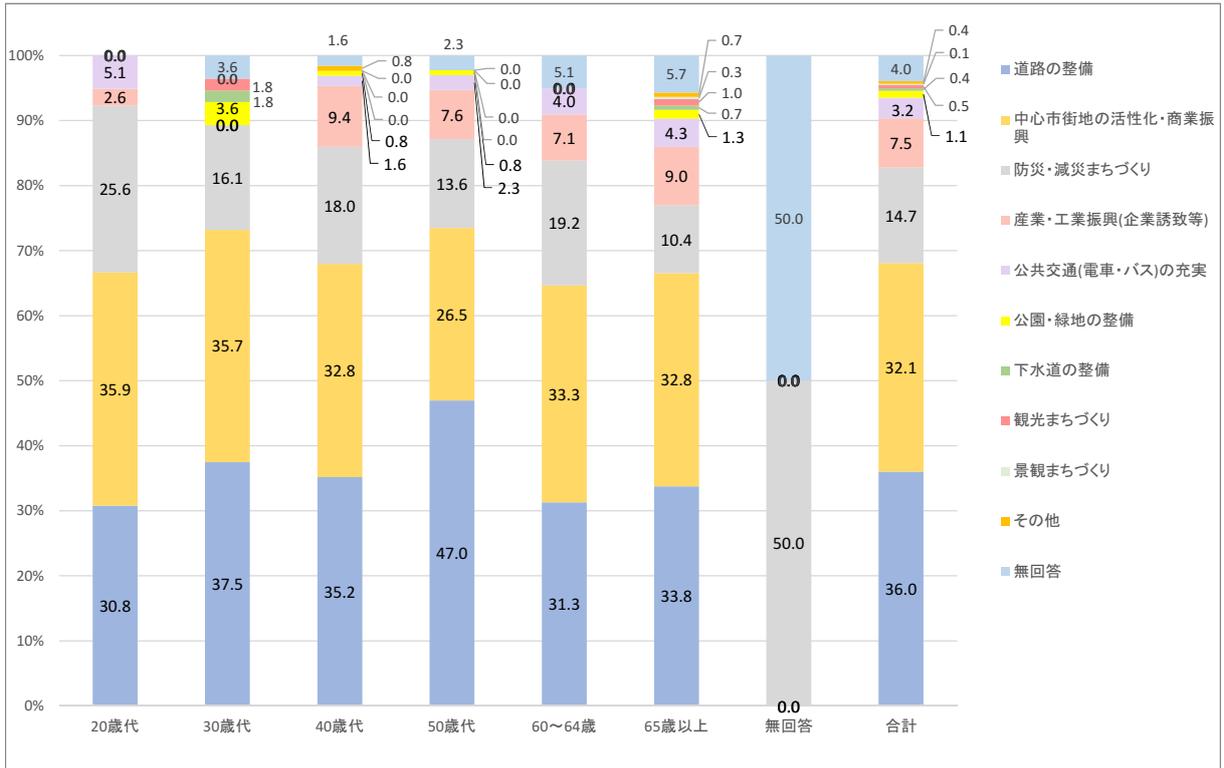
○年齢別

年齢別に見ると、全ての世代で、1位「道路の整備」、2位「中心市街地の活性化・商業振興」、3位「防災・減災まちづくり」の割合が高くなっています。

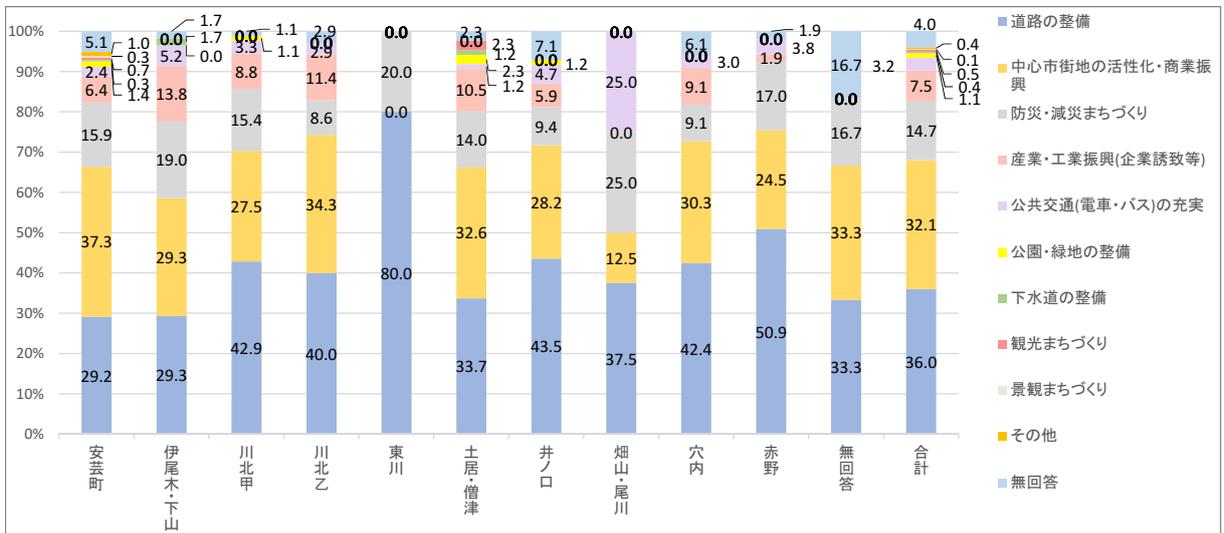
○地域別

地域別に見ると、東川地域は、「道路の整備」8割となっています。安芸町、川北乙では「中心市街地の活性化・商業振興」が比較的高くなっています。

○年齢別



○地域別



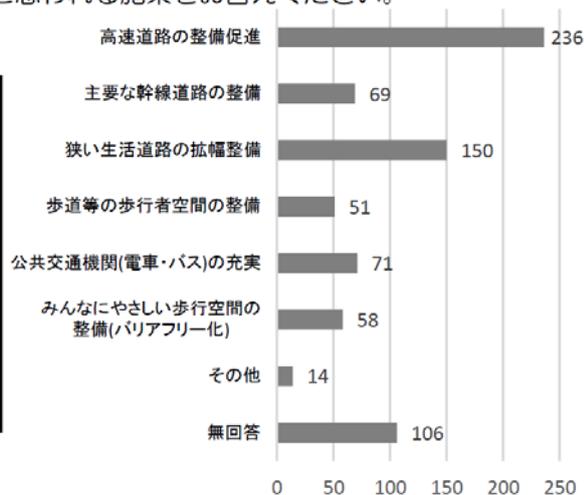
2.5 都市施設の整備に関する事項について

2.5.1 道路・交通環境

道路・交通環境に対する重要施策は、1位「高速道路の整備促進」（約31%）、2位「狭い生活道路の拡張整備」（約20%）が比較的多く、次いで3位「公共交通機関（電車・バス）の充実」（約9%）となっています。

問5-1 道路・交通環境の整備に関して重要と思われる施策をお答えください。
 （特に重要だと思うもの1つに○）

		回答数	割合
1	高速道路の整備促進	236	31.3
2	主要な幹線道路の整備	69	9.1
3	狭い生活道路の拡張整備	150	19.9
4	歩道等の歩行者空間の整備	51	6.8
5	公共交通機関(電車・バス)の充実	71	9.4
6	みんなにやさしい歩行空間の整備(バリアフリー化)	58	7.7
7	その他	14	1.9
	無回答	106	14.0
	計	755	100.0



【年齢別・地域別】

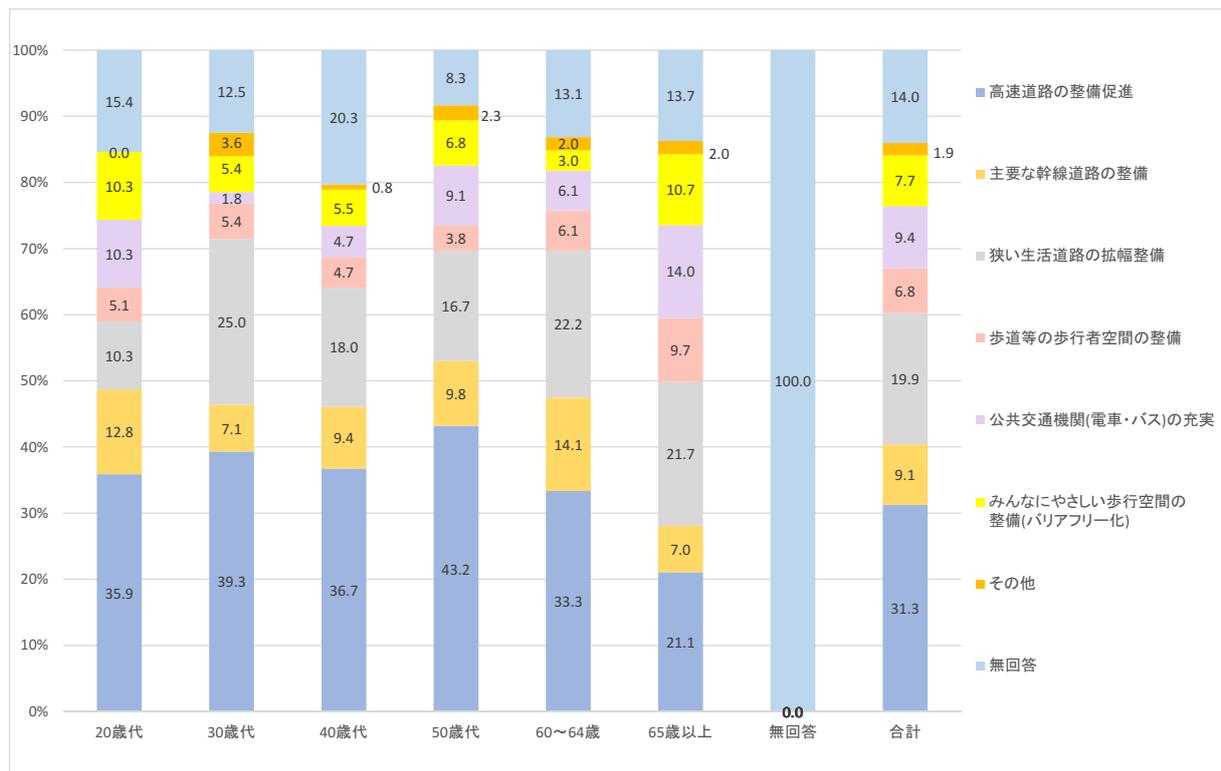
○年齢別

年齢別に見ると、50歳代が「道路の整備」の割合が高くなっています。60歳代以上では「狭い道路の拡張整備」が比較的高くなっています。

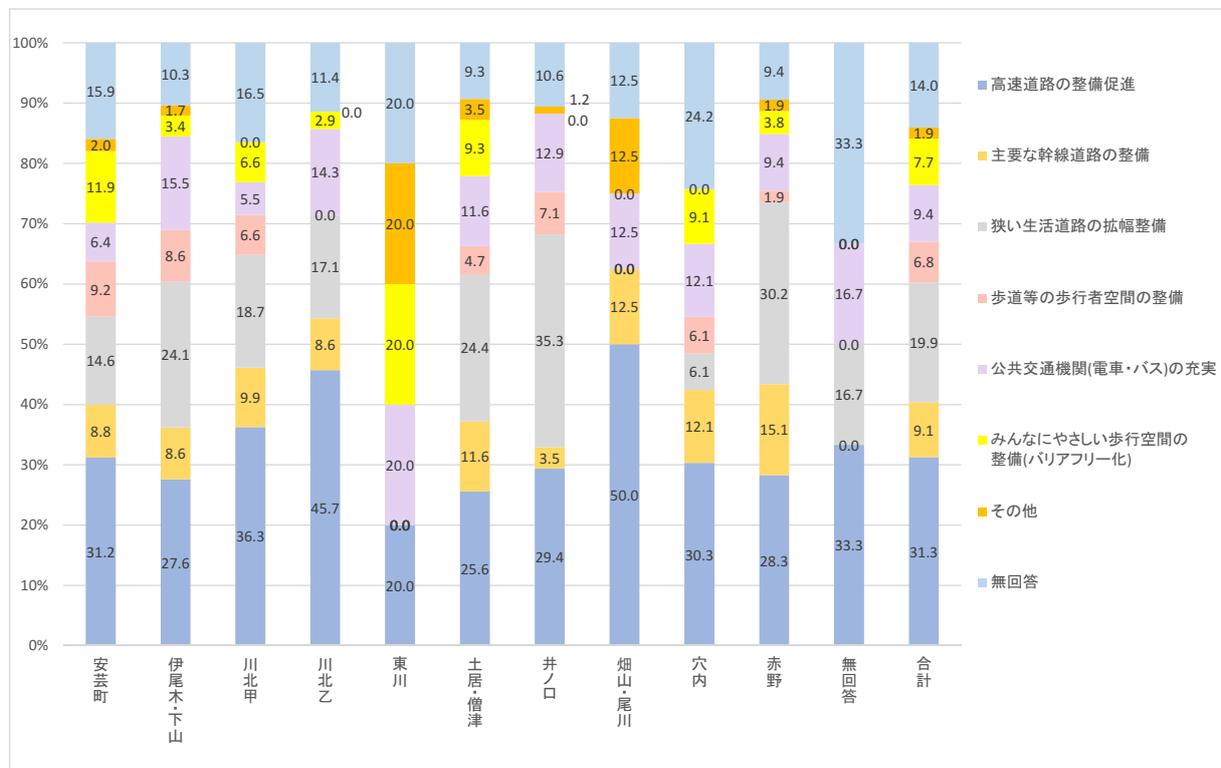
○地域別

地域別に見ると、畑山・尾川、川北乙地域は「道路の整備」、赤野、畑山・尾川、穴内地域は「主要な幹線道路の整備」、赤野、井ノ口地域は「狭い生活道路の拡張整備」の割合が比較的高くなっています。

○年齢別



○地域別

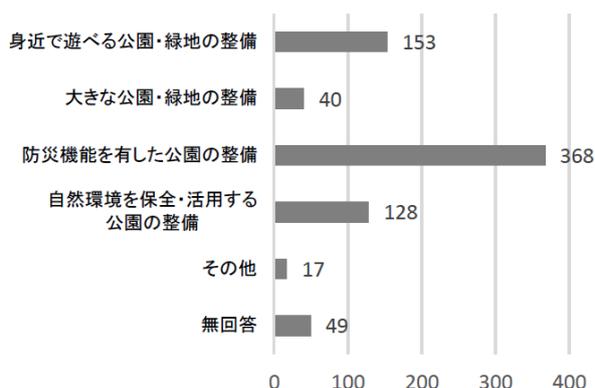


2.5.2 公園・緑地

公園・緑地に対する重要施策は、1位「防災機能を有した公園の整備」（約49%）が突出し、次いで2位「身近で遊べる公園・緑地の整備」（約20%）、3位「自然環境を保全・活用する公園の整備」（約17%）となっています。

問5-2 公園・緑地の整備に関して重要と思われる施策をお答えください。
 （特に重要だと思うもの1つに○）

	回答数	割合
1 身近で遊べる公園・緑地の整備	153	20.3
2 大きな公園・緑地の整備	40	5.3
3 防災機能を有した公園の整備	368	48.7
4 自然環境を保全・活用する公園の整備	128	17.0
5 その他	17	2.3
無回答	49	6.5
計	755	100.0



【年齢別・地域別】

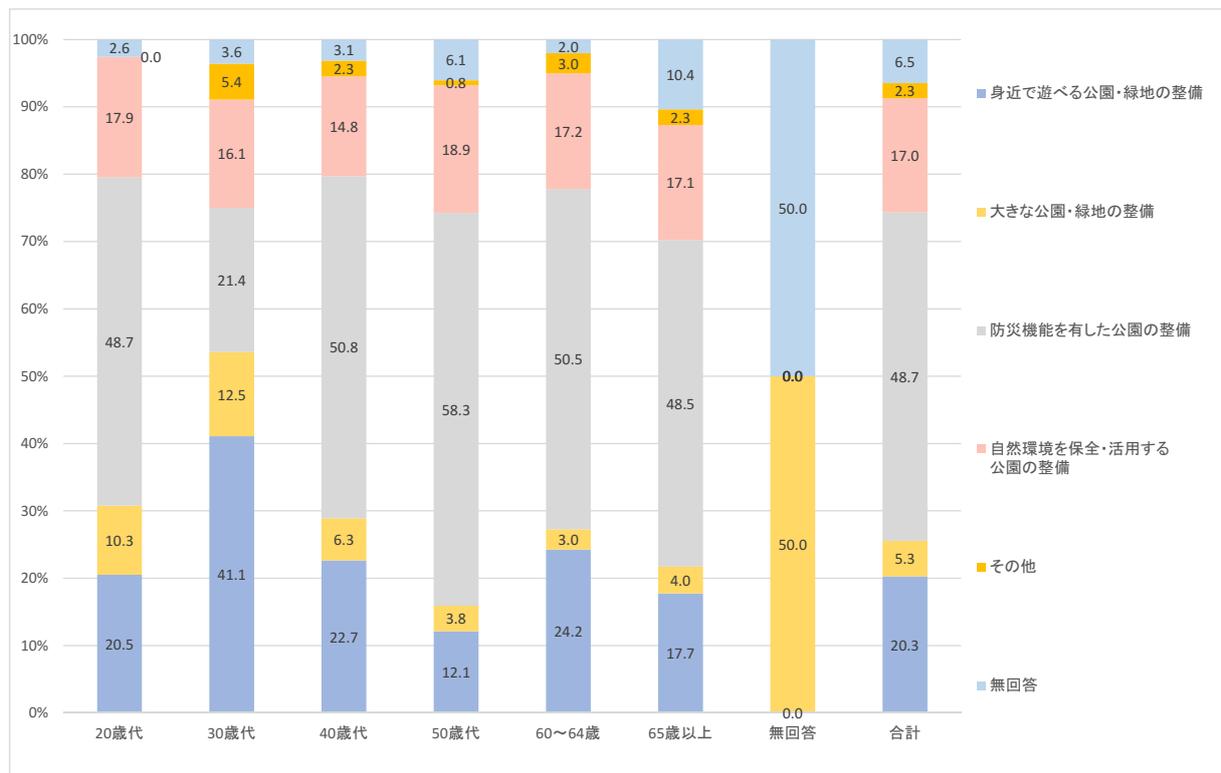
○年齢別

年齢別に見ると、50歳代が「防災機能を有した公園の整備」の割合が高くなっています。30歳代は「身近で遊べる公園・緑地の整備」が比較的高くなっています。

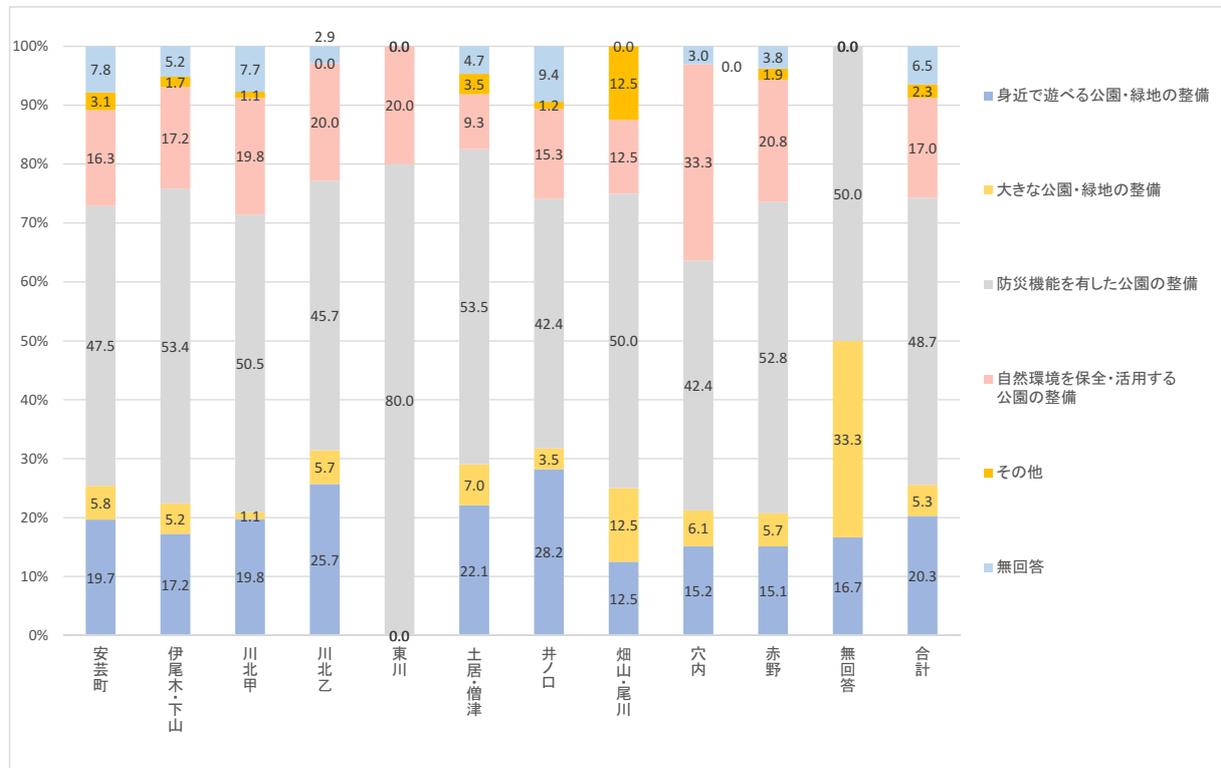
○地域別

地域別に見ると、東川地域は「防災機能を有した公園の整備」、井ノ口、川北乙地域は「身近で遊べる公園・緑地の整備」、穴内地域は「自然環境を保全・活用する公園の整備」の割合が比較的高くなっています。

○年齢別



○地域別

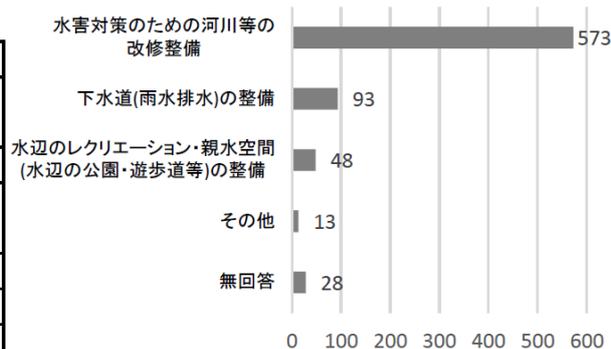


2.5.3 河川・水路

河川・水路に対する重要施策は、1位「水害対策のための河川等の改修整備」（約76%）が突出し、次いで2位「下水道（雨水排水）の整備」（約12%）、3位「水辺のレクリエーション・親水空間（水辺の公園・遊歩道等）の整備」（約6%）となっています。

問5-3 河川・水路の整備に関して重要と思われる施策をお答えください。
（特に重要だと思うもの1つに○）

		回答数	割合
1	水害対策のための河川等の改修整備	573	75.9
2	下水道（雨水排水）の整備	93	12.3
3	水辺のレクリエーション・親水空間（水辺の公園・遊歩道等）の整備	48	6.4
4	その他	13	1.7
	無回答	28	3.7
	計	755	100.0



【年齢別・地域別】

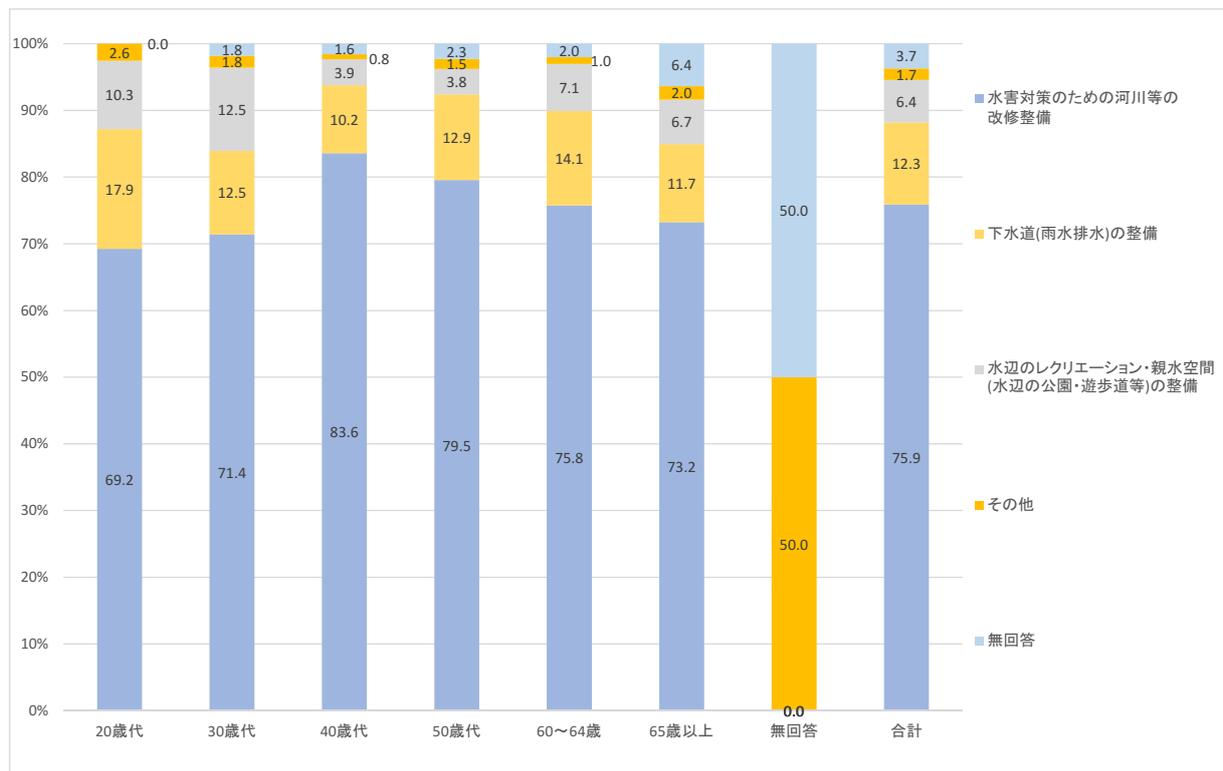
○年齢別

年齢別に見ると、全ての世代で「水害対策のための河川等の改修整備」の割合が高くなっています。

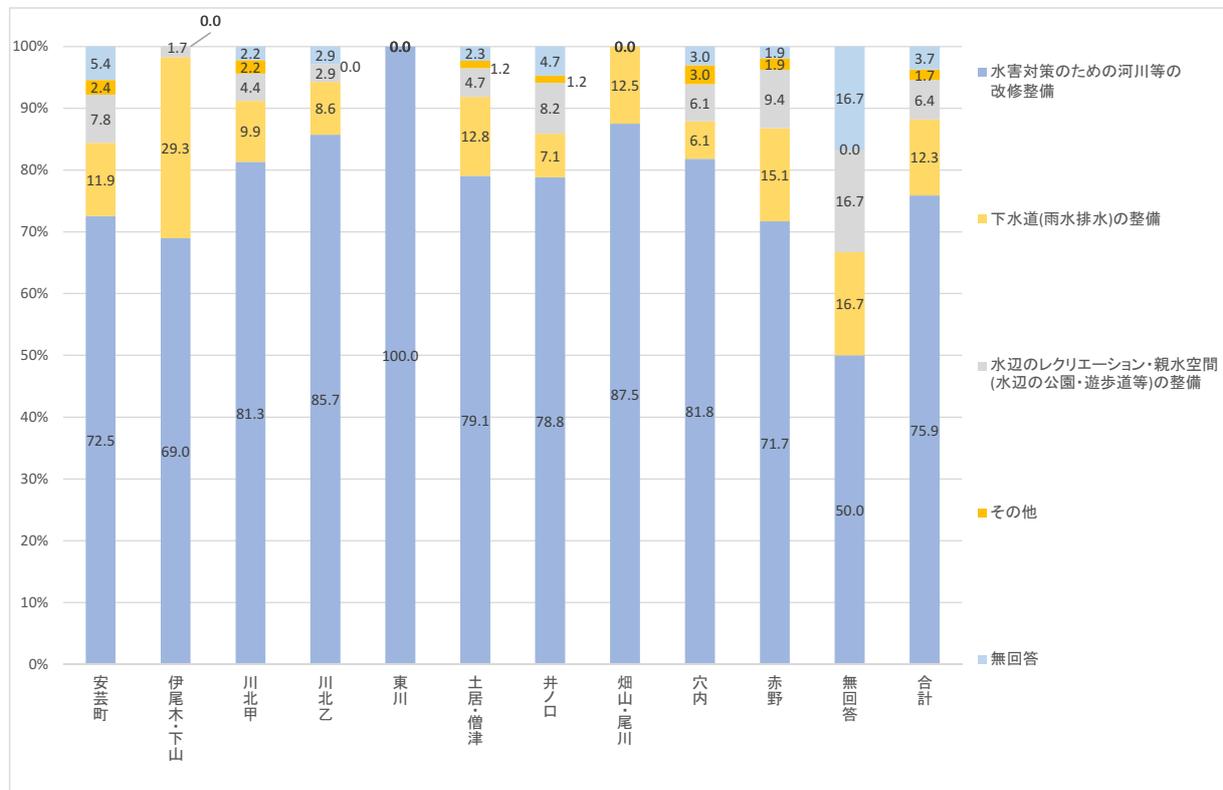
○地域別

地域別に見ると、東川地域は「水害対策のための河川等の改修整備」が全ての割合となっています。伊尾木・下山地域は、「下水道(雨水排水)の整備」の割合が比較的高くなっています。

○年齢別



○地域別



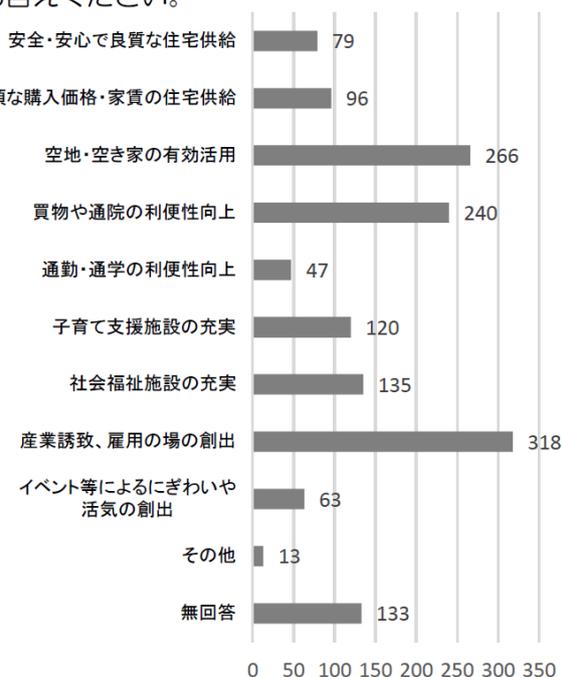
2.6 まちづくり・土地利用分野に関する事項について

2.6.1 地域の活性化

地域活性化に対する重要施策は、1位「産業誘致、雇用の場の創出」（約21%）、次いで2位「空地・空き家の有効活用」（約18%）、3位「買物や通院の利便性向上」（約16%）となっています。

問6-1 少子高齢化・人口減少、中心市街地の空洞化などが問題となるなか、地域の活性化に向けて重要と思われる施策をお答えください。
 （特に重要だと思うもの2つに○）

		回答数	割合
1	安全・安心で良質な住宅供給	79	5.2
2	手頃な購入価格・家賃の住宅供給	96	6.4
3	空地・空き家の有効活用	266	17.6
4	買物や通院の利便性向上	240	15.9
5	通勤・通学の利便性向上	47	3.1
6	子育て支援施設の充実	120	7.9
7	社会福祉施設の充実	135	8.9
8	産業誘致、雇用の場の創出	318	21.1
9	イベント等によるにぎわいや活気の創出	63	4.2
10	その他	13	0.9
	無回答	133	8.8
	計	1510	100.0



【年齢別・地域別】

○年齢別

年齢別に見ると、50歳代、40歳代で「産業誘致、雇用の場の創出」の割合が比較的高くなっています。65歳以上では「買物や通院の利便性向上」の割合が比較的高くなっています。

○地域別

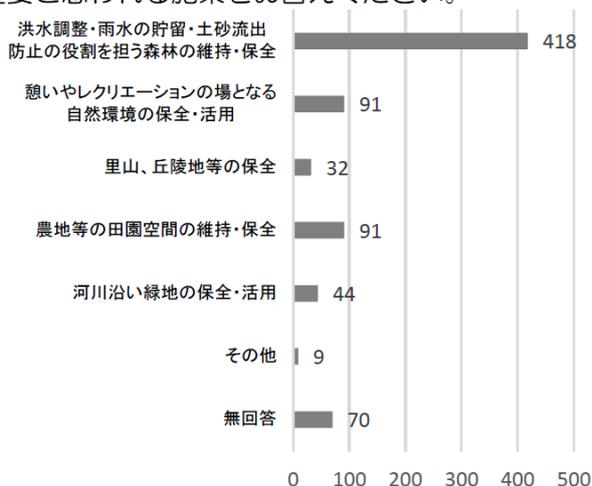
地域別に見ると、東川地域で「空地・空き家の有効活用」、畑山・尾川地域で「買物や通院の利便性向上」の割合が比較的高くなっています。

2.6.2 森林や農地の保全・活用

森林や農地等の保全・活用に対する重要施策は、1位「洪水調整・雨水の貯留・土砂流出防止の役割を担う森林の維持・保全」（約55%）、次いで2位「憩いやレクリエーションの場となる自然環境の保全・活用」「農地等の田園空間の維持・保全」（ともに約12%）となっています。

問6-2 森林や農地等の保全・活用に関して重要と思われる施策をお答えください。
（特に重要だと思うもの1つに○）

		回答数	割合
1	洪水調整・雨水の貯留・土砂流出防止の役割を担う森林の維持・保全	418	55.4
2	憩いやレクリエーションの場となる自然環境の保全・活用	91	12.1
3	里山、丘陵地等の保全	32	4.2
4	農地等の田園空間の維持・保全	91	12.1
5	河川沿い緑地の保全・活用	44	5.8
6	その他	9	1.2
	無回答	70	9.3
	計	755	100.0



【年齢別・地域別】

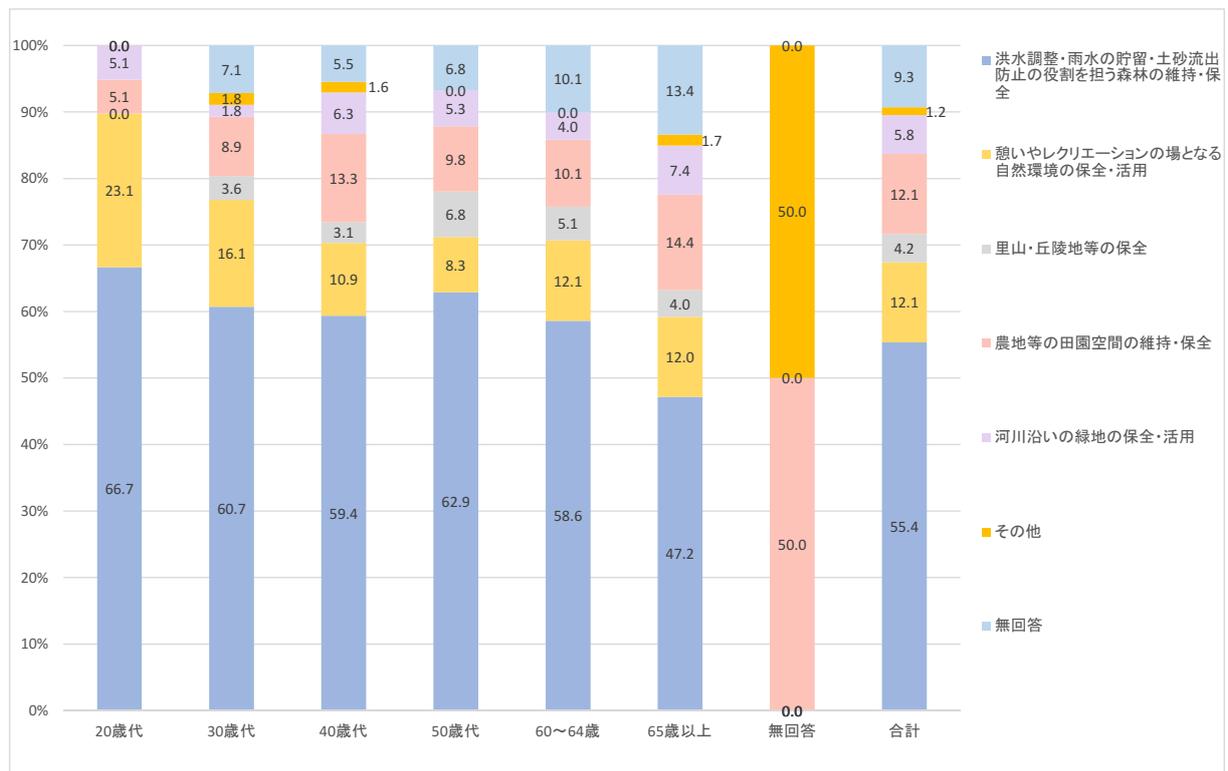
○年齢別

年齢別に見ると、20歳代、50歳代で「洪水調整・雨水の貯留・土砂流出防止の役割を担う森林の維持・保全」の割合が比較的高くなっています。また20歳代では「憩いやレクリエーションの場となる自然環境の保全・活用」の割合も比較的高くなっています。

○地域別

地域別に見ると、東川地域で「洪水調整・雨水の貯留・土砂流出防止の役割を担う森林の維持・保全」、土居・僧津地域で「憩いやレクリエーションの場となる自然環境の保全・活用」の割合が比較的高くなっています。

○年齢別



○地域別

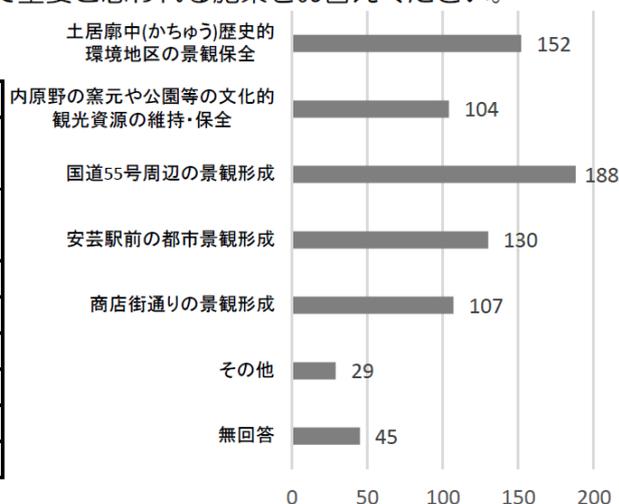


2.6.3 歴史・文化・景観まちづくり

歴史・文化・景観まちづくりに対する重要施策は、1位「国道55号周辺の景観形成」（約25%）、次いで2位「土居廓中（かちゅう）歴史的環境地区の景観保全」（約20%）、3位「安芸駅前都市景観形成」（約17%）となっています。

問6-3 歴史・文化・景観まちづくりに関して重要と思われる施策をお答えください。
 (特に重要だと思うもの1つに○)

		回答数	割合
1	土居廓中(かちゅう)歴史的環境地区の景観保全	152	20.1
2	内原野の窯元や公園等の文化的観光資源の維持・保全	104	13.8
3	国道55号周辺の景観形成	188	24.9
4	安芸駅前の都市景観形成	130	17.2
5	商店街通りの景観形成	107	14.2
6	その他	29	3.8
	無回答	45	6.0
	計	755	100.0



【年齢別・地域別】

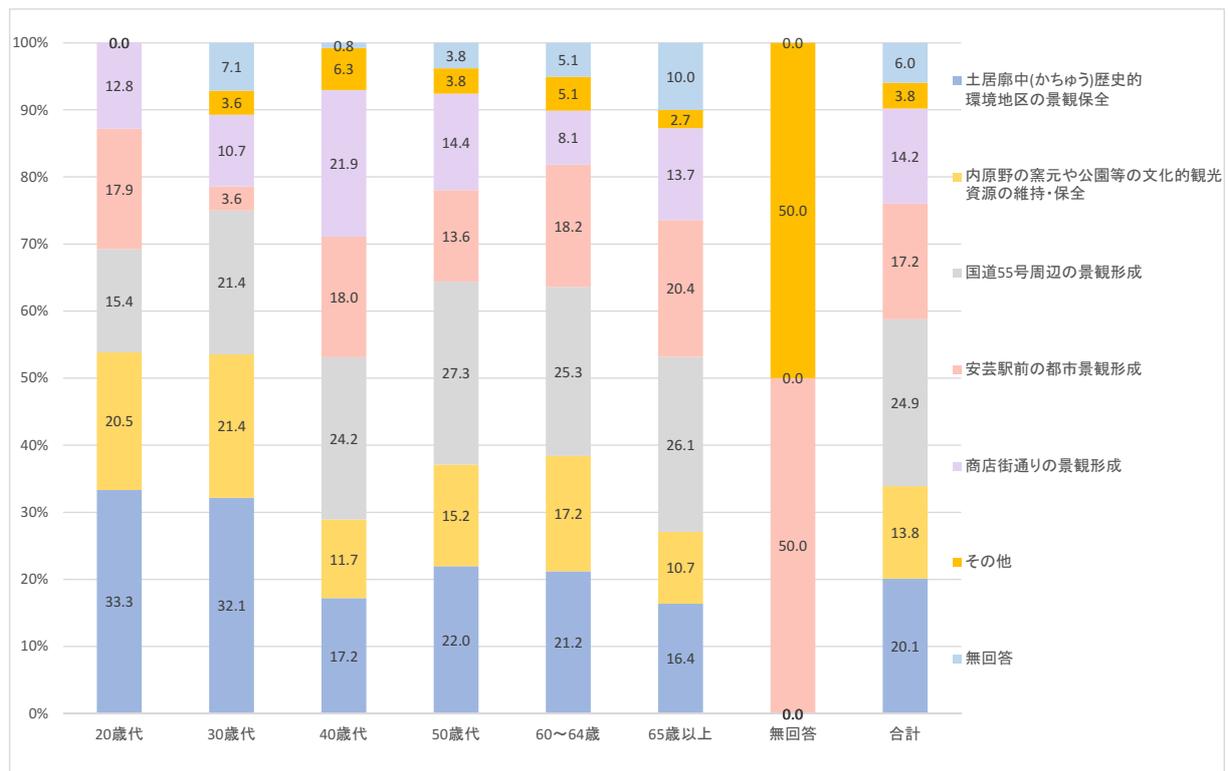
○年齢別

年齢別に見ると、20歳代、30歳代で「土居廓中(かちゅう)歴史的環境地区の景観保全」の割合が比較的高くなっています。また50歳代以上では「国道55号周辺の景観形成」の割合が比較的高くなっています。

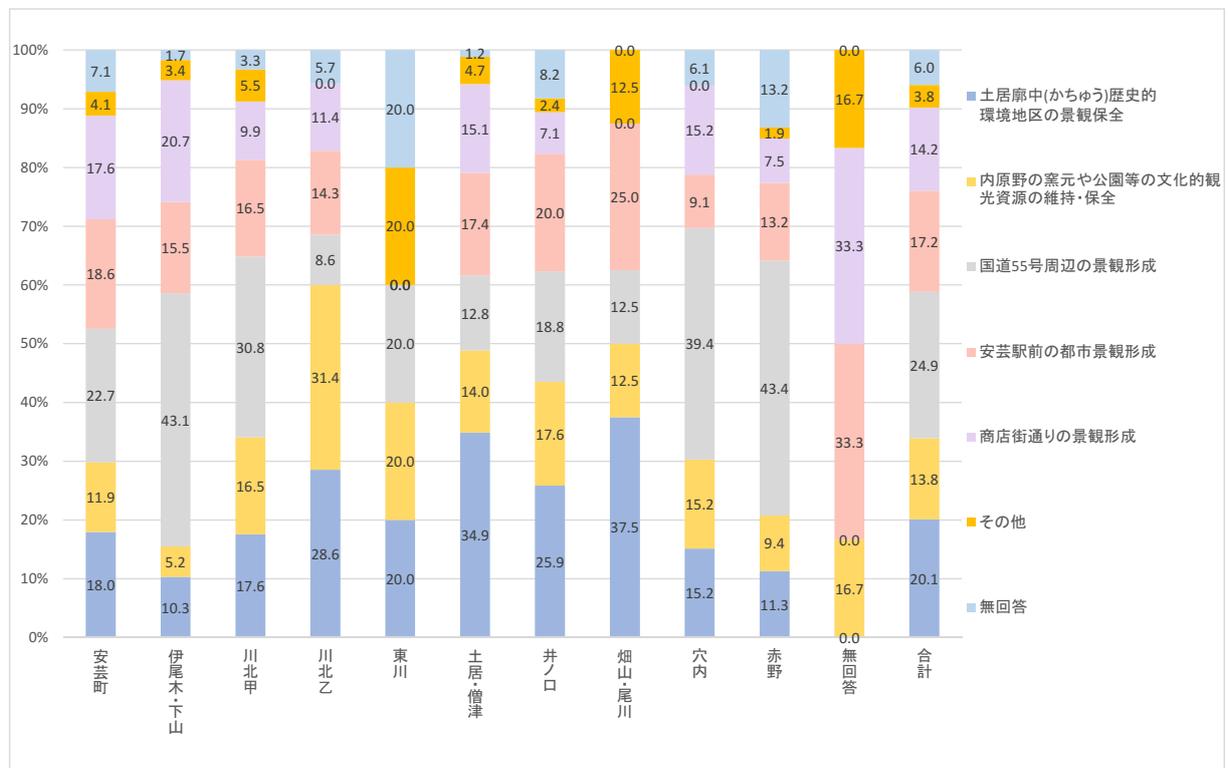
○地域別

地域別に見ると、土居・僧津地域で「土居廓中(かちゅう)歴史的環境地区の景観保全」の割合が比較的高くなっています。川北乙地域で「内原野の窯元や公園等の文化的観光資源の維持・保全」の割合が比較的高くなっています。

○年齢別



○地域別

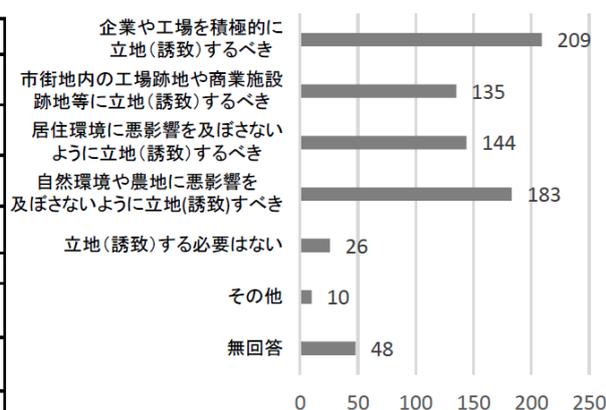


2.6.4 企業誘致や雇用の場の創出

企業誘致や雇用の場の創出に対する重要施策は、1位「企業や工場を積極的に立地（誘致）すべき」（約28%）、次いで2位「自然環境や農地に悪影響を及ぼさないように立地（誘致）すべき」（約24%）、3位「居住環境に悪影響を及ぼさないように立地（誘致）すべき」（約19%）となっています。

問6-4 企業誘致や雇用の場の創出について、ご自身のお考えに近いものをお答えください。
（考えに近いもの1つに○）

		回答数	割合
1	企業や工場を積極的に立地（誘致）すべき	209	27.7
2	市街地内の工場跡地や商業施設跡地等に立地（誘致）すべき	135	17.9
3	居住環境に悪影響を及ぼさないように立地（誘致）すべき	144	19.1
4	自然環境や農地に悪影響を及ぼさないように立地（誘致）すべき	183	24.2
5	立地（誘致）する必要はない	26	3.4
6	その他	10	1.3
	無回答	48	6.4
	計	755	100.0



【年齢別・地域別】

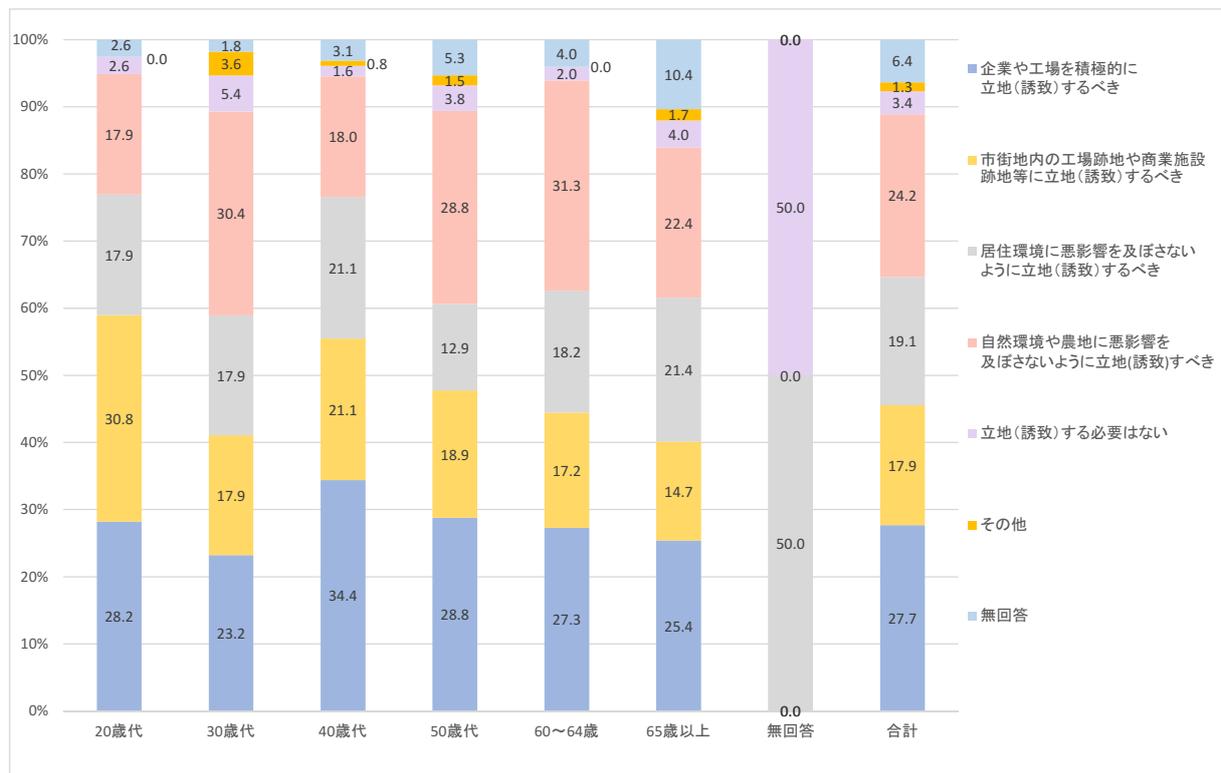
○年齢別

年齢別に見ると、40歳代、50歳代、20歳代で「企業や工場を積極的に立地（誘致）すべき」の割合が比較的高くなっています。また30歳代、60～64歳代では「自然環境や農地に悪影響を及ぼさないように立地（誘致）すべき」の割合がも比較的高くなっています。

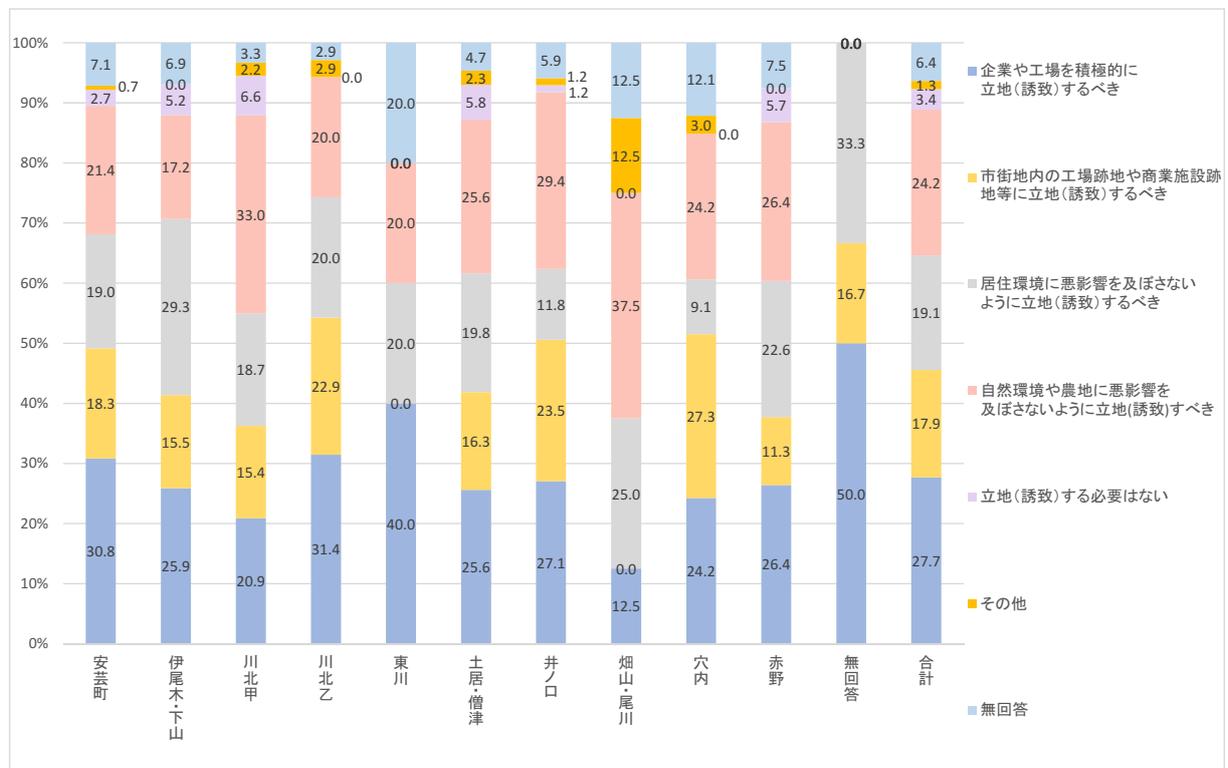
○地域別

地域別に見ると、東川地域で「企業や工場を積極的に立地（誘致）すべき」の割合が比較的高くなっています。畑山・尾川地域で「自然環境や農地に悪影響を及ぼさないように立地（誘致）すべき」の割合が比較的高くなっています。

○年齢別



○地域別

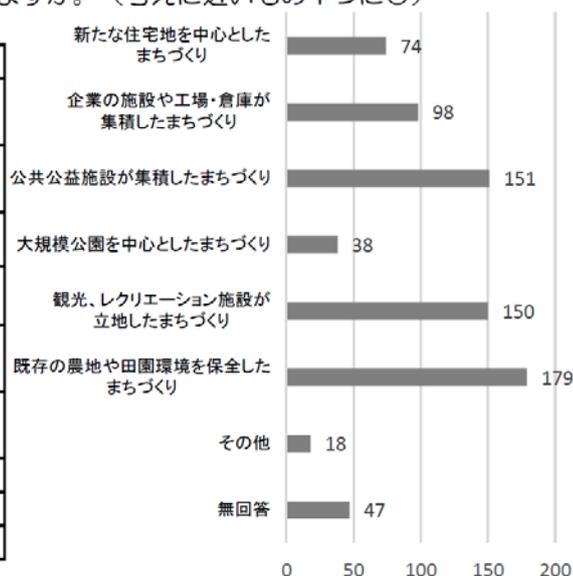


2.6.5 安芸中インターチェンジ（仮称）周辺のまちづくり

安芸中インターチェンジ（仮称）周辺に対するまちづくりは、1位「既存の農地や田園環境を保全したまちづくり」（約24%）、2位「公共公益施設が集積したまちづくり」（約20%）、3位「観光、レクリエーション施設が立地したまちづくり」（約20%）となっています。

問6-5 安芸駅の北側で計画されている安芸中インターチェンジ（仮称）周辺について、どのようなまちづくりが望ましいと思われますか。（考えに近いもの1つに○）

		回答数	割合
1	新たな住宅地を中心としたまちづくり	74	9.8
2	企業の施設や工場・倉庫が集積したまちづくり	98	13.0
3	公共公益施設が集積したまちづくり	151	20.0
4	大規模公園を中心としたまちづくり	38	5.0
5	観光、レクリエーション施設が立地したまちづくり	150	19.9
6	既存の農地や田園環境を保全したまちづくり	179	23.7
7	その他	18	2.4
	無回答	47	6.2
	計	755	100.0



【年齢別・地域別】

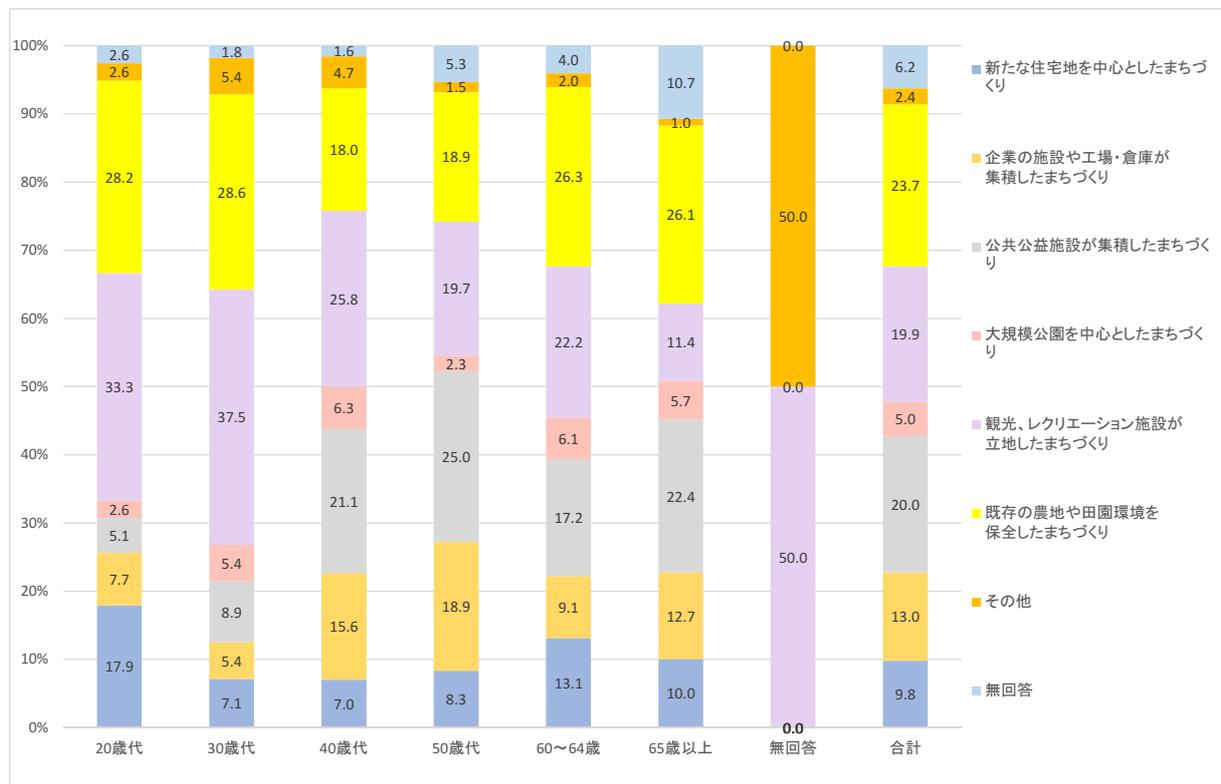
○年齢別

年齢別に見ると、30歳代で「観光、レクリエーション施設が立地したまちづくり」「既存の農地や田園環境を保全したまちづくり」の割合が比較的高くなっています。

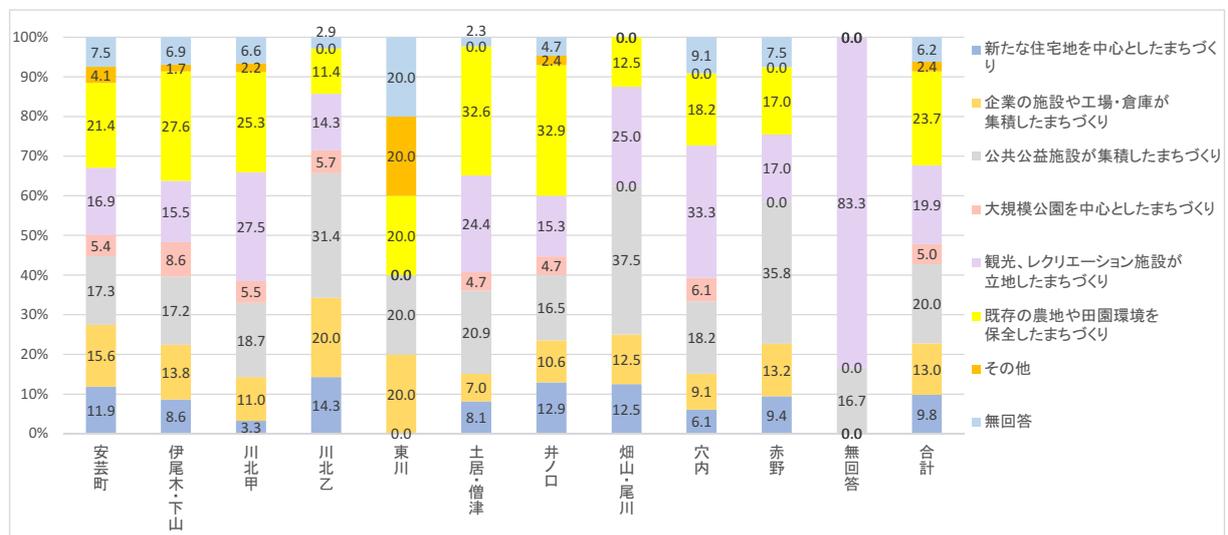
○地域別

地域別に見ると、赤野、畑山・尾川地域で「公共公益施設が集積したまちづくり」の割合が比較的高くなっています。井ノ口地域で「既存の農地や田園環境を保全したまちづくり」の割合が比較的高くなっています。

○年齢別



○地域別



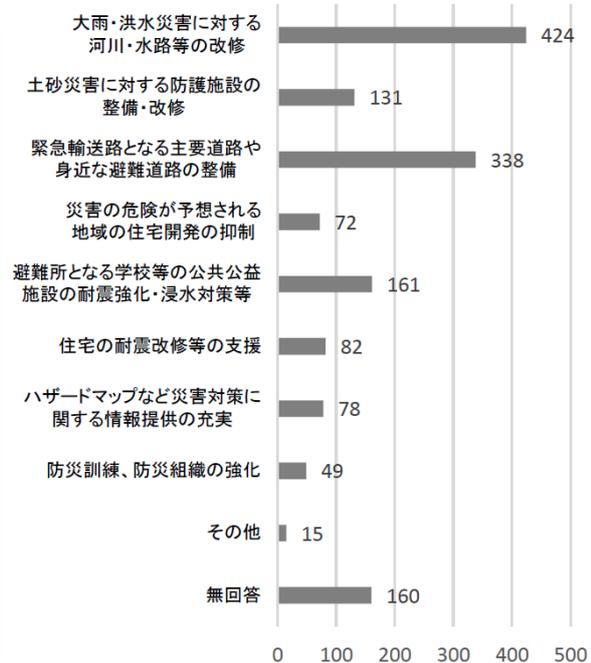
2.7 防災・減災まちづくりについて

2.7.1 防災・減災まちづくりの重要な施策

地震・津波・大雨洪水・土砂災害に対する防災・減災まちづくりに対する重要施策は、1位「大雨・洪水災害に対する河川・水路等の改修」(約28%)、次いで2位「緊急輸送路となる主要道路や身近な避難道路の整備」(約22%)、3位「避難所となる学校等の公共公益施設の耐震強化・浸水対策等」(約11%)となっています。

問7 地震・津波・大雨洪水・土砂災害に対する防災・減災まちづくりに関して重要と思われる施策をお答えください。(特に重要だと思うもの2つに○)

		回答数	割合
1	大雨・洪水災害に対する河川・水路等の改修	424	28.1
2	土砂災害に対する防護施設の整備・改修	131	8.7
3	緊急輸送路となる主要道路や身近な避難道路の整備	338	22.4
4	災害の危険が予想される地域の住宅開発の抑制	72	4.8
5	避難所となる学校等の公共公益施設の耐震強化・浸水対策等	161	10.7
6	住宅の耐震改修等の支援	82	5.4
7	ハザードマップなど災害対策に関する情報提供の充実	78	5.2
8	防災訓練、防災組織の強化	49	3.2
9	その他	15	1.0
	無回答	160	10.6
	計	1510	100.0



【年齢別・地域別】

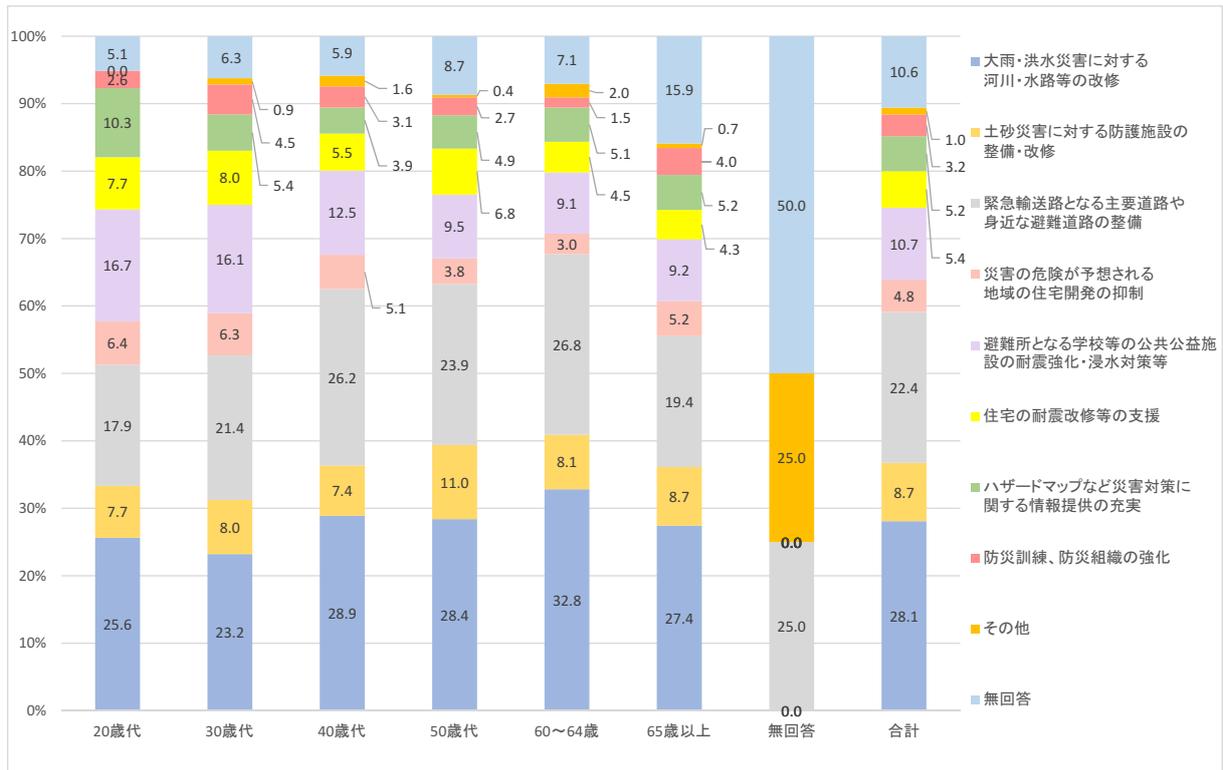
○年齢別

年齢別に見ると、60～64歳代で「大雨・洪水災害に対する河川・水路等の改修」「緊急輸送路となる主要道路や身近な避難道路の整備」の割合が比較的高くなっています。

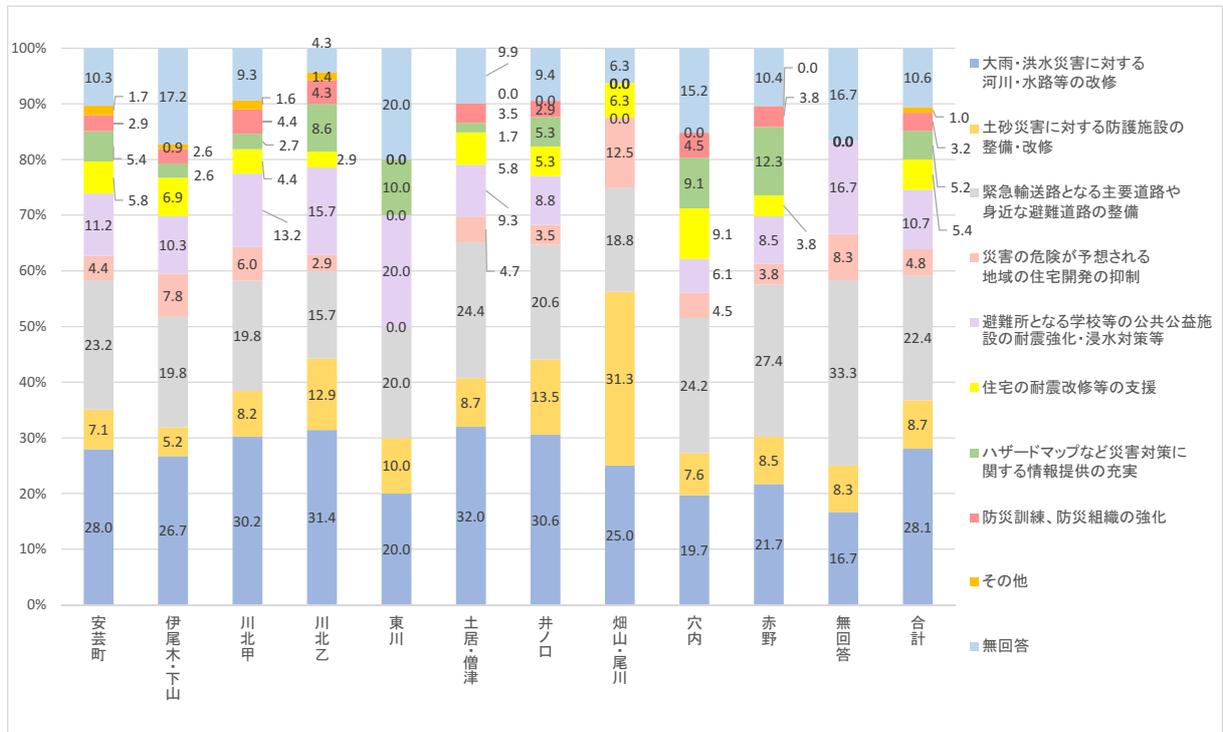
○地域別

地域別に見ると、畑山・尾川地域で「土砂災害に対する防護施設の整備・改修」の割合が比較的高くなっています。川北甲・乙、井ノ口地域で「大雨・洪水災害に対する河川・水路等の改修」の割合が比較的高くなっています。

○年齢別



○地域別



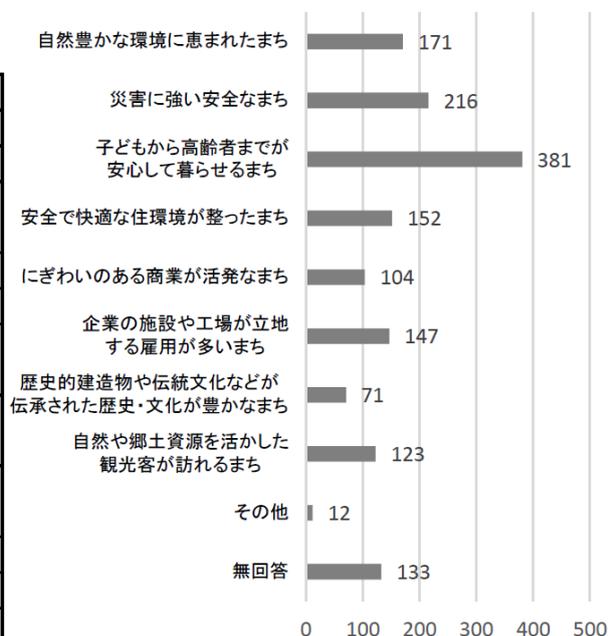
2.8 まちの将来像について

2.8.1 まちの将来像

安芸市がめざすべきまちの将来像については、1位「子どもから高齢者までが安心して暮らせるまち」（約25%）、次いで2位「災害に強い安全なまち」（約14%）、3位「自然豊かな環境に恵まれたまち」（約11%）となっています。

問8 安芸市がめざすべきまちの将来像について、ご自身のお考えに近いものをお答えください。
（考えに近いもの2つに○）

		回答数	割合
1	自然豊かな環境に恵まれたまち	171	11.3
2	災害に強い安全なまち	216	14.3
3	子どもから高齢者までが安心して暮らせるまち	381	25.2
4	安全で快適な住環境が整ったまち	152	10.1
5	にぎわいのある商業が活発なまち	104	6.9
6	企業の施設や工場が立地する雇用が多いまち	147	9.7
7	歴史的建造物や伝統文化などが伝承された歴史・文化が豊かなまち	71	4.7
8	自然や郷土資源を活かした観光客が訪れるまち	123	8.1
9	その他	12	0.8
	無回答	133	8.8
	計	1510	100.0



【年齢別・地域別】

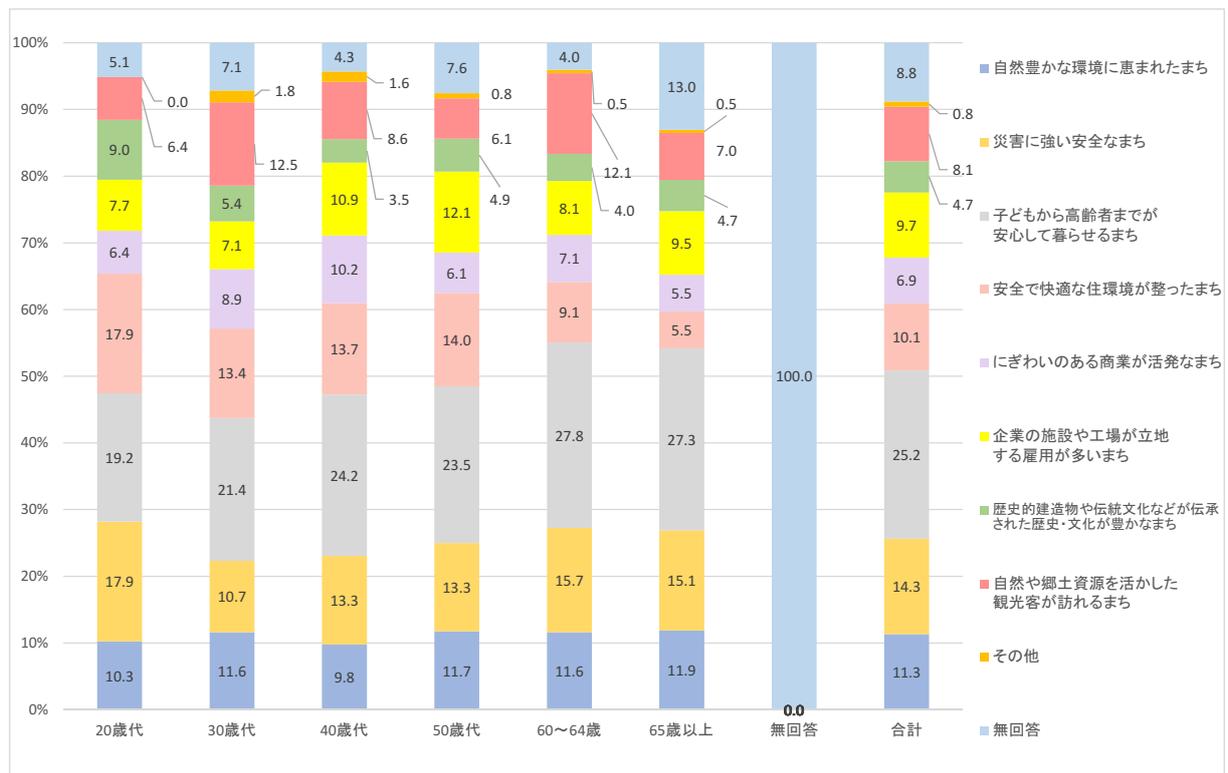
○年齢別

年齢別に見ると、60歳代以上で「子どもから高齢者までが安心して暮らせるまち」の割合が比較的高くなっています。20歳代で「災害に強い安全なまち」「安全で快適な住環境が整ったまち」の割合が比較的高くなっています。

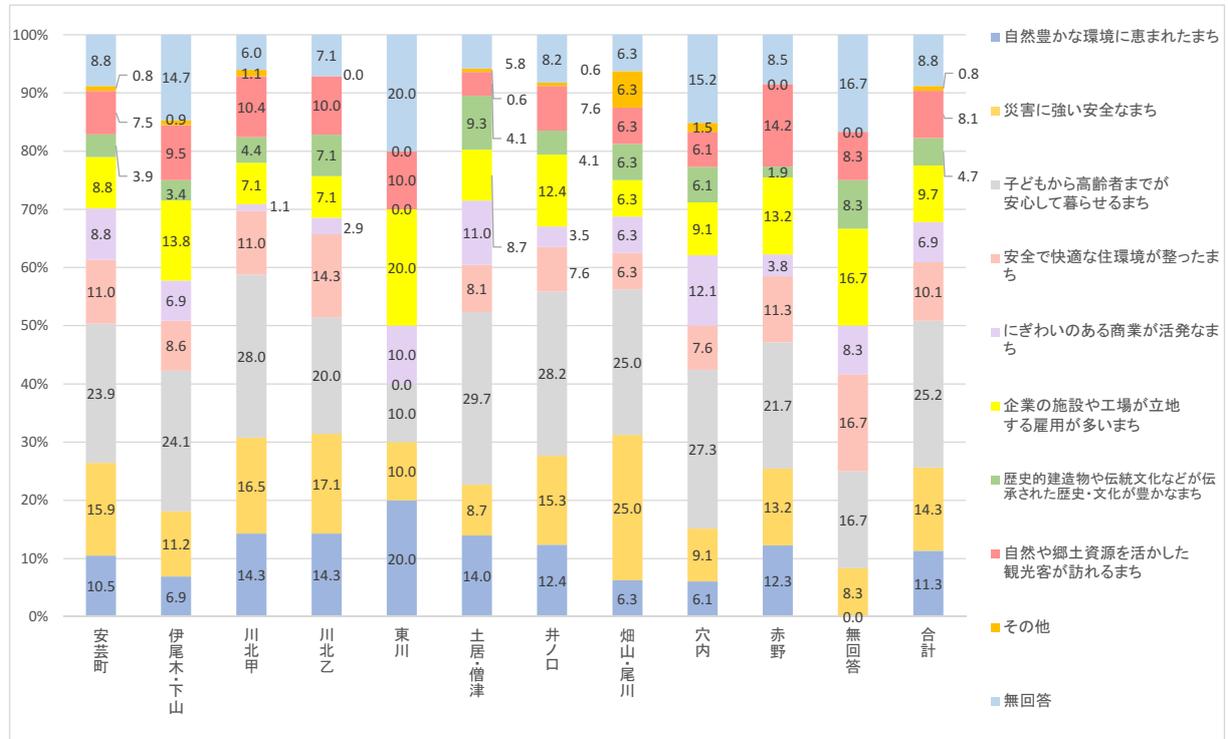
○地域別

地域別に見ると、土居・僧津、井ノ口、川北甲で「子どもから高齢者までが安心して暮らせるまち」の割合が比較的高くなっています。畑山・尾川地域で「災害に強い安全なまち」の割合が比較的高くなっています。

○年齢別



○地域別



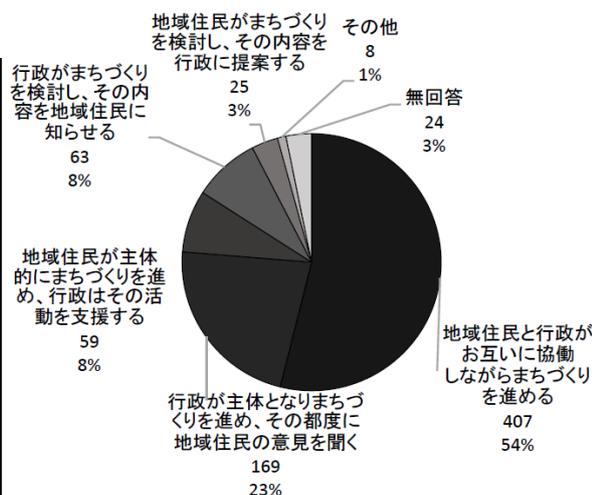
2.9 まちづくりの進め方・参加意向について

2.9.1 まちづくりの進め方

まちづくりの進め方については、1位「地域住民と行政がお互いに協働しながらまちづくりを進める」(約54%)が大半を占め、協働の姿勢が多くを占めます。次いで2位「行政が主体となりまちづくりを進め、その都度に地域住民の意見を聞く」(約22%)、3位「行政がまちづくりを検討し、その内容を地域住民に知らせる」(約8%)となっており、行政主体の姿勢が多く占めます。

問9-1 まちづくりの進め方について、ご自身のお考えに近いものをお答えください。
(考えに近いもの1つに○)

		回答数	割合
1	地域住民と行政がお互いに協働しながらまちづくりを進める	407	53.9
2	行政が主体となりまちづくりを進め、その都度に地域住民の意見を聞く	169	22.4
3	地域住民が主体的にまちづくりを進め、行政はその活動を支援する	59	7.8
4	行政がまちづくりを検討し、その内容を地域住民に知らせる	63	8.3
5	地域住民がまちづくりを検討し、その内容を行政に提案する	25	3.3
6	その他	8	1.1
	無回答	24	3.2
	計	755	100.0



【年齢別・地域別】

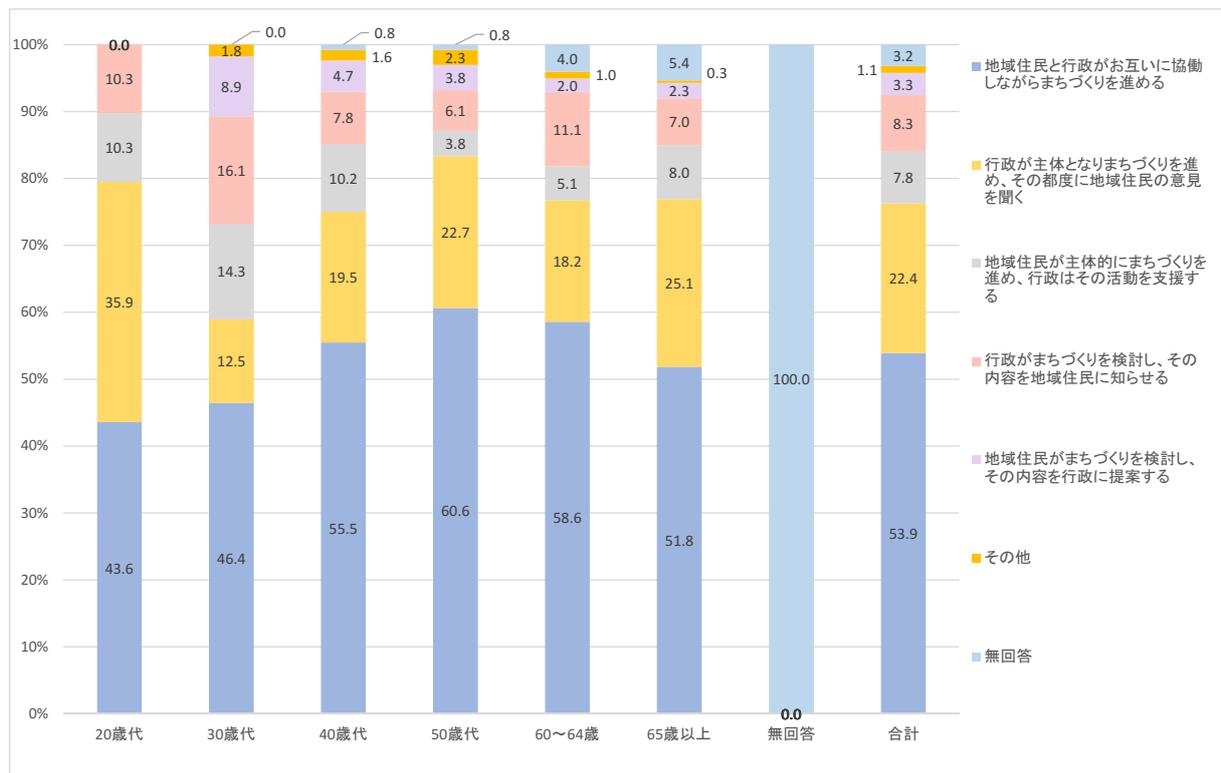
○年齢別

年齢別に見ると、40歳代以上で「地域住民と行政がお互いに協働しながらまちづくりを進める」の割合が比較的高くなっています。20歳代で「行政が主体となりまちづくりを進め、その都度に地域住民の意見を聞く」の割合が比較的高くなっています。

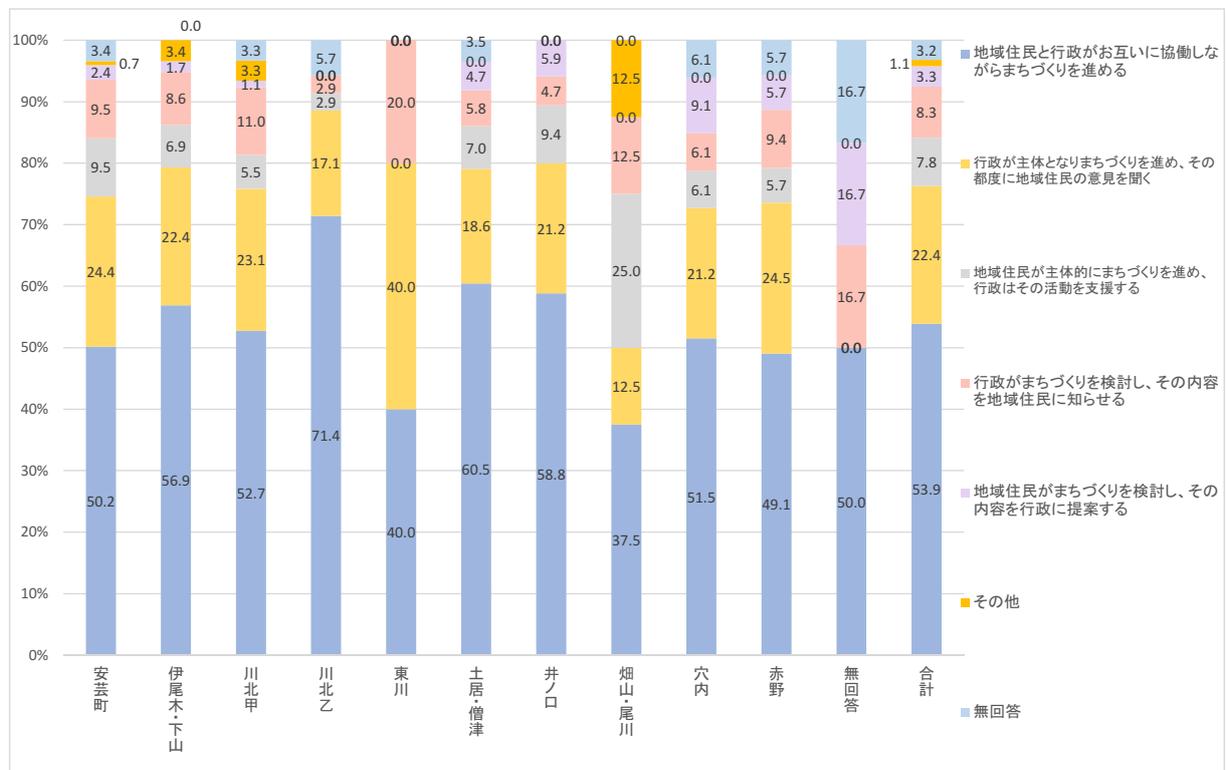
○地域別

地域別に見ると、東川地域で「行政が主体となりまちづくりを進め、その都度に地域住民の意見を聞く」の割合が比較的高くなっています。川北乙地域で「地域住民がまちづくりを検討し、その内容を行政に提案する」の割合が比較的高くなっています。

○年齢別



○地域別

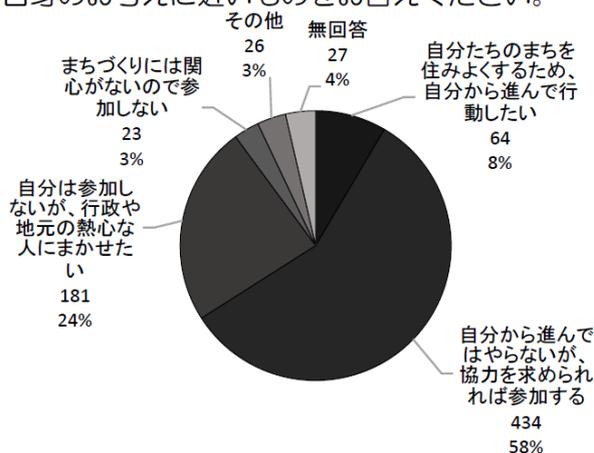


2.9.2 まちづくりへの参加意向

まちづくりへの参加意向については、1位「自分から進んではやらないが、協力を求められれば参加する」（約58%）、2位「自分は参加しないが、行政や地元の熱心な人にまかせたい」（約24%）で8割強を占め、比較的後ろ向きな姿勢が多く占める。次いで3位「自分たちのまちを住みよくするため、自分から進んで行動したい」（約9%）となっています。

問9-2 まちづくりへの参加意向について、ご自身のお考えに近いものをお答えください。
（考えに近いもの1つに○）

		回答数	割合
1	自分たちのまちを住みよくするため、自分から進んで行動したい	64	8.5
2	自分から進んではやらないが、協力を求められれば参加する	434	57.5
3	自分は参加しないが、行政や地元の熱心な人にまかせたい	181	24.0
4	まちづくりには関心がないので参加しない	23	3.0
5	その他	26	3.4
	無回答	27	3.6
	計	755	100.0



【年齢別・地域別】

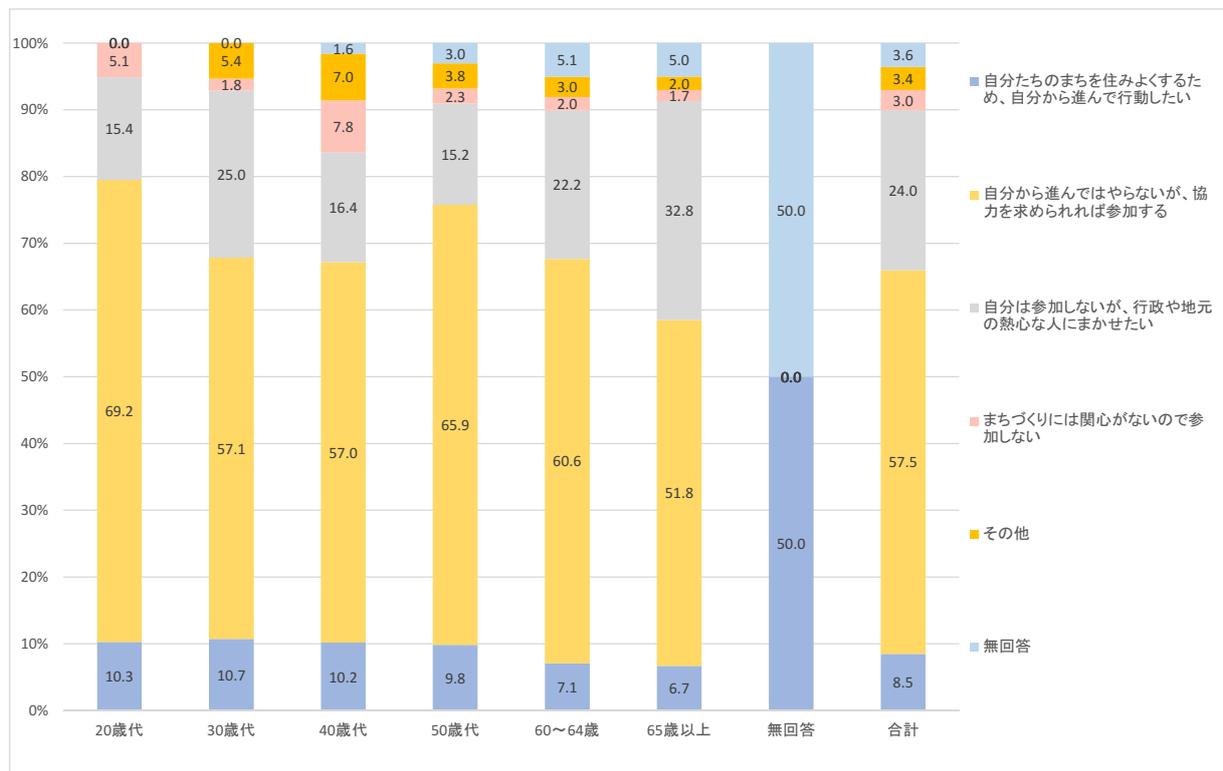
○年齢別

年齢別に見ると、大半の世代で「自分から進んではやらないが、協力を求められれば参加する」の割合が比較的高くなっています。

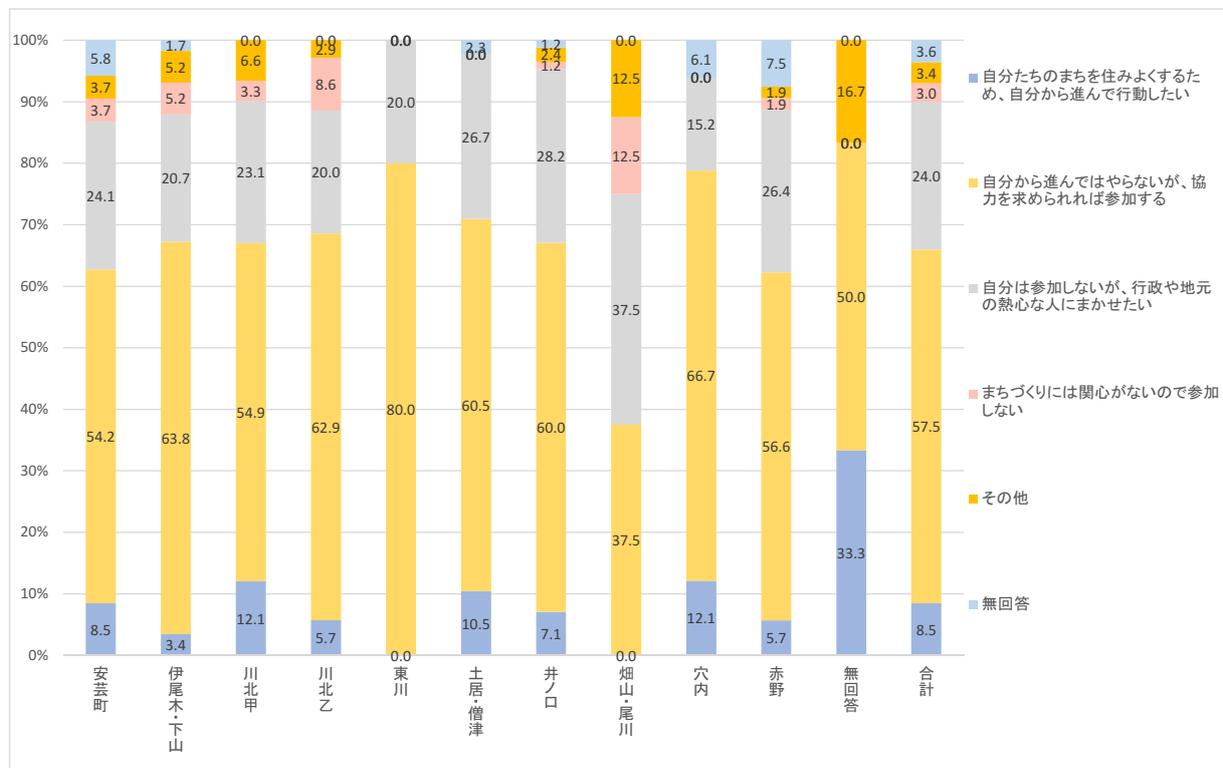
○地域別

地域別に見ると、東川地域で「自分から進んではやらないが、協力を求められれば参加する」の割合が比較的高くなっています。畑山・尾川地域で「自分は参加しないが、行政や地元の熱心な人にまかせたい」の割合が比較的高くなっています。

○年齢別



○地域別



2.10 自由意見

自由意見は、「産業・観光・雇用」に係る意見が最も多く、16.7%を占めています。次いで、「道路・公共交通」「都市施設・公共施設」（各 13.0%）、「商店街・地域活性化」（11.5%）に係る意見が多くを占めています。

問 10 安芸市のまちづくりについてご意見があれば自由に記入ください。

人口・定住	土地利用	道路・公共交通	都市施設・公共施設	産業・観光・雇用	災害	環境	財政	福祉・健康	市民参加	商店街・地域活性化	その他	合計
16	4	25	25	32	9	8	3	14	5	22	29	192
8.3%	2.1%	13.0%	13.0%	16.7%	4.7%	4.2%	1.6%	7.3%	2.6%	11.5%	15.1%	100.0%

